

〔別冊〕

全銀協パーソナル・コンピュータ用標準通信プロトコル(ベーシック手順)

適用業務およびレコード・フォーマット

令和元年 12 月

一般社団法人全国銀行協会

本標準仕様書は、「全銀協パーソナル・コンピュータ用標準通信プロトコル(ベーシック手順)ー適用業務およびレコード・フォーマットー」および同「追補版1ー融資関係および外国為替関係の適用業務等」に分冊されていたものを使用の便を図るため、合体したものである。なお、追補版刊行の後、追加された適用業務とそのフォーマット、また、その他のフォーマットの一部改正についても追加修正されている。

目次

はじめに.....	1
I 適用業務.....	3
1. 適用業務の種類.....	5
2. 適用業務と伝送上のモード.....	6
3. 適用業務とデータ・アクセス.....	7
4. 適用業務とレコード・フォーマット.....	8
5. 適用業務とファイル名.....	9
6. ファイル名補助情報.....	10
7. レコード・シーケンス.....	12
II 全銀協制定レコード・フォーマット.....	13
1. 振込入金通知レコード・フォーマット.....	16
2. 入出金取引明細レコード・フォーマット.....	20
3. 残高通知(預金)レコード・フォーマット.....	25
4. 給与振込(民間)レコード・フォーマット.....	29
5. 賞与振込(民間)レコード・フォーマット.....	31
6. 給与振込(地方公務員)レコード・フォーマット.....	32
7. 賞与振込(地方公務員)レコード・フォーマット.....	33
8. 総合振込レコード・フォーマット.....	34
9. 株式配当金振込レコード・フォーマット.....	36
10. 年金信託契約に係る年金・一時金給付金振込レコード・フォーマット.....	38
11. 公的年金保険の年金・一時金給付金振込レコード・フォーマット.....	39
12. 医療保険の給付金振込レコード・フォーマット.....	40
13. 振込口座照会(依頼明細)レコード・フォーマット.....	41
14. 振込口座照会(処理結果明細)レコード・フォーマット.....	43
15. 預金口座振替(依頼明細)レコード・フォーマット.....	44
16. 預金口座振替(処理結果明細)レコード・フォーマット.....	47
17. 預金口座振替変更通知レコード・フォーマット.....	48
18. 住宅ローン関係(財形ローン)レコード・フォーマット.....	50
19. 住宅ローン関係(その他)レコード・フォーマット.....	55
20. 財形貯蓄関係(依頼明細)レコード・フォーマット.....	56
21. 財形貯蓄関係(処理結果明細:積立内容)レコード・フォーマット.....	60
22. 財形貯蓄関係(処理結果明細:利子補給)レコード・フォーマット.....	64
23. 財形貯蓄関係(処理結果明細:その他)レコード・フォーマット.....	65
24. 借入金計算書レコード・フォーマット.....	66
25. 借入金残高明細レコード・フォーマット.....	73
26. 借入金残高合計レコード・フォーマット.....	77
27. 外国為替取引明細(会計性)レコード・フォーマット.....	79
28. 外国為替取引明細(非会計性)レコード・フォーマット.....	120
29. 外国為替関連情報レコード・フォーマット.....	137
30. 外国送金依頼レコード・フォーマット.....	141
31. 荷為替輸入信用状発行依頼レコード・フォーマット.....	148
32. 外貨預金入出金取引明細レコード・フォーマット.....	166
付録.....	173
付録 1. 使用文字一覧.....	175
付録 2. 振込依頼人名・受取人名などの記入.....	176
付録 3. 預金種目コード.....	177
付録 4. 税区分コード.....	177
付録 5. 可変項目一覧表.....	178
付録 6. 幣種コード表.....	180
付録 7. 外国為替取引明細、外国為替関連情報レコード・フォーマットに使用する各種コード表.....	181
付録 8. AP-I-12(12版一令和元年12月)における改訂内容.....	183

はじめに

全銀協パーソナル・コンピュータ用標準通信プロトコル(ベーシック手順)では、その適用業務を全銀協において磁気テープ・フォーマットが標準化されている業務に限定している。

したがって、各適用業務のデータ電文のフォーマットは、これまで全銀協で制定していた磁気テープ・フォーマットを利用することとなる。

本冊子は、適用業務および各レコード・フォーマットについて詳述したものであり、ソフトウェア・パッケージ作成にあたってはこれに準拠するものとする。ただし、ここに掲げられた業務を必ずしもすべて含める必要はなく、一部のみとしても差し支えない。

なお、本冊子は平成9年10月の改訂にあたって、使用の便を図るため、「追補版1-融資関係および外国為替関係の適用業務等」を合体した。また、外国送金依頼レコード・フォーマットを制定したため、あわせて追加した。

今後も適用業務が追加された場合には、本冊子の追加・改訂を行う予定である。

以 上

(編注) AP-I-12(12版-令和元年12月)における改訂内容については、付録8を参照。

I 適用業務

1. 適用業務の種類

パーソナル・コンピュータを利用したファーム・バンキングにおいて対象となるサービス(適用業務)は次のとおりとする(令和元年12月現在)。

- ・振込入金通知
- ・入出金取引明細
- ・残高通知(預金)
- ・給与振込(民間)
- ・賞与振込(民間)
- ・給与振込(地方公務員)
- ・賞与振込(地方公務員)
- ・総合振込
- ・株式配当金振込
- ・年金信託契約に係る年金・一時金給付金振込
- ・公的年金保険の年金・一時金給付金振込
- ・医療保険の給付金振込
- ・振込口座照会(依頼明細)
- ・振込口座照会(処理結果明細)
- ・預金口座振替(依頼明細)
- ・預金口座振替(処理結果明細)
- ・預金口座振替変更通知
- ・住宅ローン関係(財形ローン)
- ・住宅ローン関係(その他)
- ・財形貯蓄関係(依頼明細)
- ・財形貯蓄関係(処理結果明細:積立内容)
- ・財形貯蓄関係(処理結果明細:利子補給)
- ・財形貯蓄関係(処理結果明細:その他)
- ・借入金計算書
- ・借入金残高明細
- ・借入金残高合計
- ・外国為替取引明細(会計性)
- ・外国為替取引明細(非会計性)
- ・外国為替関連情報
- ・外国送金依頼
- ・荷為替輸入信用状発行依頼
- ・外貨預金入出金取引明細

2. 適用業務と伝送上のモード

適用業務	モード
○振込入金通知	照 会
○入出金取引明細	〃
○残高通知(預金)	〃
○給与振込(民間)	連 絡
○賞与振込(民間)	〃
○給与振込(地方公務員)	〃
○賞与振込(地方公務員)	〃
○総合振込	〃
○株式配当金振込	〃
○年金信託契約に係る年金・一時金給付金振込	〃
○公的年金保険の年金・一時金給付金振込	〃
○医療保険の給付金振込	〃
○振込口座照会(依頼明細)	〃
○預金口座振替(依頼明細)	〃
○振込口座照会(処理結果明細)	照 会
○預金口座振替(処理結果明細)	〃
○預金口座振替変更通知	〃
○住宅ローン関係(財形ローン)	〃
○住宅ローン関係(その他)	〃
○借入金計算書	〃
○借入金残高明細	〃
○借入金残高合計	〃
○財形貯蓄関係(依頼明細)	連 絡
○財形貯蓄関係(処理結果明細:積立内容)	照 会
○財形貯蓄関係(処理結果明細:利子補給)	〃
○財形貯蓄関係(処理結果明細:その他)	〃
○外国為替取引明細(会計性)	〃
○外国為替取引明細(非会計性)	〃
○外国為替関連情報	〃
○外国送金依頼	連 絡
○荷為替輸入信用状発行依頼	〃
○外貨預金入出金取引明細	照 会

3. 適用業務とデータ・アクセス

適用業務	パーソナル・コンピュータとコンピュータセンターのアクセス	オペレータとパーソナル・コンピュータのアクセス								
		種別(ファイル)単位 (注)	種別(ファイル)単位	預金種目単位					口座単位	取引情報単位
				普通	当座	通知	定期	積定		
○振込入金通知	○	○	○	○					○	
○入出金取引明細	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○残高通知(預金)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○給与振込(民間)	○	○								
○賞与振込(民間)	○	○								
○給与振込(地方公務員)	○	○								
○賞与振込(地方公務員)	○	○								
○総合振込	○	○								
○株式配当金振込	○	○								
○年金信託契約に係る年金・一時金給付金振込	○	○								
○公的年金保険の年金・一時金給付金振込	○	○								
○医療保険の給付金振込	○	○								
○振込口座照会(依頼明細)	○	○								○
○振込口座照会(処理結果明細)	○	○								○
○預金口座振替(依頼明細)	○	○								
○預金口座振替(処理結果明細)	○	○								
○預金口座振替変更通知	○	○								
○住宅ローン関係(財形ローン)	○	○								
○住宅ローン関係(その他)	○	○								
○借入金計算書	○	○								
○借入金残高明細	○	○								
○借入金残高合計	○	○								
○財形貯蓄関係(依頼明細)	○	○								
○財形貯蓄関係(処理結果明細:積立内容)	○	○								
○財形貯蓄関係(処理結果明細:利子補給)	○	○								
○財形貯蓄関係(処理結果明細:その他)	○	○								
○外国為替取引明細(会計性)	○	○								○
○外国為替取引明細(非会計性)	○	○								○
○外国為替関連情報	○	○								○
○外国送金依頼	○	○								
○荷為替輸入信用状発行依頼	○	○								○
○外貨預金入出金取引明細	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

(注) 種別単位が基本であるが、日付、口座番号、取引情報の単位等、より細かい分類もオプションとして可能とする。

4. 適用業務とレコード・フォーマット

適用業務	レコード・フォーマット(全銀協制定磁気テープ・フォーマット)を定めた通達の種類
振込入金通知	振込入金通知
入出金取引明細	入出金取引明細
残高通知(預金)	残高通知(預金)
給与振込(民間)	給与振込
賞与振込(民間)	〃
給与振込(地方公務員)	〃
賞与振込(地方公務員)	〃
総合振込	総合振込
株式配当金振込	振込代理事務
年金信託契約に係る年金・一時金給付金振込	〃
公的年金保険の年金・一時金給付金振込	〃
医療保険の給付金振込	〃
振込口座照会(依頼明細)	振込口座照会
振込口座照会(処理結果明細)	〃
預金口座振替(依頼明細)	預金口座振替
預金口座振替(処理結果明細)	〃
預金口座振替変更通知	預金口座振替変更通知
住宅ローン関係(財形ローン)	住宅ローン関係
住宅ローン関係(その他)	〃
借入金計算書	借入金計算書
借入金残高明細	借入金残高明細
借入金残高合計	借入金残高合計
財形貯蓄関係(依頼明細)	財形関係
財形貯蓄関係(処理結果明細:積立内容)	〃
財形貯蓄関係(処理結果明細:利子補給)	〃
財形貯蓄関係(処理結果明細:その他)	〃
外国為替取引明細(会計性)	外国為替取引明細(会計性)
外国為替取引明細(非会計性)	外国為替取引明細(非会計性)
外国為替関連情報	外国為替関連情報
外国送金依頼	外国送金依頼
荷為替輸入信用状発行依頼	荷為替輸入信用状発行依頼
外貨預金入出金取引明細	外貨預金入出金取引明細

5. 適用業務とファイル名

適用業務	ファイル名				
	産業別 コード	データ・ コード	サイクル	補助情報 ID	ダミー
振込入金通知	5020	0001	〇〇	〇	0
入出金取引明細	〃	0003	〇〇	〇	0
残高通知(預金)	〃	0004	〇〇	〇	0
給与振込(民間)	〃	0111	〇〇	〇	0
賞与振込(民間)	〃	0112	〇〇	〇	0
給与振込(地方公務員)	〃	0171	〇〇	〇	0
賞与振込(地方公務員)	〃	0172	〇〇	〇	0
総合振込	〃	0121	〇〇	〇	0
株式配当金振込	〃	0141	〇〇	〇	0
年金信託契約に係る年金・一時金給付金振込	〃	0143	〇〇	〇	0
公的年金保険の年金・一時金給付金振込	〃	0144	〇〇	〇	0
医療保険の給付金振込	〃	0145	〇〇	〇	0
振込口座照会(依頼明細)	〃	0198	〇〇	〇	0
振込口座照会(処理結果明細)	〃	0199	〇〇	〇	0
預金口座振替(依頼明細)	〃	0191	〇〇	〇	0
預金口座振替(処理結果明細)	〃	0191	〇〇	〇	0
預金口座振替変更通知	〃	0193	〇〇	〇	0
住宅ローン関係(財形ローン)	〃	0211	〇〇	〇	0
住宅ローン関係(その他)	〃	0212	〇〇	〇	0
財形貯蓄関係(依頼明細)	〃	0300	〇〇	〇	0
財形貯蓄関係(処理結果明細:積立内容)	〃	0301	〇〇	〇	0
財形貯蓄関係(処理結果明細:利子補給)	〃	0302	〇〇	〇	0
財形貯蓄関係(処理結果明細:その他)	〃	0309	〇〇	〇	0
借入金計算書	〃	0231	〇〇	〇	0
借入金残高明細	〃	0232	〇〇	〇	0
借入金残高合計	〃	0233	〇〇	〇	0
外国為替取引明細(会計性)	〃	0425	〇〇	〇	0
外国為替取引明細(非会計性)	〃	0426	〇〇	〇	0
外国為替関連情報	〃	0427	〇〇	〇	0
外国送金依頼	〃	0435	〇〇	〇	0
荷為替輸入信用状発行依頼	〃	0428	〇〇	〇	0
外貨預金入出金取引明細	〃	0009	〇〇	〇	0

6. ファイル名補助情報

(1) ファイル名補助情報の使い方

「ファイル名」より細かなファイル識別を必要とする場合は、「ファイル名補助情報」を使用する。この使い方は次のとおりとする。

- ① 補助情報の内容は使用目的別に規定する。
- ② 各補助情報の使用目的はアクセスID(ヘキサデシマル2バイト)の該当ビット位置のオン・オフ状態により表わす。
- ③ 複数の補助情報を使用する場合、そのセット順序はアクセスIDの高位ビット順とする。この場合、アクセスIDは複数ビットがオンの状態になる。

(2) ファイル名補助情報

	使用目的	アクセスID (ビットパターン)	補助情報
1	日付指定(注)	10000000 00000000 (X"8000")	$\underline{YY} \ \underline{MM} \ \underline{DD} \ \underline{0\sim0}$ (左詰め残り FILLER X"00") 年* 月 日 (*西暦下2桁) X(3)バイト(日付の表示コードはJIS C6269の第1形式に準拠する。)
2	口座番号指定	01000000 00000000 (X"4000")	$\underline{XXXX} \ \underline{XXXX} \ \underline{XXXXXXXXXX} \ \underline{0\sim0}$ (左詰め残り FILLER X"00") 店番 預金種目 口座番号(10桁) X(9)バイト (注)店番は3桁であり、前「0」とする。預金種目コードは1桁であり、前「00」とする。口座番号は普通預金、当座預金では7桁以下であるが、その他の預金については一部の銀行において7桁を超える場合があるため10桁とした。右詰め残り前「0」とする。
3	外国為替取引 明細(会計性)、 同(非会計性)、 外国為替関連 情報の取引情報 区分	00100000 00000000 (X"2000")	$\underline{XXX} \ \underline{0\sim0}$ (左詰め残り FILLER X"00") 取引情報区分 X(2)バイト (注)外国為替取引明細(会計性)、同(非会計性)、外国為替関連情報のヘッダー・レコード中の取引情報区分コードは3桁であり、前「0」とする。
4			
}			将来的拡張用の予備(特定企業・銀行間で任意に使用はできない)
16			

(注)あらかじめ契約された期間の日付のみとする。

(3) ファイル名補助情報を複数指定する場合の例

例 1. 日付、口座番号の両方を指定する場合のファイル名補助情報

ファイル名補助情報															
アクセス ID	補助情報														
11000000 00000000	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 25%;">X(3)</td> <td colspan="3" style="text-align: center; width: 75%;">X(9)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">YYMMDD</td> <td style="text-align: center;">XXXX</td> <td style="text-align: center;">XXXX</td> <td style="text-align: center;">XXXXXXXXXX</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日付</td> <td style="text-align: center;">店番</td> <td style="text-align: center;">預金種目</td> <td style="text-align: center;">口座番号</td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right; width: 5%;">0~0</td> <td style="text-align: left;">(左詰め残り FILLER X "00")</td> </tr> </table>	X(3)	X(9)			YYMMDD	XXXX	XXXX	XXXXXXXXXX	日付	店番	預金種目	口座番号	0~0	(左詰め残り FILLER X "00")
X(3)	X(9)														
YYMMDD	XXXX	XXXX	XXXXXXXXXX												
日付	店番	預金種目	口座番号												
0~0	(左詰め残り FILLER X "00")														

例 2. 日付、取引情報区分の両方を指定する場合のファイル名補助情報

ファイル名補助情報												
アクセス ID	補助情報											
10100000 00000000	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 33%;">X(3)</td> <td style="text-align: center; width: 33%;">X(2)</td> <td style="width: 34%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">YYMMDD</td> <td style="text-align: center;">X X X X</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日付</td> <td style="text-align: center;">取引情報区分</td> <td></td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right; width: 5%;">0~0</td> <td style="text-align: left;">(左詰め残り FILLER X "00")</td> </tr> </table>	X(3)	X(2)		YYMMDD	X X X X		日付	取引情報区分		0~0	(左詰め残り FILLER X "00")
X(3)	X(2)											
YYMMDD	X X X X											
日付	取引情報区分											
0~0	(左詰め残り FILLER X "00")											

7. レコード・シーケンス

(1) レコードの種類

全銀協制定磁気テープ・フォーマットでは、レコードの種類を次のように規定している。なお、各レコードの最初の1バイトはデータ区分となっており、これによりレコードの種類を表わす。



- ① ヘッダー・レコード： データ・レコードの集まりの始まりを表わすとともに、データ・レコードの種別等を表示する。データ区分「1」。
- ② データ・レコード： 連絡・通知する情報の1単位。データ区分「2」。
- ③ トレーラ・レコード： ヘッダー・レコードで始まるデータ・レコードの集まりの終わりを表わす。データ区分「8」。
- ④ エンド・レコード： ファイルの終りを表わす。データ区分「9」。

(2) レコードのシーケンス

レコードのシーケンスは、ヘッダー・レコード、データ・レコード、トレーラ・レコードの順とし、最終レコードとしてエンド・レコードを付ける。

また、1ファイルは最初のヘッダー・レコードからエンド・レコードまでにより構成される。

なお、1ファイルに複数のヘッダー・レコードがある場合には、各ヘッダー・レコード上の種別コードは同一種別コードに限定される。

レコード・シーケンスのパターンは次のとおり。

① ヘッダー・レコードが1つのファイルの場合

レヘ	レデ	レデ	レデ										レデ	レト	レエ
コツ	コレ	コレ	コレ											コレ	コレ	コン
1ダ	11	11	11											11	11	11
ド1	ドラ	ドラ	ドラ											ドラ	ドラ	ドド

② ヘッダー・レコードが複数のファイルの場合

レヘ	レデ	レデ	レト	レヘ	レデ	レデ	レデ	レト	レヘ	レデ	レデ	レデ										レデ	レト	レエ
コツ	コレ	コレ	コレ	コツ	コレ	コレ	コレ	コレ	コツ	コレ	コレ	コレ											コレ	コレ	コン
1ダ	11	11	11	1ダ	11	11	11	11	1ダ	11	11	11											11	11	11
ド1	ドラ	ドラ	ドラ	ド1	ドラ	ドラ	ドラ	ドラ	ド1	ドラ	ドラ	ドラ											ドラ	ドラ	ドド

(注) データ・レコードのない場合もある。

レヘ	レト	レエ
コツ	コレ	コン
1ダ	11	11
ド1	ドラ	ドド

Ⅱ 全銀協制定レコード・フォーマット

以下に全銀協制定磁気テープ・フォーマットのうち、Iの適用業務で使用されるものについて記述する。

(レコード・フォーマット使用上の注意事項)

- (1) 「※」印の項目は銀行により、または場合により記録を省略することができる。省略した場合は各フォーマットで特に規定のない限り、全てスペース(SP)とする。
- (2) ダミーは将来の拡張用の予備エリアであり、特定企業・銀行間で任意に使用はできない。各フォーマットで特に規定のない限り、全てスペース(SP)とする。
- (3) 銀行コード・手形交換所コードは金融機関共同コード管理委員会制定の統一コードとする。
- (4) 支店コードは各銀行が制定し、全国銀行協会に登録した統一店番号とする。
- (5) 銀行コード・手形交換所コード、支店コードは金融機関コード便覧(全国銀行協会出版センターで販売)に記載されている。
- (6) 銀行名・支店名は全国銀行店舗一覧(全国銀行協会編)に記載の正称または略称とする。
- (7) 預金種目および税区分は全銀協制定統一コードを使用する(付録3、4を参照)。
- (8) 「レコードの内容」の桁数欄および「レコード形式」のタイプ欄「C」はキャラクター(数字を含む)、Nは数字を表わす。

1. 振込入金通知レコード・フォーマット

(1) 説明

- ① 取引先(企業)の口座へ振込入金明細を銀行から通知する場合に使用する。
- ② 対象口座は普通預金、当座預金および貯蓄預金とする。
- ③ フォーマットの種類は次のとおりとする。
 - A. データ・レコードの金額欄が 10 桁のフォーマット(以下「フォーマット A」という。)
 - B. データ・レコードに 12 桁の金額欄を追加したフォーマット(以下「フォーマット B」という。)
- ④ フォーマットの使用方法は以下のとおりである。なお、種別コードは両フォーマットともに同一コード(01)とする。またフォーマット B を使用するか否かは各銀行の任意とし、フォーマット A とフォーマット B を併用する場合は、企業別にいずれのフォーマットを使用しているかを銀行側で管理する。
 - A. フォーマット A
10 桁を超える振込入金が予想されない場合あるいは振込金額が 10 桁超であっても振込入金通知を 10 桁超で通知する必要がない場合。
 - B. フォーマット B
振込金額が 10 桁超でかつ振込入金通知を 10 桁超で通知することが予想される場合。この場合、
 - (a) 振込入金通知金額が 10 桁を超える場合には、項番 12「金額(2)」および項番 13「うち他店券金額(2)」を使用し、項番 5「金額(1)」および項番 6「うち他店券金額(1)」はすべてゼロとする。
 - (b) 振込入金通知金額が 10 桁以内の場合には、項番 5「金額(1)」および項番 6「うち他店券金額(1)」を使用し、項番 12「金額(2)」および項番 13「うち他店券金額(2)」はすべてゼロとする。

(2) レコードの内容

A. フォーマット A

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 01:振込入金通知
3	コード区分	N(1)	・使用コード区分を表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	作成日	N(6)	・データ作成日を表わす(和暦)。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
5	勘定日(自)	N(6)	・勘定日の期間を表わす。 ((自)(至)ともに)YYMMDD(年(和暦)-月-日) ただし、営業日単位で通知する場合は(自)(至)を同一年月日とする。
6	勘定日(至)	N(6)	
7	銀行コード	N(4)	・統一金融機関番号
8	銀行名	C(15)	・左詰め残りスペース
9	支店コード	N(3)	・統一店番号
10	支店名	C(15)	・左詰め残りスペース
11	預金種目	N(1)	・預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 4:貯蓄預金
12	口座番号	N(7)	・取引口座番号 右詰め残り前「0」
13	口座名	C(40)	・左詰め残りスペース
14	ダミー	C(93)	・スペースとする。

(200)

② データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	※照会番号	N(6)	・銀行が採番した照会用番号 右詰め残り前「0」
3	勘定日	N(6)	・勘定日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
4	起算日	N(6)	・入金起算日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日) 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日と同一年月日を記入する。
5	金額	N(10)	・右詰め残り前「0」
6	うち他店券金額	N(10)	・入金額中の他店券金額。 右詰め残り前「0」
7	※振込依頼人コード	N(10)	・仕向銀行からの為替通知に記載された振込依頼人の識別コード。 右詰め残り前「0」
8	振込依頼人名	C(48)	・左詰め残りスペース
9	※仕向銀行名	C(15)	・左詰め残りスペース
10	※仕向店名	C(15)	・左詰め残りスペース
11	※取消区分	N(1)	・振込入金通知を取り消す場合に使用する。 1:取消
12	※EDI 情報	C(20)	・仕向銀行からの為替通知に記載された EDI 情報。 左詰め残りスペース
13	ダミー	C(52)	・スペースとする。

※は任意項目 (200)

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	振込合計件数	N(6)	・右詰め残り前「0」
3	振込合計金額	N(12)	・右詰め残り前「0」
4	※取消合計件数	N(6)	・右詰め残り前「0」
5	※取消合計金額	N(12)	・右詰め残り前「0」
6	ダミー	C(163)	・スペースとする。

※は任意項目 (200)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(199)	・スペースとする。

(200)

B. フォーマット B

データ・レコードが異なる以外は、「フォーマット A」に同じ。

② データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	※照会番号	N(6)	・銀行が採番した照会番号 右詰め残り前「0」
3	勘定日	N(6)	・勘定日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
4	起算日	N(6)	・入金时起算日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日) 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日と同一年月日を記入する。
5	金額 (1)	N(10)	・入金額。振込入金通知が 10 桁以内の場合に使用する。 右詰め残り前「0」 項番 12 を使用する場合にはすべて「0」とする。
6	うち他店券金額 (1)	N(10)	・入金額中の他店券金額。振込入金通知が 10 桁以内の場合に使用する。 右詰め残り前「0」 項番 13 を使用する場合にはすべて「0」とする。
7	※振込依頼人コード	N(10)	・仕向銀行からの為替通知に記載された振込依頼人の識別コードとする。 右詰め残り前「0」
8	振込依頼人名	C(48)	・左詰め残りスペース
9	※仕向銀行名	C(15)	・左詰め残りスペース
10	※仕向店名	C(15)	・左詰め残りスペース
11	※取消区分	N(1)	・振込入金通知を取り消す場合に使用する。 1:取消
12	金額 (2)	N(12)	・振込入金通知が 10 桁を超える場合に使用する。 右詰め残り前「0」 項番 5 を使用する場合にはすべて「0」とする。
13	うち他店券金額 (2)	N(12)	・入金額中の他店券金額。振込入金通知が 10 桁を超える場合に使用する。 右詰め残り前「0」 項番 6 を使用する場合にはすべて「0」とする。
14	※EDI 情報	C(20)	・仕向銀行からの為替通知に記載された EDI 情報とする。 左詰め残りスペース
15	ダミー	C(28)	・スペースとする。

※は任意項目

(200)

2. 入出金取引明細レコード・フォーマット

(1) 説明

取引先(企業)の口座の入金および出金取引の明細を銀行から通知する場合に使用する。

対象預金は、普通預金、当座預金、貯蓄預金のほか通知預金、定期預金、積立定期預金があり、前3者と後3者とはデータ・レコードのフォーマットが異なる。

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 03:入出金取引明細
3	コード区分	N(1)	・使用コード区分を表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	作成日	N(6)	・データ作成日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
5	勘定日(自)	N(6)	・勘定日の期間を表わす。 ((自)(至)ともに)YYMMDD(年(和暦)-月-日) ただし、営業日単位で通知する場合は(自)(至)を同一年月日とする。
6	勘定日(至)	N(6)	
7	銀行コード	N(4)	・統一金融機関番号
8	銀行名	C(15)	・左詰め残りスペース
9	支店コード	N(3)	・統一店番号
10	支店名	C(15)	・左詰め残りスペース
11	ダミー	N(3)	・将来の拡張用の予備エリア。 全て「0」とする
12	預金種目	N(1)	・預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 4:貯蓄預金 5:通知預金 6:定期預金 7:積立定期預金
13	口座番号(注)	N(10)	・取引口座番号。 右詰め残り前「0」
14	口座名	C(40)	・左詰め残りスペース
15	※貸越区分	N(1)	・取引前残高の状態を表わす。 1:プラス 2:マイナス
16	※通帳・証書区分	N(1)	・取引が通帳によるか証書によるかの区分を示す。 1:通帳 2:証書
17	※取引前残高	N(14)	・右詰め残り前「0」
18	ダミー	C(71)	・スペースとする。

※は任意項目 (200)

(注) 普通預金、当座預金、貯蓄預金は7桁以下であるが、その他の預金については一部の銀行において7桁を超える場合があるため10桁とした。

②-1 データ・レコード(普通預金・当座預金・貯蓄預金の場合)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	※照会番号	N(8)	・銀行が採番した照会用番号 右詰め残り前「0」
3	勘定日	N(6)	・勘定日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
4	預入・払出日	N(6)	・入金・出金の起算日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日) 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日と同一年月日を記入する。
5	入払区分(注)	N(1)	入出金の状態を表わす。 1: 入金 2: 出金
6	※取引区分	N(2)	・取引形態を表わす。 10: 現金 11: 振込 12: 他店券入金 13: 交換(取立入金および交換払) 14: 振替 18: その他 19: 訂正
7	取引金額	N(12)	・右詰め残り前「0」
8	うち他店券金額	N(12)	・取引金額中の他店券金額。 右詰め残り前「0」
9	※交換呈示日	N(6)	・証券類の交換呈示日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
10	※不渡返還日	N(6)	・証券類の不渡返還日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
11	※手形・小切手区分	N(1)	・手形・小切手の種別を表わす。 1: 小切手 2: 約束手形 3: 為替手形
12	※手形・小切手番号	N(7)	・右詰め残り前「0」
13	※僚店番号	N(3)	・取引のあった店を表わす(統一店番号)
14	※振込依頼人コード	N(10)	・仕向銀行からの為替通知に記載された振込依頼人の識別コードとする。 右詰め残り前「0」
15	※振込依頼人名または契約者番号	C(48)	[入払区分が「1」(入金)の場合] ・振込依頼人名 左詰め残りスペース [入払区分が「2」(出金)の場合] ・預金口座振替の契約者番号(収納企業が採番した20桁以内のコード)を左20桁に記録し、残り28桁はスペースとする。
16	※仕向銀行名	C(15)	・左詰め残りスペース
17	※仕向店名	C(15)	・左詰め残りスペース
18	※摘要内容	C(20)	・左詰め残りスペース
19	※EDI 情報	C(20)	・仕向銀行からの為替通知に記載された EDI 情報とする。 左詰め残りスペース
20	ダミー	C(1)	・スペースとする。

※は任意項目 (200)

(注)取引区分の訂正「19」を使用する場合には、入払区分を入金訂正は出金「2」、出金訂正は入金「1」とする。

②-2 データ・レコード(通知預金・定期預金・積立定期預金の場合)

項番	項目名	桁数	内容												
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード												
2	※識別番号	N(8)	・口座番号の枝番号等個々の取引を特定する番号 右詰め残り前「0」												
3	勘定日	N(6)	・勘定日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)												
4	預入・払出日	N(6)	・入金・出金の起算日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日) 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日と同一年月日を記入する。												
5	入払区分(注1)	N(1)	・入出金の状態を表わす。 1: 入金 2: 出金												
6	※取引区分	N(2)	・取引形態を表わす。 10: 現金 11: 振込 12: 他店券入金 13: 交換(取立入金および交換払) 14: 振替 15: 継続(自動継続を含む) 18: その他 19: 訂正												
7	取引金額	N(12)	・右詰め残り前「0」												
8	うち他店券金額	N(12)	・取引金額中の他店券金額。 右詰め残り前「0」												
9	※交換呈示日	N(6)	・証券類の交換呈示日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)												
10	※不渡返還日	N(6)	・証券類の不渡返還日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)												
11	※手形・小切手区分	N(1)	・手形・小切手の種別を表わす。 1: 小切手 2: 約束手形 3: 為替手形												
12	※手形・小切手番号	N(7)	・右詰め残り前「0」												
13	※僚店番号	N(3)	・取引のあった店を表わす。 統一店番号												
14	※当初預入日	N(6)	・継続された定期預金・積立定期預金の当初預入日は預入の場合は継続前の最初の預入日、支払の場合は最後の継続日とする。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)												
15	利率(注2)	N(6)	・預入時の利率を表わす(年利)。利率が変更になった場合はスペース(SP)とする。 期限前解約の場合は、期限前解約利率を記入する(小数第4位まで) XX XXXX(預入時の利率または期限前解約利率)												
16	※満期日	N(6)	・定期預金・積立定期預金の満期日(積立定期預金の場合は口座契約上の満期日)を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)												
17	※期間(1)	N(7)	・預入日から満期日(通知預金は勘定日)までの期間(積立定期預金の場合は口座契約上の期間)。年・月・日のいずれかで表わす。なお、本項目で年・月の期間表示ができない場合は、項番30「期間(2)」を使用する。使用しないものはすべて「0」とする。 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X X</td> <td style="text-align: center;">X X X X</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">日表示(右詰め残り前「0」)</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> </td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> </td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> </td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">月表示(右詰め残り前「0」)</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> </td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> </td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;"> </td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">年表示</td> </tr> </table>	X	X X	X X X X	日表示(右詰め残り前「0」)				月表示(右詰め残り前「0」)				年表示
X	X X	X X X X	日表示(右詰め残り前「0」)												
			月表示(右詰め残り前「0」)												
			年表示												

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	入金件数	N(6)	・右詰め残り前「0」
3	入金額合計	N(13)	・右詰め残り前「0」
4	出金件数	N(6)	・右詰め残り前「0」
5	出金額合計	N(13)	・右詰め残り前「0」
6	※貸越区分	N(1)	・取引後残高の状態を表わす。 1:プラス 2:マイナス
7	※取引後残高	N(14)	・右詰め残り前「0」
8	データ・レコード件数	N(7)	・データ・レコードの総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
9	ダミー	C(139)	・スペースとする。

※は任意項目

(200)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	レコード総件数	N(10)	・右詰め残り前「0」
3	口座数	N(5)	・右詰め残り前「0」
4	ダミー	C(184)	・スペースとする。

(200)

3. 残高通知(預金)レコード・フォーマット

(1) 説明

- ・取引先(企業)の預金口座の残高を銀行から通知する場合に使用する。
- ・レコードのシーケンス・フローは次のとおりである。

(1) 全店・全種目

レヘ コッ ーダ ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー	レト コレ ー ドー	レヘ コッ ーダ ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー	レト コレ ー ドー	レヘ コッ ーダ ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー
	A支店 普通	A支店 当座			B支店 普通	B支店 当座	B支店 通知			C支店 普通	C支店 当座

レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー						レデ コ ー ドー	レト コレ ー ドー	レエ コン ド
C支店 通知	C支店 定期							N支店 X預金		

(2) 全店・1種目

レヘ コッ ーダ ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー	レト コレ ー ドー	レヘ コッ ーダ ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー	レト コレ ー ドー
	A支店 普通1	A支店 普通2	A支店 普通3	A支店 普通4			B支店 普通1	B支店 普通2	B支店 普通3	B支店 普通4	

レヘ コッ ーダ ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー				レデ コ ー ドー	レト コレ ー ドー	レエ コン ド
	C支店 普通1	C支店 普通2	C支店 普通3					N支店 普通X		

(3) 1支店・全種目

レヘ コッ ーダ ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー					レデ コ ー ドー	レト コレ ー ドー	レエ コン ド
	A支店 普通	A支店 当座	A支店 普通						A支店 定期		

(4) 1支店・1種目

レヘ コッ ーダ ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー	レデ コ ー ドー				レデ コ ー ドー	レト コレ ー ドー	レエ コン ド
	A支店 普通1	A支店 普通2	A支店 普通3					A支店 普通N		

(5) 1支店・1口座

レヘ コッ ーダ ドー	レデ コ ー ドー	レト コレ ー ドー	レエ コン ド
	A支店 普通		

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 04:残高通知
3	通知区分	N(1)	・残高通知の種類を表わす。 1:預金
4	コード区分	N(1)	・使用コード区分を表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
5	作成日	N(6)	・データ作成日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)・月・日)
6	会社コード	N(10)	・銀行が採番した取引先の会社コードを表わす。 右詰め残り前「0」
7	会社名	C(40)	・会社名 左詰め残りスペース
8	銀行コード	N(4)	・取引銀行コードを表わす。 統一金融機関番号
9	銀行名	C(15)	・取引銀行名 左詰め残りスペース
10	支店コード	N(3)	・取引支店コードを表わす。 統一店番号
11	支店名	C(15)	・取引支店名 左詰め残りスペース
12	ダミー	C(102)	・ダミー・エリア

(200)

② データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	基準日	N(6)	・現在残高の基準日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
3	※基準時刻	N(4)	・現在残高の基準時刻を表わす。 HHMM(時-分)
4	支店コード	N(3)	・取引支店コードを表わす。 統一店番号
5	ダミー	N(3)	・将来の拡張用の予備エリア すべて「000」とする
6	預金種目	N(1)	・預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 3:納税準備預金 4:貯蓄預金 5:通知預金 6:定期預金 7:積立定期預金 8:定期積金 9:その他
7	口座番号(注)	N(10)	・取引口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」
8	※口座数	N(4)	・通知預金、定期預金における上記口座の口座数。 右詰め残り前「0」
9	口座名	C(40)	・口座名。 左詰め残りスペース
10	現在残高 (1) 貸越区分	N(1)	・現在残高の状態を表わす。 1:プラス 2:マイナス
	(2) 残高	N(14)	・基準時刻における残高を表わす。 右詰め残り前「0」
11	他店券残高	N(14)	・現在残高中の他店券残高を表わす。 右詰め残り前「0」
12	貸越極度額	N(14)	・当座貸越契約がある場合の貸越極度額。 右詰め残り前「0」
13	※支払可能残高 (1) 貸越区分	N(1)	・支払可能残高の状態を表わす。 1:プラス 2:マイナス
	(2) 残高	N(14)	・現在残高-他店券残高+貸越極度額 右詰め残り前「0」
14	※前日残高 (1) 貸越区分	N(1)	・前日残高の状態を表わす。 1:プラス 2:マイナス
	(2) 残高	N(14)	・前日末の残高を表わす。 右詰め残り前「0」
15	※最新取引日	N(6)	・最新の取引日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)・月・日)
16	ダミー	C(49)	・ダミー・エリア

※は任意項目 (200)

(注) 普通預金、当座預金は7桁以下であるが、その他の預金については一部の銀行において7桁を超える場合があるため10桁とした。

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	データ・レコード総件数	N(7)	・データ・レコードの総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	ダミー	C(192)	・ダミー・エリア

(200)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	レコード総件数	N(10)	・レコード総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	ダミー	C(189)	・ダミー・エリア

(200)

4. 給与振込(民間)レコード・フォーマット

(1) 説明

- ・ 企業等が従業員の給与を口座振込の形で支払う場合の振込明細で、取引先から銀行へ連絡される。

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 11:給与振込(民間)
3	コード区分	N(1)	・使用コード区分を表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	会社コード	N(10)	・銀行が採番した取引先の会社コードを表わす。 右詰め残り前「0」
5	会社名	C(40)	・会社名は事業所、出張所名等を含めてもよい(付録2.参照)。 左詰め残りスペース
6	振込指定日	N(4)	・振込指定日を表わす。 MMDD(月日)
7	仕向銀行番号	N(4)	・取引銀行番号 統一金融機関番号
8	※仕向銀行名	C(15)	・取引銀行名 左詰め残りスペース
9	仕向支店番号	N(3)	・取引支店番号 統一店番号
10	※仕向支店名	C(15)	・取引支店名 左詰め残りスペース
11	※預金種目(企業等)	N(1)	・企業等の預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金
12	※口座番号(企業等)	N(7)	・企業等の口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」
13	ダミー	C(17)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(120)

② データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	被仕向銀行番号	N(4)	・振込先銀行番号 統一金融機関番号
3	被仕向銀行名	C(15)	・振込先銀行名 左詰め残りスペース
4	被仕向支店番号	N(3)	・振込先支店番号 統一店番号
5	被仕向支店名	C(15)	・振込先支店名 左詰め残りスペース
6	※手形交換所番号	N(4)	・手形交換所番号
7	預金種目	N(1)	・振込先の預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金
8	口座番号	N(7)	・振込先の口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」(口座番号)
9	預金者名	C(30)	・振込先預金者名 左詰め残りスペース(付録2.参照)
10	振込金額	N(10)	・振込金額 右詰め残り前「0」
11	新規コード	N(1)	・新規振込、変更等を表わす。 1:第1回振込分 2:変更分(被仕向銀行・支店、口座番号) 0:その他
12	※社員番号	N(10)	・企業等での社員番号を表わす。 右詰め残り前「0」
13	※所属コード	N(10)	・企業等での所属コードを表わす。 右詰め残り前「0」
14	ダミー	C(9)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(120)

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	合計件数	N(6)	・合計件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	合計金額	N(12)	・合計金額 右詰め残り前「0」
4	ダミー	C(101)	・ダミー・エリア

(120)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(119)	・ダミー・エリア

(120)

5. 賞与振込(民間)レコード・フォーマット

(1) 説明

- ・企業等が従業員の賞与を口座振込の形で支払う場合の振込明細で、取引先から銀行へ連絡される。
- ・レコード・フォーマットは給与振込(民間)と同一であり、種別コードのみ異なる。

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

- ・ヘッダー・レコードの種別コードを「12」とする以外は給与振込と同一。

項番	項目名	桁数	内容
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 12: 賞与振込(民間)

(3) レコードの形式

- ・給与振込(民間)と同一。

6. 給与振込(地方公務員)レコード・フォーマット

(1) 説明

・地方公共団体が職員の給与を口座振込の形で支払う場合の振込明細で、地方公共団体から銀行へ連絡される。

(2) レコードの内容

・次の項目以外は給与振込(民間)と同一。

・ヘッダー・レコードの種別コードを「71」とする。

項番	項目名	桁数	内容
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 71: 給与振込(地方公務員)

・ヘッダー・レコードの会社コードを次のとおりとする。

項番	項目名	桁数	内容
4	会社コード	N(10)	・地方公共団体コード(JIS)および会計コードとする。 X X X X X X X X X X <div style="margin-left: 20px;"> 会計コード 市町村コード 都道府県コード 「0」とする。 </div>

(3) レコードの形式

・給与振込(民間)と同一。

8. 総合振込レコード・フォーマット

(1) 説明

・振込依頼人(企業等)が同時に多数の振込を依頼する場合の振込明細で、振込依頼人から銀行へ連絡される。

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 21:総合振込
3	コード区分	N(1)	・使用コード区分を表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	振込依頼人コード(取引企業コード)	N(10)	・振込依頼人識別のため銀行が採番したコードを表わす。 右詰め残り前「0」
5	振込依頼人名	C(40)	・左詰め残りスペース
6	取組日	N(4)	・振込日を表わす。 MMDD(月-日)
7	仕向銀行番号	N(4)	・統一金融機関番号
8	※仕向銀行名	C(15)	・左詰め残りスペース
9	仕向支店番号	N(3)	・統一店番号
10	※仕向支店名	C(15)	・左詰め残りスペース
11	※預金種目(依頼人)	N(1)	・預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 9:その他
12	※口座番号(依頼人)	N(7)	・右詰め残り前「0」
13	ダミー	C(17)	・スペースとする。

※は任意項目

(120)

② データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	被仕向銀行番号	N(4)	・統一金融機関番号
3	※被仕向銀行名	C(15)	・左詰め残りスペース
4	被仕向支店番号	N(3)	・統一店番号
5	※被仕向支店名	C(15)	・左詰め残りスペース
6	※手形交換所番号	N(4)	・統一手形交換所番号
7	預金種目	N(1)	1:普通預金 2:当座預金 4:貯蓄預金 9:その他
8	口座番号	N(7)	・右詰め残り前「0」
9	受取人名	C(30)	・左詰め残りスペース
10	振込金額	N(10)	・右詰め残り前「0」
11	新規コード	N(1)	1:第1回振込分 2:変更分(被仕向銀行・支店、預金種目・口座番号) 0:その他

12	※顧客コード1	N(10)	・依頼人が定めた受取人識別のための顧客コードを表わす。
13	※顧客コード2	N(10)	

12 および 13	※EDI 情報	C(20)	・項番15の識別表示欄に「Y」表示を付した場合には、本欄の内容は「依頼人から受取人に対して通知するEDI 情報」を表わす。 左詰め残りスペース
-----------------	---------	-------	--

14	※振込指定区分	N(1)	7:テレ振込 8:文書振込
15	※識別表示	C(1)	・「Y」またはスペースとする。 本欄に「Y」表示を付した場合は、項番12・13の項目内容は「EDI 情報」を表わす。
16	ダミー	C(7)	・スペースとする。

※は任意項目 (120)

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	合計件数	N(6)	・右詰め残り前「0」
3	合計金額	N(12)	・右詰め残り前「0」
4	ダミー	C(101)	・スペースとする。

(120)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(119)	・スペースとする。

(120)

(注) 振込依頼人名、受取人名などの記入

(編注:付録2.参照)

9. 株式配当金振込レコード・フォーマット

(1) 説明

・企業(株式会社)が株主に支払う配当金の振込明細で、企業から銀行へ連絡される。

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 41:株式配当金振込
3	コード区分	N(1)	・使用コード区分を表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	依頼人コード	N(10)	・銀行が定めた依頼人のコードを表わす。 右詰め残り前「0」
5	依頼人名	C(40)	・依頼人名 左詰め残りスペース(付録2,参照)
6	支払開始日	N(4)	・支払開始日を表わす。 MMDD(月-日)
7	仕向銀行番号	N(4)	・取引銀行番号 統一金融機関番号
8	仕向銀行名	C(15)	・取引銀行名 左詰め残りスペース
9	仕向支店番号	N(3)	・取引支店番号 統一店番号
10	仕向支店名	C(15)	・取引支店名 左詰め残りスペース
11	ダミー	C(8)	・ダミー・エリア
12	支払期	N(4)	・支払期間を表わす。 原則としてYYMM(年-月) 年月表示でないものは、右詰め残り前「0」
13	※種類内訳	C(13)	・種別コードおよび依頼人名で足りる場合には省略できる。

※は任意項目

(120)

② データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	被仕向銀行番号	N(4)	・振込先銀行番号 統一金融機関番号
3	被仕向銀行名	C(15)	・振込先銀行名 左詰め残りスペース
4	被仕向支店番号	N(3)	・振込先支店番号 統一店番号
5	被仕向支店名	C(15)	・振込先支店名 左詰め残りスペース
6	※交換所番号	N(4)	・手形交換所番号
7	預金種目	N(1)	・振込先の預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 9:その他
8	口座番号	N(7)	・振込先の口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」
9	預金者名	C(30)	・預金者名。 左詰め残りスペース(付録2,参照)
10	振込金額	N(10)	・振込金額。 右詰め残り前「0」
11	新規コード	N(1)	・新規振込・変更等を表わす。 1:第1回振込分 2:変更分(被仕向銀行・支店、口座番号) 0:その他
12	受取人照会番号	N(10)	・受取人照会番号(株主番号)を表わす。 右詰め残り前「0」
13	ダミー	C(19)	・ダミー・エリア

※は任意項目 (120)

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	合計件数	N(6)	・振込合計件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	合計金額	N(12)	・振込合計金額を表わす。 右詰め残り前「0」
4	ダミー	C(101)	・ダミー・エリア

(120)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(119)	・ダミー・エリア

(120)

10. 年金信託契約に係る年金・一時金給付金振込レコード・フォーマット

(1) 説明

・年金信託契約にもとづき、受給権者に支払う年金および一時金の振込明細である。

(2) レコードの内容

・次の項目以外は株式配当金振込と同一。

・ヘッダー・レコードの種別コードを「43」とする。

項番	項目名	桁数	内容
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 43: 年金信託契約に係る年金・一時金給付金振込

・データ・レコードの受取人照会番号を 20 桁とし、ダミーを 9 桁とする。

項番	項目名	桁数	内容
12	受取人照会番号	N(20)	・受取人照会番号を表わす。(受給者番号等) 右詰め残り前「0」
13	ダミー	C(9)	・ダミー・エリア

(3) レコードの形式

データ・レコードの受取人照会番号とダミーの桁数をそれぞれ 20 桁、9 桁とするほかは、株式配当金振込と同一。

11. 公的年金保険の年金・一時金給付金振込レコード・フォーマット

(1) 説明

- ・国家公務員共済組合法等の法律に基づく公的年金・一時金給付金を下記の振込依頼人が受給権者に支払うときの振込明細で、振込依頼人から銀行へ連絡される。

[公的年金保険給付金の振込依頼人]

1. 国家公務員共済組合法に基づくもの

- (1) 国家公務員共済組合連合会
- (2) 郵政共済組合
- (3) 印刷局共済組合
- (4) 造幣局共済組合
- (5) 林野庁共済組合
- (6) 国土交通省共済組合

2. 地方公務員共済組合法に基づくもの

- (1) 地方職員共済組合
- (2) 警察共済組合
- (3) 公立学校共済組合
- (4) 都職員共済組合
- (5) 各指定都市の職員共済組合
- (6) 全国市町村職員共済組合連合会

- (7) 地方団体関係団体職員共済組合
- (8) 都道府県議会議員共済会
- (9) 市議会議員共済会
- (10) 町村議会議員共済会

3. 私立学校教職員共済組合法に基づくもの

- 私立学校教職員共済組合

4. 農林漁業団体職員共済組合法に基づくもの

- 農林漁業団体職員共済組合

(2) レコードの内容

- ・ヘッダー・レコードの種別コードを「44」とする以外は年金信託契約に係る年金・一時金給付金振込と同一。

項番	項目名	桁数	内容
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 44: 公的年金保険の年金・一時金給付金振込

(3) レコードの形式

- 年金信託契約に係る年金・一時金給付金振込と同一。

12. 医療保険の給付金振込レコード・フォーマット

(1) 説明

- ・被保険者(組合員)に対して支給する医療保険給付金および保険医療機関に対して支払う診療報酬を下記の振込依頼人が支払うときの振込明細で、振込依頼人から銀行へ連絡される。

[医療保険の給付金の振込依頼人]

1. 保険給付金の振込依頼人

(1) 各共済組合法に基づくもの

① 国家公務員共済組合法に基づくもの

- A 郵政共済組合
- B 印刷局共済組合
- C 造幣局共済組合
- D 林野庁共済組合
- E 国土交通省共済組合

② 地方公務員共済組合法に基づくもの

- A 地方職員共済組合
- B 警察共済組合
- C 公立学校共済組合
- D 都職員共済組合
- E 各指定都市の職員共済組合
- F 全国市町村職員共済組合連合会
- G 地方団体関係団体職員共済組合

(2) 次に掲げる振込依頼人

- ① 衆議院共済組合
- ② 参議院 "
- ③ 内閣 "
- ④ 総務省 "
- ⑤ 法務省 "

- ⑥ 財務省 "
- ⑦ 外務省 "
- ⑧ 文部科学省 "
- ⑨ 農林水産省 "
- ⑩ 国土交通省 "
- ⑪ 厚生労働省 "
- ⑫ 厚生労働省第二 "
- ⑬ 経済産業省 "
- ⑭ 裁判所 "
- ⑮ 会計検査院 "
- ⑯ 刑務 "
- ⑰ 防衛省 "
- ⑱ 国家公務員共済組合連合会職員 "

(3) 同種同業者による国民健康保険組合

(4) 組合管掌による各健康保険組合

2. 診療報酬の振込依頼人

- (1) 各都道府県の社会保険診療報酬支払基金
- (2) 各都道府県の国民健康保険団体連合会
- (3) 同種同業者による国民健康保険組合
- (4) 組合管掌による各健康保険組合
- (5) 各共済組合法に基づく各共済組合(前記 1.の(1)、(2))の振込依頼人

(2) レコードの内容

ヘッダー・レコードの種別コードを「45」とする以外は年金信託契約に係る年金・一時金給付金振込と同一。

項番	項目名	桁数	内容
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 45:医療保険の給付金振込

(3) レコードの形式

年金信託契約に係る年金・一時金給付金振込と同一。

13. 振込口座照会(依頼明細)レコード・フォーマット

(1) 説明

企業等が振込口座照会を銀行に依頼する場合の明細である。

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 98:振込口座照会依頼
3	コード区分	N(1)	・使用コード区分を表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	口座照会依頼人コード	N(10)	・口座照会依頼人識別のため銀行が採番したコードを表わす。 右詰め残り前「0」
5	口座照会依頼人名	C(40)	・口座照会依頼人名 左詰め残りスペース(付録2,参照)
6	依頼日	N(4)	・依頼日を表わす。 MMDD(月・日)
7	仕向銀行番号	N(4)	・取引銀行番号 統一金融機関番号
8	※仕向銀行名	C(15)	・取引銀行名 左詰め残りスペース
9	仕向支店番号	N(3)	・取引支店番号 統一店番号
10	※仕向支店名	C(15)	・取引支店名 左詰め残りスペース
11	※預金種目(依頼人)	N(1)	・照会依頼人の預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 9:その他
12	※口座番号(依頼人)	N(7)	・照会依頼人の口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」
13	ダミー	C(17)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(120)

② データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	被仕向銀行番号	N(4)	・照会先銀行番号 統一金融機関番号
3	※被仕向銀行名	C(15)	・照会先銀行名 左詰め残りスペース
4	被仕向支店番号	N(3)	・照会先支店番号 統一店番号
5	※被仕向支店名	C(15)	・照会先支店名 左詰め残りスペース
6	※手形交換所番号	N(4)	・手形交換所番号
7	預金種目	N(1)	・受取人の預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 4:貯蓄預金 9:その他
8	口座番号	N(7)	・受取人の口座番号を表わす。
9	受取人名	C(30)	・受取人名 左詰め残りスペース(付録2,参照)
10	※振込金額	N(10)	・任意とする。(注)
11	※新規コード	N(1)	・任意とする。(注)
12	※顧客コード1	N(10)	・依頼人が定めた受取人識別のための顧客コードを表わす 右詰め残り前「0」
13	※顧客コード2	N(10)	・項番15が「Y」の場合には、「EDI情報」(C20桁)を表わす。 左詰め残りスペース
14	※振込指定区分	N(1)	・任意とする。(注)
15	※識別表示	C(1)	・「Y」またはスペースとする。
16	ダミー	C(6)	・ダミー・エリア
17	照会回答コード	N(1)	・照会を行った回答を表わす。 依頼明細は「0」とする。

※は任意項目 (120)

(注) 企業等が振込口座照会依頼を行った後、照会依頼データを振込依頼に流用できるよう、実際の金額等を記載するかは企業等の任意とした。

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	合計件数	N(6)	・合計件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	ダミー	C(113)	・ダミー・エリア

(120)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(119)	・ダミー・エリア

(120)

14. 振込口座照会(処理結果明細)レコード・フォーマット

(1) 説明

振込口座照会の処理結果を銀行から企業等に回答する場合の明細である。

(2) レコードの内容

次の項目以外は、振込口座照会(依頼明細)と同一。

(3) レコードの形式

振込口座照会(依頼明細)と同一。

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 99:振込口座照会処理結果

② データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
17	照会回答コード	N(1)	・照会を行った結果を表わす。 0:確認済(預金種目・口座番号、受取人名とも一致) 1:該当口座なし(該当する預金種目・口座番号なし) 2:受取人名相違(該当する預金種目・口座番号の受取人名が相違) 9:その他(上記以外の場合)

15. 預金口座振替(依頼明細)レコード・フォーマット

(1) 説明

預金口座振替の収納企業(委託者)が預金口座振替を銀行に依頼する場合の明細である。

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 91:預金口座振替
3	コード区分	N(1)	・使用コードを表わす。 0:JIS 1:EBCDIC その他のコードについては全銀協基準による。
4	委託者コード	N(10)	・銀行が定めた委託者のコードを表わす。 右詰め残り前「0」
5	委託者名	C(40)	・委託者名 左詰め残りスペース(付録2.参照)
6	引落日	N(4)	・引落日 MMDD(月-日)
7	取引銀行番号	N(4)	・取引銀行番号 統一金融機関番号
8	※取引銀行名	C(15)	・取引銀行名 左詰め残りスペース
9	取引支店番号	N(3)	・取引支店番号 統一店番号
10	※取引支店名	C(15)	・取引支店名 左詰め残りスペース
11	預金種目(委託者)	N(1)	・委託者の預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 9:その他
12	口座番号(委託者)	N(7)	・委託者の口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」
13	ダミー	C(17)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(120)

② データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	引落銀行番号	N(4)	・引落銀行番号 統一金融機関番号
3	※引落銀行名	C(15)	・引落銀行名 左詰め残りスペース
4	引落支店番号	N(3)	・引落支店番号 統一店番号
5	※引落支店名	C(15)	・引落支店名 左詰め残りスペース
6	ダミー	C(4)	・ダミー・エリア
7	預金種目	N(1)	・預金者の預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 3:納税準備預金 9:その他
8	口座番号	N(7)	・預金者の口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」
9	預金者名	C(30)	・預金者名 左詰め残りスペース(付録2,参照)
10	引落金額	N(10)	・引落金額 右詰め残り前「0」
11	新規コード	N(1)	・新規振替、変更等を表わす。 1:第1回引落分 2:変更分(引落銀行・支店、口座番号) 0:その他
12	顧客番号	N(20)	・委託者が定めた顧客番号を表わす。 右詰め残り前「0」 (注)顧客番号以外のものを記載しない。
13	振替結果コード	N(1)	・振替処理を行った結果を表わす。 依頼明細では「0」とする。
14	ダミー	C(8)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(120)

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	合計件数	N(6)	・合計件数 右詰め残り前「0」
3	合計金額	N(12)	・合計金額 右詰め残り前「0」
4	振替済件数	N(6)	・振替処理済件数 依頼明細では全て「0」とする。
5	振替済金額	N(12)	・振替済金額 依頼明細では全て「0」とする。
6	振替不能件数	N(6)	・振替処理不能件数 依頼明細では全て「0」とする。
7	振替不能金額	N(12)	・振替不能金額 依頼明細では全て「0」とする。
8	ダミー	C(65)	・ダミー・エリア

(120)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(119)	・ダミー・レコード

(120)

16. 預金口座振替(処理結果明細)レコード・フォーマット

(1) 説明

預金口座振替の処理結果を銀行から企業に回答する場合の明細である。

(2) レコードの内容

次の項目以外は預金口座振替(依頼明細)と同一。

・データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
13	振替結果コード	N(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・振替処理を行った結果を表わす。 0:振替済 1:資金不足 2:取引なし 3:預金者の都合による振替停止 4:預金口座振替依頼書なし 8:委託者の都合による振替停止 9:その他

・トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
4	振替済件数	N(6)	<ul style="list-style-type: none"> ・振替処理済件数 右詰め残り前「0」
5	振替済金額	N(12)	<ul style="list-style-type: none"> ・振替済金額 右詰め残り前「0」
6	振替不能件数	N(6)	<ul style="list-style-type: none"> ・振替処理不能件数 右詰め残り前「0」
7	振替不能金額	N(12)	<ul style="list-style-type: none"> ・振替不能金額 右詰め残り前「0」

(3) レコードの形式

預金口座振替(依頼明細)と同一。

17. 預金口座振替変更通知レコード・フォーマット

(1) 説明

預金口座振替において、銀行の都合により口座番号および店舗名等を変更するときに、銀行が変更内容を企業に通知する場合に使用する。

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 93:預金口座振替変更通知
3	コード区分	N(1)	・使用コードを表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	委託者コード	N(10)	・銀行が定めた委託者のコードを表わす。 右詰め残り前「0」
5	委託者名	C(40)	・委託者名 左詰め残りスペース
6	作成月日	N(4)	・変更通知作成月日を表わす。 MMDD(月-日)
7	取引銀行番号	N(4)	・取引銀行番号 統一金融機関番号
8	※取引銀行名	C(15)	・取引銀行名 左詰め残りスペース
9	取引支店番号	N(3)	・取引支店番号 統一店番号
10	※取引支店名	C(15)	・取引支店名 左詰め残りスペース
11	預金種目(委託者)	N(1)	・委託者の預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 9:その他
12	口座番号(委託者)	N(7)	・委託者の口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」
13	ダミー	C(17)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(120)

② データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	引落銀行番号	N(4)	・引落銀行番号 統一金融機関番号
3	引落支店番号	N(3)	・引落支店番号 統一店番号
4	預金種目	N(1)	・預金者の預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 3:納税準備預金 9:その他
5	口座番号	N(7)	・預金者の口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」
6	預金者名	C(30)	・預金者名 左詰め残りスペース
7	※顧客番号	N(20)	・委託者が定めた顧客番号を表わす。 右詰め残り前「0」 ※顧客番号以外のは記載しない。
8	新引落支店番号	N(3)	・変更後の引落支店番号を表わす。 統一店番号
9	新引落支店名	C(15)	・変更後の新引落支店名 左詰め残りスペース
10	新預金種目	N(1)	・変更後の新預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 3:納税準備預金 9:その他
11	新口座番号	N(7)	・変更後の新口座番号を表わす。
12	ダミー	C(28)	・ダミー・エリア

※は任意項目 (120)

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	合計件数	N(7)	・合計件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	ダミー	C(112)	・ダミー・エリア

(120)

④ エンド・レコード

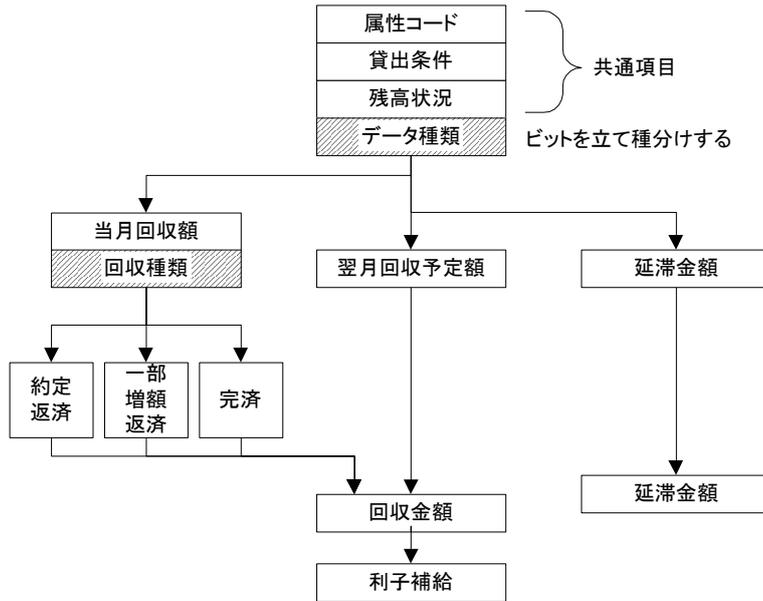
項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(119)	・ダミー・エリア

(120)

18. 住宅ローン関係(財形ローン)レコード・フォーマット

(1) 説明

- ・ 財形関係住宅ローンの保証人となっている事業主等に対し、住宅ローンの回収内容等を銀行から連絡する場合に使用する。
- ・ データ・レコードはデータ種類(回収データ「1」、回収予定データ「2」、延滞データ「3」)毎に1レコードをつくられる。データ種類が回収データの場合には、回収種類(約定返済「1」、一部増額返済「2」、延滞返済「3」)毎に1レコードつくられる。
- したがって、借入者1人について複数のデータ・レコードがつけられる場合がある。この関係を図示すると次のとおりである。



具体的には次のような形でデータ・レコードがつけられる。

A 借入者1人についてデータ・レコードが1つの場合の例

- データ種類が「回収データ」で回収種類が「約定返済」の場合
- データ種類が「回収予定データ」または「延滞データ」の場合

(a)の場合

ヘッダ レコード	レデ コ ドタ	レデ コ ドタ	レデ コ ドタ	レデ コ ドタ	レデ コ ドタ	トレー ラレ コード	エン ドレ コード
	A	B	C	D	n			
	1	1	1	1	1			
	1	1	1	1	1			

(注) データ・レコード内の上段は借入者、中段はデータ種類、下段は回収種類を示す。

B 借入者1人についてデータ・レコードが複数の場合の例

- データ種類が「回収データ」で回収種類が複数の場合
- データ種類が複数で回収種類が一つの場合
- データ種類が複数で回収種類が複数の場合

(c)の場合

ヘッダ レコード	レデ コ ドタ	レデ コ ドタ	レデ コ ドタ	トレー ラレ コード	エン ドレ コード						
	A	A	B	B	B	C	C	n	n			
	1	2	1	1	2	1	2	1	2			
	1	1	1	3	1	1	1	1	1			

(注) 上記(注)と同じ。

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 11:財形関係ローン
3	コード区分	N(1)	・使用コードを表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	会社コード	N(12)	・銀行が定めた会社コードを表わす。 右詰め残り前「0」
5	会社名	C(40)	・会社名 左詰め残りスペース
6	持出銀行コード	N(4)	・持出銀行コード 統一金融機関番号
7	持出銀行名	C(15)	・持出銀行名 左詰め残りスペース
8	作成基準年月日	N(8)	・作成基準年月日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
9	ダミー	C(467)	・ダミー・エリア

(550)

② データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	※事業所コード	N(5)	・会社が定めた事業所コードを表わす。 右詰め残り前「0」
3	※所属コード	N(10)	・会社が定めた所属コードを表わす。 右詰め残り前「0」
4	※借入者コード	N(10)	・銀行が定めた借入者コードを表わす。 右詰め残り前「0」
5	借入者氏名	C(30)	・借入者氏名 左詰め残りスペース
6	※借入者生年月日	N(8)	・借入者の生年月日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
7	※定年退職日	N(8)	・借入者の定年退職日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
8	※団体生命加入コード	N(1)	・団体生命保険の加入状態を表わす。 0: 加入なし 1: 加入あり
9	貸出銀行コード	N(4)	・貸出銀行コード 統一金融機関番号
10	貸出銀行名	C(15)	・貸出銀行名 左詰め残りスペース
11	貸出支店コード	N(3)	・貸出支店コード 統一店番号
12	貸出支店名	C(15)	・貸出支店名 左詰め残りスペース
13	貸出コード	N(23)	・貸出コード 右詰め残り前「0」
14	※引落とし支店コード	N(3)	・引落とし支店コード 統一店番号
15	※引落とし支店名	C(15)	・引落とし支店名 左詰め残りスペース
16	※預金種目	N(1)	・引落とし預金種目を表わす。 1: 普通預金 2: 当座預金
17	※口座番号	N(7)	・引落とし口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」
18	※保証会社コード	N(12)	・保証会社コード 右詰め残り前「0」
19	※保証会社名	C(40)	・保証会社名 左詰め残りスペース
20	※保証コード	N(10)	・保証会社の定めた保証コードを表わす。 右詰め残り前「0」
21	※資金使途	C(2)	・各行所定の資金使途を表示する。
22	貸出日	N(8)	・貸出日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
23	最終期限	N(8)	・最終期限を表わす YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
24	貸出金額	N(9)	・貸出金額 右詰め残り前「0」
25	(毎月返済分)	N(9)	・毎月返済分金額 右詰め残り前「0」
26	(ボーナス返済分)	N(9)	・ボーナス返済分金額 右詰め残り前「0」

27		※(その他返済分)	N(9)	・その他返済分金額(退職金返済分等) 右詰め残り前「0」
28		貸出期間	N(3)	・貸出期間月数を記入する。 右詰め残り前「0」
29		※当初約定金利	N(7)	・当初約定金利を表わす(年利)。 XX XXXXX(小数第5位まで)
30		現行約定金利	N(7)	・現行約定金利を表わす(年利)。 XX XXXXX(小数第5位まで)
31		約定返済日	N(2)	・毎月の約定返済日を表わす。 DD(約定返済日)
32		初回約定返済年月日	N(8)	・初回約定返済年月日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
33		ボーナス返済月	N(4)	・ボーナス返済月を表わす。 MM MM(ボーナス返済月)
34		返済方式	N(2)	・返済方式を表わす。 01:毎月返済 02:ボーナス返済併用 03:～09:その他
35	残高 状 況	残高	N(9)	・残高 右詰め残り前「0」
36		(毎月返済分)	N(9)	・毎月返済分残高 右詰め残り前「0」
37		(ボーナス返済分)	N(9)	・ボーナス返済分残高 右詰め残り前「0」
38		※(その他返済分)	N(9)	・その他返済分残高 右詰め残り前「0」(退職金返済分等)
39	デ ー タ 種 類	データ種類	N(1)	・データ種類を表わす。 1:回収データ 2:回収予定データ 3:延滞データ(注) 4～9:その他データ 回収データまたは回収予定データに返済据置分など回収をともなわな いデータを収録する場合には、項番42の回収金額は「0」とする。 (注)延滞データのレコードは、返済日単位に作成する場合と累計で一 括して作成する場合とがある。
40		約定返済年月日	N(8)	・返済年月日(銀行の営業日に合わせた返済日)を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
41		回収種類	N(1)	・回収の種類を表わす。(回収データまたは回収予定データの場合のみ 使用する。) 1:約定返済 2:一部増額返済(含、一括返済) 3:延滞返済 ただし、回収予定データの場合は、すべて「1」とする。
42	回 収 ま た は 延 滞 金 額	回収(延滞)金額	N(9)	・回収(延滞)元金、回収(延滞)利息、その他回収金額の合計。 右詰め残り前「0」
43		回収(延滞)元金	N(9)	・回収(延滞)元金 右詰め残り前「0」
44		(毎月返済分)	N(9)	・毎月返済分元金 右詰め残り前「0」
45		(ボーナス返済分)	N(9)	・ボーナス返済分元金 右詰め残り前「0」
46		※(その他返済分)	N(9)	・その他返済分元金 右詰め残り前「0」
47		回収(延滞)利息	N(9)	・回収(延滞)利息 右詰め残り前「0」
48		(毎月返済分)	N(9)	・毎月返済分利息 右詰め残り前「0」

49	(ボーナス返済分)	N(9)	・ボーナス返済分利息 右詰め残り前「0」
50	※(その他返済分)	N(9)	・その他返済分利息 右詰め残り前「0」
51	その他回収金額	N(9)	・その他回収金額 右詰め残り前「0」(遅延損害金等)
52	回収年月日	N(8)	・回収年月日(実際に返済した日)を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
53	※利子補給方式	C(2)	・各行所定の利子補給方式等を表示する。
54	利子補給金額	N(9)	・利子補給金額 右詰め残り前「0」
55	※(毎月返済分)	N(9)	・毎月返済分利子補給金額 右詰め残り前「0」
56	※(ボーナス返済分)	N(9)	・ボーナス返済分利子補給金額 右詰め残り前「0」
57	※利子補給率	N(7)	・利子補給率を表わす。(年利) XX XXXXX(小数第5位まで)
58	ダミー	C(62)	・ダミー・エリア

※は任意項目 (550)

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	総データ件数	N(7)	・総データ件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	残高合計	N(12)	・残高合計 右詰め残り前「0」
4	回収(データ種類「1」)件数	N(7)	・回収(データ種類「1」)件数 右詰め残り前「0」
5	回収(データ種類「1」)金額	N(12)	・回収金額 右詰め残り前「0」
6	回収予定(データ種類「2」)件数	N(7)	・回収予定(データ種類「2」)件数 右詰め残り前「0」
7	回収予定(データ種類「2」)金額	N(12)	・回収予定金額 右詰め残り前「0」
8	延滞(データ種類「3」)件数	N(7)	・延滞(データ種類「3」)件数 右詰め残り前「0」
9	延滞(データ種類「3」)金額	N(12)	・延滞金額 右詰め残り前「0」
10	その他(データ種類「4」)件数	N(7)	・その他(データ種類「4」)件数 右詰め残り前「0」
11	その他(データ種類「4」)金額	N(12)	・その他金額 右詰め残り前「0」
12	ダミー	C(454)	・ダミー・エリア

(550)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコード種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(549)	・ダミー・エリア

(550)

19. 住宅ローン関係(その他)レコード・フォーマット

(1) 説明

住宅ローンの提携先、信用保証会社等に対し、住宅ローンの回収内容等を銀行から連絡する場合に使用する。

(2) レコードの内容

ヘッダー・レコードの種別コードが異なる以外は、住宅ローン関係レコード・フォーマット(財形ローン)と同一。

項番	項目名	桁数	内容
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 12:財形ローン以外の住宅ローン

(3) レコードの形式

住宅ローン関係レコード・フォーマット(財形ローン)と同一。

20. 財形貯蓄関係(依頼明細)レコード・フォーマット

(1) 説明

- ・勤労者財産形成貯蓄(財形貯蓄)の積立内容等を企業(事業主)から銀行へ連絡する場合に使用する。
- ・「積立内容」、「新規契約」、「変更」(事業所コード・所属コード・積立額等)に関するデータを1ファイルに混在させることができる。
- ・預金のほか、信託、金融債にも使用できる。
- ・財形預金(信託、金融債を含む。)のほか、財形年金預金(信託、金融債を含む。)にも使用できる。財形預金に係るデータと財形年金預金に係るデータを1ファイルに混在させることができる。
- ・積立を中断している場合や財形年金預入期限を超過した場合等の収録基準については、企業との提携時に確認を行うこと。

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(1)	・業務種別を表わす。 0:依頼明細
3	積立区分 給与 賞与 その他(1) その他(2)	N(1)	・積立区分状態を表わす。 0:積立なし 1:積立あり データ・レコードの項番 11 入金区分と同 19~22 積立額との整合性に注意すること。
		N(1)	
		N(1)	
		N(1)	
4	コード区分	N(1)	・使用コードを表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
5	委託先コード	N(12)	・銀行が定めた委託先コードを表わす。 右詰め残り前「0」
6	委託先名	C(40)	・委託先名 左詰め残りスペース(付録2.参照)
7	取りまとめ銀行コード	N(4)	・取りまとめ銀行コード 統一金融機関番号
8	取りまとめ銀行名	C(15)	・取りまとめ銀行名 左詰め残りスペース
9	取りまとめ支店コード	N(3)	・取りまとめ支店コード 統一店番号
10	取りまとめ支店名	C(15)	・取りまとめ支店名 左詰め残りスペース
11	仕向コード	N(1)	・仕向状態を表わす。 1:委託先から銀行 3:銀行から銀行
12	作成基準年月日	N(8)	・作成基準年月日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
13	積立年月日	N(8)	・積立年月日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日) 銀行の営業日を指定すること。
14	ダミー	C(187)	・ダミー・エリア

(300)

② データ・レコード

◎印の項目は財形信託について使用しない場合がある。

○印の項目は財形利付金融債について使用しない場合がある。

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	事業所コード	N(5)	・委託先が定めた事業所コードを表わす。 右詰め残り前「0」
3	所属コード	N(10)	・委託先が定めた所属コードを表わす。 右詰め残り前「0」
4	加入者コード	N(10)	・銀行が定めた加入者コードを表わす。(委託先の社員番号等) 右詰め残り前「0」
5	目的区分	C(1)	・財形信託の場合に使用する。
6	加入者氏名	C(30)	・加入者氏名 左詰め残りスペース
7	預入銀行コード	N(4)	・預入銀行コード 統一金融機関番号
8	預入銀行名	C(15)	・預入銀行名 左詰め残りスペース
9	預入支店コード	N(3)	・預入支店コード 統一店番号
10	預入支店名	C(15)	・預入支店名 左詰め残りスペース
11	入金区分	N(1)	・入金状態を表わす。 0: 入金なし 1: 入金あり ヘッダー・レコードの項番3積立区分とデータ・レコードの項番 19～22 の積立額との整合性に注意すること。
12	新規区分	N(1)	・取引状態を表わす。 1: 新規 2: 中断 3: 再開 4: 財産形成預金からの引継 0: 上記以外
13	変更区分	N(1)	・変更状態を表わす。 1: 積立額のみの変更 2: 事業所・所属コードのみの変更 3: 積立額および事業所・所属コードの変更 0: 上記以外
14	◎預金種目	N(1)	・加入者の預金種目を表わす。 6: 定期預金 7: 積立定期預金 9: その他
15	※◎○(注)口座番号	N(10)	・加入者の口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」
16	積立(預入)開始年月日	N(8)	・積立(預入)開始年月日 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
17	※性別	N(1)	・加入者の性別を表わす。 1: 男 2: 女
18	生年月日	N(8)	・加入者の生年月日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
19	給与積立額	N(9)	・給与積立額 右詰め残り前「0」 ヘッダー・レコードの項番3積立区分とデータ・レコードの項番 11 入金 区分との整合性に注意すること。(以下、項番 20、21、22 も同様)
20	賞与積立額	N(9)	・賞与積立額 右詰め残り前「0」

21	その他積立額(1)	N(9)	・その他積立額
22	その他積立額(2)	N(9)	右詰め残り前「0」
23	ダミー	C(9)	・ダミー・エリア
24	◎満期日	N(8)	・満期日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
25	○最終預入日	N(8)	・最終預入日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日) 一般財形・住宅財形の場合はオール「0」とする。
26	○積立期間	N(3)	・積立月数を表わす。 右詰め残り前「0」
27	◎税区分	N(1)	・利息に対する課税区分を表わす。 2:分離課税 4:マル財 5:非居住者 9:その他
28	一般・住宅・年金区分	N(1)	・一般・住宅・年金区分 0:一般財形 8:住宅預金 9:年金預金
29	ダミー	C(8)	・ダミー・エリア
30	ダミー	C(8)	・ダミー・エリア
31	◎口座の非課税限度額	N(9)	・非課税限度額 右詰め残り前「0」
32	ダミー	C(2)	・ダミー・エリア
33	ダミー	C(9)	・ダミー・エリア
34	ダミー	C(9)	・ダミー・エリア
35	ダミー	C(9)	・ダミー・エリア
36	※年金受給銀行コード	N(4)	・年金受給銀行コード 統一金融機関番号
37	※年金受給支店コード	N(3)	・年金受給支店コード 統一店番号
38	※年金受給預金種目	N(1)	・年金受給預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 7:積立定期預金 9:その他
39	※年金受給(注1)口座番号	N(10)	・年金受給口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」
40	新事業所コード	N(5)	・変更後の新事業所コード 右詰め残り前「0」
41	新所属コード	N(10)	・変更後の新所属コード 右詰め残り前「0」
42	支払開始年月日	N(8)	・支払開始年月日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
43	支払方法(回数)(注2)	N(2)	・支払方法(回数)を表わす。
44	※支払終了年月(注3)	N(6)	・支払終了年月を表わす。 YYYYMM(年(西暦)-月)
45	※支払パターン(注3)	N(1)	・支払パターンを表わす。 1:定額支払 2:逓増支払
46	支払間隔	C(1)	・支払間隔を数字またはアルファベットで表わす。 (例) 1:毎月(1か月毎) 3:3か月毎
47	※逓増定率(注3)	N(2)	・逓増定率を表わす。
48	ダミー	C(2)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(300)

(注 1)一般には 7 桁であるが、一部の銀行において 7 桁を超える場合があるため 10 桁とした。

(注 2)財形年金預金について使用する。

(注 3)財形年金利付金融債・財形年金信託・財形預金について使用する。

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	データ件数	N(7)	・データ件数 右詰め残り前「0」
3	ダミー	C(12)	・ダミー・エリア
4	給与積立額合計	N(12)	・給与積立額合計 右詰め残り前「0」
5	賞与積立額合計	N(12)	・賞与積立額合計 右詰め残り前「0」
6	その他積立額合計(1)	N(12)	・その他積立額合計
7	その他積立額合計(2)	N(12)	右詰め残り前「0」
8	ダミー	C(232)	・ダミー・エリア

(300)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(299)	・ダミー・エリア

(300)

21. 財形貯蓄関係(処理結果明細:積立内容)レコード・フォーマット

(1) 説明

- ・財形貯蓄の積立の処理結果を銀行から企業(事業主)に連絡する場合に使用する。
- ・処理結果明細は依頼明細と異なり「積立内容」、「利子補給」、「その他」のそれぞれについて種別コードを付し、別ファイルとする。

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(1)	・業務種別を表わす。 1:処理結果明細(積立内容)
3	積立区分	N(1)	・積立区分状態を表わす。 0:積立なし 1:積立あり
	給与	N(1)	
	賞与	N(1)	
	その他(1)	N(1)	
4	コード区分	N(1)	・使用コードを表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
	その他(2)	N(1)	
5	委託先コード	N(12)	・銀行が定めた委託先コードを表わす。 右詰め残り前「0」
6	委託先名	C(40)	・委託先名 左詰め残りスペース
7	取りまとめ銀行コード	N(4)	・取りまとめ銀行コード 統一金融機関番号
8	取りまとめ銀行名	C(15)	・取りまとめ銀行名 左詰め残りスペース
9	取りまとめ支店コード	N(3)	・取りまとめ支店コード 統一店番号
10	取りまとめ支店名	C(15)	・取りまとめ支店名 左詰め残りスペース
11	仕向コード	N(1)	・仕向状態を表わす。 2:銀行から委託先 3:銀行から銀行
12	作成基準年月日	N(8)	・作成基準年月日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
13	積立年月日	N(8)	・積立年月日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日) 銀行の営業日を指定すること。
14	ダミー	C(187)	・ダミー・エリア

(300)

② データ・レコード

◎印の項目は財形信託について使用しない場合がある。

○印の項目は財形利付金融債について使用しない場合がある。

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	事業所コード	N(5)	・委託先が定めた事業所コードを表わす。 右詰め残り前「0」
3	所属コード	N(10)	・委託先が定めた所属コードを表わす。 右詰め残り前「0」
4	加入者コード	N(10)	・銀行が定めた加入者コードを表わす。(委託先の社員番号等) 右詰め残り前「0」
5	目的区分	C(1)	・財形信託の場合に使用する。
6	加入者氏名	C(30)	・加入者氏名 左詰め残りスペース
7	預入銀行コード	N(4)	・預入銀行コード 統一金融機関番号
8	預入銀行名	C(15)	・預入銀行名 左詰め残りスペース
9	預入支店コード	N(3)	・預入支店コード 統一店番号
10	預入支店名	C(15)	・預入支店名 左詰め残りスペース
11	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
12	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
13	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
14	◎預金種目	N(1)	・加入者の預金種目を表わす。 6:定期預金 7:積立定期預金 9:その他
15	※◎○(注1)口座番号	N(10)	・加入者の口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」
16	新規日	N(8)	・新規契約日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
17	※性別	N(1)	・加入者の性別を表わす。 1:男 2:女
18	※生年月日	N(8)	・加入者の生年月日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
19	給与積立額	N(9)	・給与積立額 右詰め残り前「0」
20	賞与積立額	N(9)	・賞与積立額 右詰め残り前「0」
21	その他積立額(1)	N(9)	・その他積立額
22	その他積立額(2)	N(9)	右詰め残り前「0」
23	◎当月残高	N(9)	・当月残高 右詰め残り前「0」
24	◎○満期日	N(8)	・満期日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
25	○最終預入日	N(8)	・最終預入日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日) 一般財形・住宅財形の場合はオール「0」とする。
26	○積立期間	N(3)	・積立月数を表わす。 右詰め残り前「0」

27	◎税区分	N(1)	・利息に対する課税区分を表わす。 2:分離課税 4:マル財 5:非居住者 9:その他
28	一般・住宅・年金区分	N(1)	・一般・住宅・年金区分 0:一般財形 8:住宅預金 9:年金預金
29	ダミー	C(8)	・ダミー・エリア
30	ダミー	C(8)	・ダミー・エリア
31	◎口座の非課税限度額	N(9)	・非課税限度額 右詰め残り前「0」
32	※利子補給区分	C(2)	・各行所定の利子補給区分を記入する。
33	※利子補給対象残高	N(9)	・利子補給対象残高 右詰め残り前「0」
34	今回利子補給金	N(9)	・今回利子補給金 右詰め残り前「0」 利子補給データの場合は必須。
35	※利子補給金累計額	N(9)	・利子補給金累計額 右詰め残り前「0」
36	ダミー	C(4)	・ダミー・エリア
37	ダミー	C(3)	・ダミー・エリア
38	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
39	ダミー	C(10)	・ダミー・エリア
40	ダミー	C(5)	・ダミー・エリア
41	ダミー	C(10)	・ダミー・エリア
42	支払開始年月日	N(8)	・支払開始年月日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
43	支払方法(回数)(注2)	N(2)	・支払方法(回数)を表わす。
44	※支払終了年月(注3)	N(6)	・支払終了年月を表わす。 YYYYMM(年(西暦)-月)
45	※支払パターン(注3)	N(1)	・支払パターンを表わす。 1:定額支払 2:逦増支払
46	支払間隔	C(1)	・支払間隔を数字またはアルファベットで表わす。 (例) 1:毎月(1か月毎) 3:3か月毎
47	※逦増定率(注3)	N(2)	・逦増定率を表わす。
48	ダミー	C(2)	・ダミー・エリア

※は任意項目 (300)

(注1) 一般には7桁であるが、一部の銀行において7桁を超える場合があるため10桁とした。

(注2) 財形年金預金について使用する。

(注3) 財形年金利付金融債・財形年金信託・財形預金について使用する。

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	データ件数	N(7)	・データ件数 右詰め残り前「0」
3	当月残高合計	N(12)	・当月残高合計 右詰め残り前「0」
4	給与積立額合計	N(12)	・給与積立額合計 右詰め残り前「0」
5	賞与積立額合計	N(12)	・賞与積立額合計 右詰め残り前「0」
6	その他積立額合計(1)	N(12)	・その他積立額合計
7	その他積立額合計(2)	N(12)	右詰め残り前「0」
8	※利子補給対象残高合計	N(12)	・利子補給対象残高合計 右詰め残り前「0」
9	今回利子補給金合計	N(12)	・今回利子補給金合計 右詰め残り前「0」 利子補給データの場合は必須。
10	※利子補給金累計額合計	N(12)	・利子補給金累計額合計 右詰め残り前「0」
11	ダミー	C(196)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(300)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(299)	・ダミー・エリア

(300)

22. 財形貯蓄関係(処理結果明細:利子補給)レコード・フォーマット

(1) 説明

- ・ 財形貯蓄の利子補給の処理結果を銀行から企業(事業主)に連絡する場合に使用する。
- ・ レコード・フォーマットは処理結果明細(積立内容)と同一であり、種別コードのみ異なる。

(2) レコードの内容

- ・ ヘッダー・レコードの種別コードを「2」とする以外は、処理結果明細(積立内容)と同一。

項番	項目名	桁数	内容
2	種別コード	N(1)	・業務種別を表わす。 2:処理結果明細(利子補給)

(3) レコードの形式

処理結果明細(積立内容)と同一。

23. 財形貯蓄関係(処理結果明細:その他)レコード・フォーマット

(1) 説明

- ・ 財形貯蓄その他の処理結果明細を銀行から企業(事業主)に連絡する場合に使用する。
- ・ レコード・フォーマットは処理結果明細(積立内容)と同一であり、種別コードのみ異なる。

(2) レコードの内容

- ・ ヘッダー・レコードの種別コードを「9」とする以外は、処理結果明細(積立内容)と同一。

項番	項目名	桁数	内容
2	種別コード	N(1)	・ 業務種別を表わす。 9: 処理結果明細(積立内容、利子補給以外のもの)

(3) レコードの形式

- 処理結果明細(積立内容)と同一。

24. 借入金計算書レコード・フォーマット

(1) 説明

- 取引先(企業)に対し、借入金元本の異動時または利息の発生時に計算書の明細を通知する場合に使用する。
- データ・レコードは、手形貸付、証書貸付、商業手形割引[内訳]および商業手形割引[合計]の4種類に分けられ(手形貸付・証書貸付のフォーマットは同一)、同一のヘッダー・レコードの後にこれらのデータ・レコードが記録される。各々の記録順序は任意であるが、商業手形割引[合計]レコードは商業手形割引[内訳]レコードの後に記録する。

[シーケンス・フローの例]



- データ・レコードの主要項目の記録方法については、次表を参考とされたい。

借入金計算書主要項目の記録方法(代表例)

(1)手形貸付・証書貸付

レコードの作成時点	7.取引種類	8.取引金額	9.取引後金額	10.利息		
				徴求・戻し区分	利息金額	
1.新規実行(注1)	11	実行金額	同左	1	利息	
	11	実行金額	同左	(SP)	(SP)	
2.内入・約定返済(注1)	21	内入・約定返済金額	内入・約定返済後金額	2	戻し利息	
	21	内入・約定返済金額	内入・約定返済後金額	1	利息	
3.期日完済(注1)	25	返済金額	0	(SP)	(SP)	
	25	返済金額	0	1	利息	
4.期日前返済(注1)	25	返済金額	0	2	戻し利息	
	25	返済金額	0	1	利息	
5.同額継続(注2)	(継続前)	返済金額(100万)	0	(SP)	(SP)	
	(継続後)	実行金額(100万)	同左	1	利息	
6.減額継続(注2)	(継続前)	返済金額(100万)	0	(SP)	(SP)	
	(継続後)	実行金額(60万)	同左	1	利息	
7.増額継続(注2、3)	(継続前)	返済金額(100万)	0	(SP)	(SP)	
	(継続後)	実行金額(150万)	同左	1	利息	
8.利息徴収	41	(SP)	(SP)	1	利息	
9.利息変更(注4)	A.利率引下げ	42	(SP)	(SP)	2	戻し利息(旧レート)
		42	(SP)	(SP)	1	利息(新レート)
		41	(SP)	(SP)	2	戻し利息(差額)
	B.利率引上げ	42	(SP)	(SP)	2	戻し利息(旧レート)
		42	(SP)	(SP)	1	利息(新レート)
		41	(SP)	(SP)	1	利息(差額)

(注1) 1~4では上段が利息前取、下段が利息後取の場合である。

(注2) 5~6では利息前取の場合のみを例示している。継続の場合、レコードは継続前と継続後に分けられる。継続前レコードが複数になるケースもある。

(注3) 増加継続の場合の継続後レコードは、継続分と増額分とに分けて記録するケース(利息計算期間が異なる場合等)も考えられる。

(注4) 利率変更の場合は、旧レートによる戻し利息、新レートによる徴求利息およびその差額の3レコードをすべて記録するケース、戻し利息と徴求利息の2レコードを記録するケースおよび差額のみを記録するケースの3つが考えられる。

(2)商業手形割引[内訳](注5)

レコードの作成時点	7.取引種類	8.手形金額	10.割引料	
			徴求・戻し区分	利息金額
1.実行(注6)	11	手形金額	1	割引料
2.期限前買戻	25	手形金額	2	戻し割引料
3.不渡買戻	25	手形金額	1	延滞割引料

(注5) 商業手形割引[合計]レコードの場合も同様である。

(注6) 実行レコードは割引料徴求時点で作成する。

(注7) 商業手形回収レコードは作成しない。

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 31:借入金計算書
3	コード区分	N(1)	・使用コード区分を表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	作成日	N(6)	・データ作成日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
5	※連絡日	N(6)	・連絡日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
6	※連絡回数	N(2)	・連絡日における連絡回数を表わす。 右詰め残り前「0」
7	勘定日(自)	N(6)	・勘定日の期間を表わす。 ((自)(至)ともに)YYMMDD(年(和暦)-月-日)
8	勘定日(至)	N(6)	ただし、営業日単位で通知する場合は(自)(至)を同一年月日とする。
9	銀行コード	N(4)	・取引銀行コードを表わす。 統一金融機関番号
10	銀行名	C(15)	・取引銀行名 左詰め残りスペース
11	支店コード	N(3)	・取引支店コードを表わす。 統一店番号
12	支店名	C(15)	・取引支店名 左詰め残りスペース
13	会社コード	N(10)	・銀行が採番した取引先の会社コードを表わす。 右詰め残り前「0」
14	会社名	C(50)	・会社名 左詰め残りスペース
15	ダミー	C(123)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

②-1 データ・レコード:手形貸付・証書貸付

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 10:手形貸付 20:証書貸付
3	取消コード	N(1)	・当該データ・レコードの入力種別を表わす。 0:正常入力 9:取消入力
4	識別番号	N(20)	・銀行が採番した取引の識別用番号。 右詰め残り前「0」
5	勘定日	N(6)	・勘定日 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
6	起算日	N(6)	・取引の起算日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日) 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日と同一年月日を記入する。
7	取引種類	N(2)	・取引の種類を表わす。 11:実行 21:内入または約定返済 25:完済 31:継続(実行) 35:継続(完済) 41:利息取引 42:利息取引計算内訳
8	取引金額	N(15)	・取引金額(元本) 右詰め残り前「0」 取引種類が「41」、「42」の場合にはスペース(SP)とする。
9	取引後金額	N(15)	・前項の取引後の元本金額 右詰め残り前「0」 取引種類が「41」、「42」の場合にはスペース(SP)とする。
10	利息 (1)徴求・戻し区分 (2)利息金額 (3)利率区分 (4)利率 (5)日数 (6)始期 (7)終期 (8)利息計算元本	N(1) N(13) N(1) N(7) N(5) N(6) N(6) N(15)	・利息の徴求・戻し区分を表わす。 1:利息徴求 2:利息戻し ・利息金額 右詰め残り前「0」 ・利率区分を表わす。 1:年利 9:その他 「9」(その他)の場合には、(5)日数、(6)始期および(7)終期はスペース(SP)とする。 ・利率(年利率)を小数点以下5桁で表示する。 (例)年利7.5%→0750000 ・利息の計算日数を表わす。 右詰め残り前「0」 ・利息計算の始期を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日) ・利息計算の終期を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日) ・利息計算元本を表わす。 右詰め残り前「0」
11	期日	N(6)	・手形貸付の場合は手形の期日を表わす。証書貸付の場合は償還期限を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)

12	※利息入出金日	N(6)	・利息の入出金日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
13	※利息入出金口座 (1)ダミー (2)預金種目 (3)口座番号(注)	N(3) N(1) N(10)	・将来の拡張用の予備エリア。すべて「0」とする。 ・預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 9:その他 ・口座番号 右詰め残り前「0」
14	※印紙代	N(8)	・印紙代 右詰め残り前「0」
15	※その他手数料	N(8)	・その他手数料 右詰め残り前「0」
16	ダミー	C(86)	・ダミー・エリア

※は任意項目 (250)

(注)普通預金、当座預金は7桁以下であるが、その他の預金については一部の銀行において7桁を超える場合があるため10桁とした。

②-2 データ・レコード：商業手形割引〔内訳〕

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 30:商業手形割引〔内訳〕
3	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
4	識別番号	N(20)	・銀行が採番した取引の識別用番号。 右詰め残り前「0」
5	ダミー	C(6)	・ダミー・エリア
6	ダミー	C(6)	・ダミー・エリア
7	取引種類	N(2)	・取引の種類を表わす。 11:実行 25:買戻
8	手形金額	N(15)	・手形金額 右詰め残り前「0」
9	ダミー	C(15)	・ダミー・エリア
10	割引料 (1)徴求・戻し区分	N(1)	・割引料の徴求・戻し区分を表わす。 1:割引料徴求 2:割引料戻し
	(2)割引料金額	N(13)	・割引料金額 右詰め残り前「0」
	(3)ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
	(4)割引料率	N(7)	・割引料率(年利率)を小数点以下5桁で表示する。 (例)年利7.5%→0750000
	(5)日数	N(5)	・割引料の計算日数を表わす。 右詰め残り前「0」
	(6)ダミー	C(27)	・ダミー・エリア
11	期日	N(6)	・手形の期日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
12	ダミー	C(6)	・ダミー・エリア
13	ダミー	C(14)	・ダミー・エリア
14	※取立手数料	N(8)	・取立手数料 右詰め残り前「0」
15	ダミー	C(8)	・ダミー・エリア
16	ダミー	C(4)	・ダミー・エリア
17	※支払銀行コード	N(4)	・手形の支払銀行コードを表わす。 統一金融機関番号
18	※支払銀行名	C(15)	・手形の支払銀行名 左詰め残りスペース
19	※支払支店コード	N(3)	・手形の支払支店コードを表わす。 統一店番号
20	※支払支店名	C(15)	・手形の支払支店名 左詰め残りスペース
21	※支払人名	C(40)	・手形の支払人名 左詰め残りスペース
22	ダミー	C(5)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

②-3 データ・レコード：商業手形割引〔合計〕

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 31:商業手形割引〔合計〕
3	取消コード(注1)	C(1)	・当該データ・レコードの入力種別を表わす。 0:正常入力 9:取消入力
4	ダミー	N(20)	・ダミー・エリア
5	勘定日	N(6)	・勘定日 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
6	起算日	N(6)	・取引の起算日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日) 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日と同年月日を記入する。
7	取引種類	N(2)	・取引の種類を表わす。 11:実行 25:買戻
8	手形金額	N(15)	・手形金額 右詰め残り前「0」
9	ダミー	C(15)	・ダミー・エリア
10	割引料合計 (1)徴求・戻し区分 (2)割引料合計金額 (3)ダミー	N(1) N(13) C(40)	・割引料の徴求・戻し区分を表わす。 1:割引料徴求 2:割引料戻し ・割引料金額 右詰め残り前「0」 ・ダミー・エリア
11	ダミー	C(6)	・ダミー・エリア
12	※割引料等入出金日	N(6)	・割引料・取立手数料の入出金日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
13	※割引料等入出金口座 (1)ダミー (2)預金種目 (3)口座番号(注2)	N(3) N(1) N(10)	・将来の拡張用の予備エリア。すべて「0」とする。 ・預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金 9:その他 ・口座番号 右詰め残り前「0」
14	※取立手数料合計	N(8)	・取立手数料合計 右詰め残り前「0」
15	ダミー	C(8)	・ダミー・エリア
16	※手形枚数	N(4)	・手形の合計枚数 右詰め残り前「0」
17	ダミー	C(82)	・ダミー・エリア

※は任意項目 (250)

(注1) 取消入力の場合は、取消すべき手形の内訳レコード(1または複数)の後に取消入力の合計レコードを記録する。

(注2) 普通預金、当座預金は7桁以下であるが、その他の預金については一部の銀行において7桁を超える場合があるため10桁とした。

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	データ・レコード件数	N(6)	・データ・レコードの総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	ダミー	C(243)	・ダミー・エリア

(250)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(249)	・ダミー・エリア

(250)

②-1 データ・レコード:手形貸付・証書貸付

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 10:手形貸付 20:証書貸付
3	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
4	識別番号	N(20)	・銀行が採番した取引先の会社コードを表わす。 右詰め残り前「0」
5	基準日	N(6)	・残高明細の基準日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
6	※基準時刻	N(4)	・残高明細の基準時刻を表わす。 HHMM(時-分)
7	支店コード	N(3)	・取引支店コードを表わす。 統一店番号
8	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
9	残高	N(15)	・借入金残高 右詰め残り前「0」
10	ダミー	C(15)	・ダミー・エリア
11	利息徴求区分	N(1)	・利息の徴求方法を表わす。 1:前取 2:後取 9:その他
12	ダミー	C(13)	・ダミー・エリア
13	利率区分	N(1)	・利率区分を表わす。 1:年利 9:その他
14	利率	N(7)	・利率(年利率)を小数点以下5桁で表示する。 (例)年利7.5%→0750000
15	ダミー	C(32)	・ダミー・エリア
16	期日	N(6)	・手形貸付の場合は手形の期日を表わす。証書貸付の場合は償還期限 を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
17	※当初借入日	N(6)	・当初借入日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
18	※当初借入額	N(15)	・当初借入額を表わす。 右詰め残り前「0」
19	※次回返済日	N(6)	・次回の約定返済日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
20	※次回返済額	N(15)	・次回の約定返済額を表わす。 右詰め残り前「0」
21	ダミー	C(80)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

②-2 データ・レコード: 商業手形割引

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 30: 商業手形割引
3	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
4	識別番号	N(20)	・銀行が採番した取引先の識別番号。 右詰め残り前「0」
5	基準日	N(6)	・残高明細の基準日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
6	※基準時刻	N(4)	・残高明細の基準時刻を表わす。 HHMM(時-分)
7	支店コード	N(3)	・取引支店コードを表わす。 統一店番号
8	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
9	手形金額	N(15)	・手形金額 右詰め残り前「0」
10	ダミー	C(15)	・ダミー・エリア
11	割引料徴求区分	N(1)	・割引料の徴求方法を表わす。 1: 前取 2: 後取 9: その他
12	ダミー	C(13)	・ダミー・エリア
13	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
14	割引料率	N(7)	・割引料率(年利率)を小数点以下5桁で表示する。 (例) 年利 7.5% → 0750000
15	ダミー	C(32)	・ダミー・エリア
16	期日	N(6)	・手形の期日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
17	割引日	N(6)	・割引日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
18	ダミー	C(34)	・ダミー・エリア
19	※支払銀行コード	N(4)	・手形の支払銀行コードを表わす。 統一金融機関番号
20	※支払銀行名	C(15)	・手形の支払銀行名 左詰め残りスペース
21	※支払支店コード	N(3)	・手形の支払支店コードを表わす。 統一店番号
22	※支払支店名	C(15)	・手形の支払支店名 左詰め残りスペース
23	※支払人名	C(40)	・手形の支払人名 左詰め残りスペース
24	ダミー	C(5)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	データ・レコード件数	N(6)	・データ・レコードの総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	ダミー	C(243)	・ダミー・エリア

(250)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(249)	・ダミー・エリア

(250)

26. 借入金残高合計レコード・フォーマット

(1) 説明

- ・取引先(企業)に対し、一定の基準時点における借入金残高を借入科目ごとの合計で通知する場合に使用する。
- ・データ・レコードは、1種類である。

[シーケンス・フローの例]



(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 33:借入金残高合計
3	コード区分	N(1)	・使用コード区分を表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	作成日	N(6)	・データ作成日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
5	※連絡日	N(6)	・連絡日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
6	※連絡回数	N(2)	・連絡日における連絡回数を表わす。 右詰め残り前「0」。
7	ダミー	C(6)	・ダミー・エリア
8	ダミー	C(6)	・ダミー・エリア
9	銀行コード	N(4)	・取引銀行コードを表わす。 統一金融機関番号
10	銀行名	C(15)	・取引銀行名 左詰め残りスペース
11	支店コード	N(3)	・取引支店コードを表わす。 統一店番号
12	支店名	C(15)	・取引支店名 左詰め残りスペース
13	会社コード	N(10)	・銀行が採番した取引先の会社コードを表わす。 右詰め残り前「0」
14	会社名	C(50)	・会社名 左詰め残りスペース
15	ダミー	C(123)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

② データ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	ダミー	C(2)	・ダミー・エリア
3	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
4	ダミー	C(20)	・ダミー・エリア
5	基準日	N(6)	・残高の基準日を表わす。 YYMMDD(年(和暦)-月-日)
6	※基準時刻	N(4)	・残高の基準時刻を表わす。 HHMM(時-分)
7	支店コード	N(3)	・取引支店コードを表わす。 統一店番号
8	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
9	手形貸付残高	N(15)	・残高 右詰め残り前「0」
10	証書貸付残高	N(15)	・残高 右詰め残り前「0」
11	商業手形割引残高	N(15)	・残高 右詰め残り前「0」
12	ダミー	C(135)	・ダミー・エリア
13	借入金合計残高	N(15)	・残高 右詰め残り前「0」
14	ダミー	C(17)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	データ・レコード件数	N(6)	・データ・レコードの総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	ダミー	C(243)	・ダミー・エリア

(250)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(249)	・ダミー・エリア

(250)

27. 外国為替取引明細(会計性)レコード・フォーマット

(1) 説明

① 取引先(企業)に対し、外国為替取引のうち会計性取引の明細を銀行から通知する場合に使用する。

② 対象取引

- A. 輸出手形買取
- B. 輸入手形決済
- C. 輸出手形取立支払
- D. 仕向送金取組
- E. 被仕向送金支払
- F. 利息・手数料都度請求
- G. 利息・手数料一括請求
- H. 為替予約締結
- I. 為替予約履行
- J. 為替予約残高明細

③ データ・レコードの構成

A. 種々の外国為替取引の明細を通知するため、データ・レコードを次のとおり細分化し、その組合せによって1つの取引に関するフォーマットを構成する。

(A) 本体情報:照会番号、取引金額等取引の基本となる項目をもつレコード。A～Fの各取引に共通。

(B) 取引情報:各取引に固有の項目をもつレコード。次の11種類がある。

- a. 輸出手形買取
- b. 輸出手形買取内訳
- c. 輸入手形決済
- d. 輸入手形決済内訳
- e. 輸出手形取立支払
- f. 輸出手形取立支払内訳
- g. 仕向送金取組
- h. 仕向送金取組内訳
- i. 被仕向送金支払
- j. 被仕向送金支払内訳
- k. 利息・手数料情報(都度請求)

(C) 利息・手数料:利息・手数料の内訳情報を持つレコード。各取引に共通。

(D) 利息・手数料一括請求:利息・手数料を後日一括請求する場合に使用するレコード。次の2種類がある。

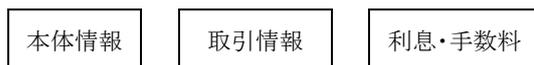
- a. 利息・手数料一括請求(合計)
- b. 利息・手数料一括請求(内訳)

(E) 為替予約:為替予約関係のレコード。次の3種類がある。

- a. 先物予約締結
- b. 先物予約履行
- c. 先物予約残高明細

B. データ・レコードの組合せは対象取引の種別により、次の3種類に分かれる。

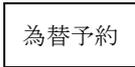
(A) 輸出手形買取、輸入手形決済、輸出手形取立支払、仕向送金取組、被仕向送金支払、利息・手数料都度請求については、次の組合せを基本とする。



(B) 利息・手数料一括請求は合計レコードと内訳レコードの組合せとする。



(C) 為替予約レコードは単独とする。



④ レコードのシーケンス・フロー等

A. 輸出手形買取、輸入手形決済、輸出手形取立支払、仕向送金取組、被仕向送金支払の場合のシーケンス・フロー

(A) 取引が1つの場合(例:輸出手形1枚の買取)

a. 内訳が1つの場合



(※はレコードが複数ありうることを示す。以下同じ。)

b. 内訳が複数になる場合(内訳レコードの使用の有無は各行の選択とする。)

(a) 内訳レコードを使用する場合:同一銀行照会番号の中で内部処理

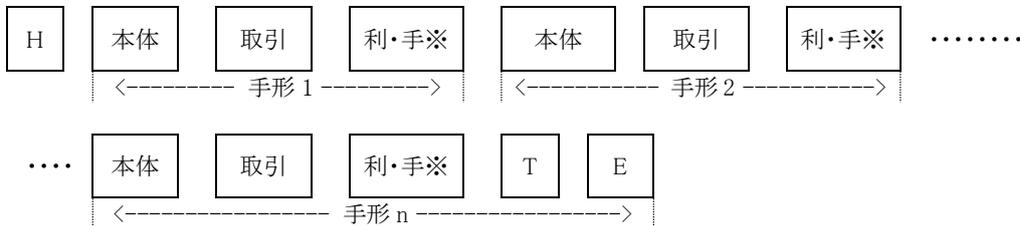


(b) 内訳レコードを使用しない場合:内訳ごとに銀行照会番号を設定して処理



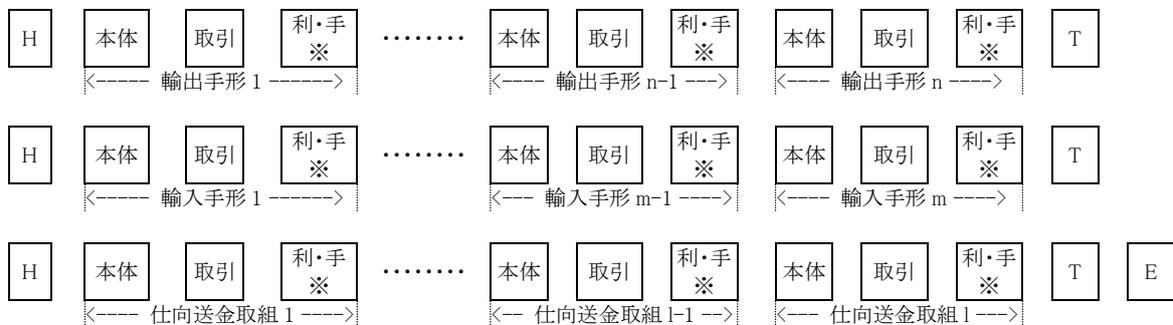
(B) 同一取引が複数の場合(例:複数の輸出手形の買取)

[個々の取引は内訳が1つ(上記(A)a.)とする。]



(C) 複数種類の取引の場合(例:輸出手形買取、輸入手形決済、仕向送金取組)

[個々の取引は内訳が1つ(上記(A)a.)とする。]

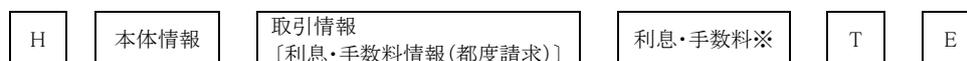


B. 利息・手数料都度請求および利息・手数料一括請求の使用方法およびシーケンス・フロー

「利息・手数料情報(都度請求)」、「利息手数料一括請求(合計)」、「同(内訳)」の使用方法は次のとおりとする。

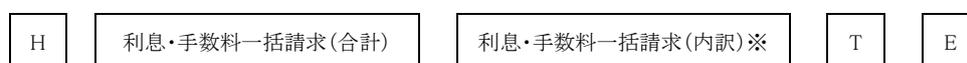
(A) 利息・手数料情報(都度請求)

- ・ 原取引(輸出手形買取等)時とは別に発生する利息・手数料を発生した時点で個々に請求する場合に使用する。
- ・ 本レコードはデータ・レコードの取引情報のひとつとなるので、レコード・シーケンスも上記 A.の場合と同様次のとおりとする。



(B) 利息・手数料一括請求(合計)、同(内訳)

- ・ 企業との特約に基づいて、利息・手数料の引落しを後日一括して行う場合に、事前案内としての一括請求内容を連絡するケースと、引落した結果を連絡するケースとがある。
- ・ 一括請求の対象には、(A)の都度請求に係る利息・手数料のほか原取引と同時に請求した利息・手数料も含まれる。
- ・ 本レコードは、複数種類の取引にまたがる利息・手数料を一括請求するため、次のとおりとする。



(C) 利息・手数料情報(都度請求)と利息・手数料一括請求(合計・内訳)の関係

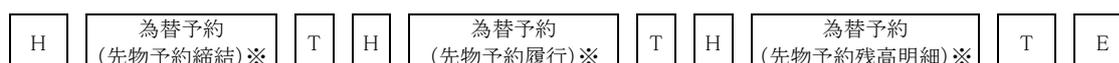
- ・ 都度請求データは発生時に連絡するのが通例である。
- ・ 一括請求データは前述のように企業との特約に基づいて作成するが、この場合は都度請求データを連絡し、後日一括請求データ(請求)を連絡するのが通例である。

C. 為替予約の場合のシーケンス・フロー

- ・ 為替予約関係フォーマットのレコード・シーケンスは次の形を基本とする。



- ・ 為替予約関係の複数種類のレコードを記録する場合は次のとおりとする。



⑤ 処理通番の付与方法について

データ・レコードの「本体情報」、「利息・手数料一括請求(合計)」および「為替予約(先物予約締結、先物予約履行、先物予約残高明細)」における処理通番は、ヘッダー・レコード単位に付与するものとする。

従って、複数種類の取引を記録する場合には、ヘッダー・レコードの項番 4「取引情報区分」の区分によりトレーラ・レコードまでを 1 単位として通番を付与し、次のヘッダー・レコードからトレーラ・レコードまでについては通番を 1 から振り直す(別表参照)。

別表

処理通番付与の例

H	①	本体	取引	利・手 ※	②	本体	取引	利・手 ※	③	本体	取引	利・手 ※	④	本体	取引	利・手 ※	T
	<--輸出手形買取-->				<--輸出手形買取-->				<--輸出手形買取-->				<--輸出手形買取-->				
H	①	本体	取引	利・手 ※	②	本体	取引	利・手 ※	③	本体	取引	利・手 ※	④	本体	取引	利・手 ※	T
	<--輸入手形決済-->				<--輸入手形決済-->				<--輸入手形決済-->				<--輸入手形決済-->				
H	①	本体	取引	利・手 ※	②	本体	取引	利・手 ※	③	本体	取引	利・手 ※	④	本体	取引	利・手 ※	T
	<--仕向送金取組-->				<--仕向送金取組-->				<--仕向送金取組-->				<--仕向送金取組-->				
H	①	本体	取引	利・手 ※	②	本体	取引	利・手 ※	T								
	<--利息・手数料情報--> (都度請求)				<--利息・手数料情報--> (都度請求)												
H	①	利・手一括請求		同内訳※				T									
H	①	予約締結	②	予約締結	③	予約締結	T										
	<--予約締結-->		<--予約締結-->		<--予約締結-->												
H	①	予約履行	②	予約履行	③	予約履行	T										
	<--予約履行-->		<--予約履行-->		<--予約履行-->												
H	①	予約残高	②	予約残高	③	予約残高	T	E									
	<--予約残高-->		<--予約残高-->		<--予約残高-->												

(※はレコードが複数ありうることを示す。)

(2) レコードの内容

(レコード・フォーマット使用上の注意事項)

- ◎ ※印の項目は銀行により、または場合により記録を省略することができる。省略した場合は全てスペース(SP)とする。
- ◎ ※※印の項目は、データ・レコード(1)本体情報の項番 5 取消コードが「9」取消入力の場合には、記録を省略することができる。省略した場合は全てスペース(SP)とする。
- ◎ ダミーは将来の拡張用の予備エリアであり、特定企業・銀行間で任意に使用はできない。
- ◎ 預金口座番号の桁数は円貨の当座預金、普通預金では 7 桁以下であるが、外貨預金では 7 桁を超える場合があるので、本フォーマットでは 10 桁とした。

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	業務種別を表わす。 25:外国為替取引明細(会計性)
3	コード区分	N(1)	使用コード区分を表わす。別添コード表参照。 0:JIS 1:EBCDIC
4	取引情報区分	N(3)	取引情報の区分を表わす。 010:利息・手数料情報 020:輸出手形買取 030:輸入手形決済 040:輸出手形取立支払 050:仕向送金取組 060:被仕向送金支払 110:利息・手数料一括請求 510:為替予約締結 520:為替予約履行 530:為替予約残高明細
5	作成日	N(8)	データ作成日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
6	※連絡日	N(8)	連絡日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
7	※連絡回数	N(2)	連絡日における連絡回数を表わす。 右詰め残り前「0」
8	勘定日(自)	N(8)	勘定日の期間を表わす。為替予約締結・履行の場合は記帳日と読み替える。為替予約残高明細の場合はすべてスペース(SP)とする。
9	勘定日(至)	N(8)	((自)(至)ともに) YYYYMMDD(年(西暦)-月-日) ただし営業日単位で通知する場合は、(自)(至)を同一年月日とする。
10	銀行コード	N(4)	取引銀行コードを表わす。 統一金融機関番号
11	銀行名	C(15)	取引銀行名。 左詰め残りスペース
12	※支店(取次店)コード	N(3)	取次支店コードを表わす。 統一店番号
13	※支店(取次店)名	C(15)	取次支店名。 左詰め残りスペース
14	支店(取扱店)コード	N(3)	取扱支店コードを表わす。 統一店番号
15	支店(取扱店)名	C(15)	取扱支店名。 左詰め残りスペース
16	会社コード	N(10)	銀行が採番した取引先の会社コードを表わす。 右詰め残り前「0」
17	会社名	C(70)	会社名(事業所名、出張所名等を含めてもよい。) 左詰め残りスペース。カナ、数字、英字を使用する。
18	ダミー	C(74)	ダミー・エリア

(250)

②-1 データ・レコード: 本体情報

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 01: 本体情報
3	データ構成区分	N(2)	・後続データ・レコードの構成を表わす。 01: 取引情報(内訳レコードなし) 02: 取引情報(内訳レコードあり) 03: 取引情報(内訳レコードなし) + 利息・手数料 04: 取引情報(内訳レコードあり) + 利息・手数料
4	※原取引区分	N(2)	・ヘッダー・レコードの取引情報区分が「010」(利息・手数料情報)の場合、当該利息・手数料に係る原取引の区分を表わす。「010」以外の場合はスペース(SP)とする。 01: 輸出手形買取 02: 輸入手形決済 03: 輸出手形取立支払 04: 仕向送金取組 05: 被仕向送金支払 51: 為替予約締結 62: 輸出信用状到着案内(注) 63: 輸入船積書類到着案内(注) 66: 被仕向送金到着案内(注) 99: その他
5	取消コード	N(1)	・当該データ・レコードに係る後続データ・レコードの入力種別を表わす。 0: 正常入力 9: 取消入力
6	処理通番	N(4)	・1連絡単位における本体情報のシーケンス番号を表わす。 右詰め残り前「0」
7	※銀行照会番号(銀行レファレンス)	C(16)	・銀行が任意に採番した照会用番号。 左詰め残りスペース (注)SWIFTの基準により16桁とした。
8	※取引先照会番号(取引先レファレンス)	C(32)	・取引先が任意に採番した照会用番号(例: 手形番号等) 左詰め残りスペース (注)SWIFTの基準では16桁であるが、それ以上の桁数を使用している場合があるので、32桁とした。
9	※信用状番号	C(32)	・信用状に記載された番号 左詰め残りスペース (注)SWIFTの基準では16桁であるが、SWIFT非加盟国ではそれ以上の場合があるので、32桁とした。
10	※取引金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・手形買取、手形取立支払もしくは手形決済に係る金額または送金金額を表わす。利息・手数料情報の場合は、利息・手数料の算出根拠金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・手形金額または送金金額 右詰め残り前「0」

11	※手形金額		<ul style="list-style-type: none"> ・輸出手形買取の場合 買取手形が分割されている場合(ジョイント・ネゴ)等に、分割前の手形の額面金額を記録する。分割のない場合にはスペース(SP)とする。 ・輸出手形取立支払の場合 取立支払金額が取立金額の一部の場合に、取立金額全額を記録する。全額支払の場合にはスペース(SP)とする。 ・輸入手形決済の場合 決済金額が手形金額の一部の場合に、手形金額全額を記録する。全額支払の場合にはスペース(SP)とする。
	(1)幣種	C(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。
	(2)小数点位置	N(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・小数点以下桁数を表わす。
	(3)金額	N(15)	<ul style="list-style-type: none"> ・手形金額 右詰め残り前「0」
12	※メッセージ	C(50)	・摘要
13	ダミー	C(70)	・ダミー・エリア

(250)

(注)外国為替取引明細(非会計性)フォーマットに係る原取引

②-2 データ・レコード:取引情報[輸出手形買取]

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 11:輸出手形買取
3	勘定日	N(8)	・勘定日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
4	バリュー(起算)日	N(8)	・勘定のバリュー(起算)日を表わす。通常は勘定日と同一であるが、その場合にも勘定日と同一年月日を記録する。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
5	手形種別区分	N(1)	・手形の種別を表わす。 1:L/C付 2:L/Cなし 3:クリーン 9:その他
6	※手形種別内訳	N(1)	・手形種別の内訳を表わす。 [手形種別区分が「1」(L/C付)の場合] 1:直送 2:再割 9:その他 [手形種別区分が「2」(L/Cなし)の場合] 1:D/P 2:D/A 9:その他 [手形種別区分が「3」(クリーン)の場合] 1:個人小切手 2:銀行小切手 3:旅行小切手 9:その他 [手形種別区分が「9」(その他)の場合] スペース(SP)とする。
7	※付保区分	N(1)	・輸出手形保険の付保の有無を表わす。 0:無付保 1:付保
8	相場区分	N(2)	・為替相場の区分を表わす。 00:明細別途(相場区分が複数になる場合は、明細をすべて別途取引情報[輸出手形買取内訳](データ・レコード区分「21」)に記載する。)この場合には、項番9~12は使用せず、すべてスペース(SP)とする。 01:SPOT(直物) 02:CONT(予約) 03:NOEX 04:円建 11:クロス取引 SPOT(直物) 12:クロス取引 CONT(予約) 99:その他
9	買取内訳金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・買取内訳金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・買取内訳金額。 右詰め残り前「0」
10	※※予約番号	C(16)	・為替予約番号を表わす。 左詰め残りスペース 予約のない場合はすべてスペース(SP)とする。

11	※※換算相場 (1)通貨単位 (2)小数点位置 (3)相場	N(1) N(1) N(8)	・換算する通貨の単位を表わす。(例:100 リラ=14.17 円の場合は 100 単位) 1:1 単位 3:100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算相場を表わす。 相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は「1」とする。 右詰め残り前「0」
12	※※換算額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・買取内訳金額の換算額を表わす。相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は、買取内訳金額と同内容を記録する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算額 右詰め残り前「0」
13	※相場種類	N(2)	・適用相場種類を表わす。 相場の適用がないときはすべてスペース(SP)とする。 別表(2)相場コード表参照。
14	※テナー・コード	N(2)	・手形のテナー種類を表わす。 別表(3)テナー・コード表参照。
15	※テナー日数	N(3)	・手形上のテナー日数を表わす。 右詰め残り前「0」 ・テナー・コードが「01」(一覧払)、「04」(確定日払い)の場合にはすべて「0」とする。
16	※期日	N(8)	・手形の期日を表わす。 ・テナー・コードが「01」(一覧払)、「02」(一覧後定期払い)の場合にはすべてスペース(SP)とする。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
17	※利息負担区分	N(1)	・利息の負担区分を表わす。 0:区分なし 1:シッパー負担 2:バイヤー負担 9:その他
18	※入金内訳(1) (1)幣種 (2)小数点位置 (3)入金口座 ①ダミー ②預金種目 ③口座番号 (4)金額	C(3) N(1) N(3) N(1) N(10) N(15)	・入金額の内訳を表わす。複数口座に分割して入金する場合には、入金内訳(2)も使用する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・将来の拡張用の予備エリア。すべて「0」とする。 ・預金種目を表わす。 別表(4)預金種目コード表参照。 ・口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」 ・入金内訳金額 右詰め残り前「0」
19	※入金内訳(2) (1)幣種 (2)小数点位置 (3)入金口座 ①ダミー ②預金種目 ③口座番号 (3)金額	C(3) N(1) N(3) N(1) N(10) N(15)	(前項に同じ。)

20	※利息・手数料合計(1) (1)利息・手数料区分 (2)幣種 (3)小数点位置 (4)金額 (5)徴求区分	N(1) C(3) N(1) N(13) N(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・利息・手数料の区分を表わす。 1:利息・手数料合算 2:利息 3:手数料 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・利息・手数料合計金額 右詰め残り前「0」 ・利息・手数料の徴求区分を表わす。 1:即時徴求 2:即時(本体外貨合算)徴求 3:別途徴求(当日) 4:別途徴求(後日) 9:その他
21	※利息・手数料合計(2) (1)利息・手数料区分 (2)幣種 (3)小数点位置 (4)金額 (5)徴求区分	N(1) C(3) N(1) N(13) N(1)	(前項に同じ。)
22	※利息・手数料引落予定日	N(8)	<ul style="list-style-type: none"> ・利息・手数料を後日徴求する場合の引落予定日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
23	※引落請求番号	N(11)	<ul style="list-style-type: none"> ・前項の利息・手数料の引落請求番号を表わす。 右詰め残り前「0」
24	ダミー	C(23)	・ダミー・エリア

(250)

②-2 データ・レコード:取引情報[輸出手形買取内訳]

項番	項目名	桁数	内容	
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード	
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 21:輸出手形買取内訳	
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・1つの本体情報に続く同一種類データ・レコード(輸出手形買取内訳の取引情報)の数を表わす。 右詰め残り前「0」	
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・同一種類データ・レコードのシーケンス番号 右詰め残り前「0」	
5	買 取 内 訳	(1)相場区分	N(2)	・為替相場の区分を表わす。 01:SPOT(直物) 02:CONT(予約) 03:NOEX 04:円建 11:クロス取引 SPOT(直物) 12:クロス取引 CONT(予約) 99:その他
		(2)買取内訳金額 ①幣種	C(3)	・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。
		②小数点位置 ③金額	N(1) N(15)	・小数点以下桁数を表わす。 ・買取内訳金額。 右詰め残り前「0」
		※※(3)予約番号	C(16)	・予約番号を表わす。 左詰め残りスペース 予約のない場合はすべてスペース(SP)とする。
		※※(4)換算相場 ①通貨単位 ②小数点位置 ③相場	N(1) N(1) N(8)	・換算する通貨の単位を表わす。 1:1 単位 3:100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算相場を表わす。 相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は「1」とする。 右詰め残り前「0」
※※(5)換算額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額	C(3) N(1) N(15)	・買取内訳金額の換算額を表わす。相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は、買取内訳金額と同内容を記録する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算額 右詰め残り前「0」		
6	買 取 内 訳	(1)相場区分 (2)買取内訳金額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額 ※※(3)予約番号 ※※(4)換算相場 ①通貨単位 ②小数点位置 ③相場 ※※(5)換算額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額	N(2) C(3) N(1) N(15) C(16) N(1) N(1) N(8) N(1) N(1) N(15)	(前項に同じ。)

7	買	(1)相場区分	N(2)	(前項に同じ。)
		(2)買取内訳金額		
	取	①幣種	C(3)	
		②小数点位置	N(1)	
		③金額	N(15)	
	内	※※(3)予約番号	C(16)	
		※※(4)換算相場		
	訳	①通貨単位	N(1)	
		②小数点位置	N(1)	
		③相場	N(8)	
		※※(5)換算額		
		①幣種	C(3)	
		②小数点位置	N(1)	
		③金額	N(15)	
8	ダミー	C(45)	・ダミー・エリア	

(250)

②-2 データ・レコード:取引情報[輸入手形決済]

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 12:輸入手形決済
3	勘定日	N(8)	・勘定日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
4	バリュー(起算)日	N(8)	・勘定のバリュー(起算)日を表わす。通常は勘定日と同一であるが、その場合にも勘定日と同一年月日を記録する。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
5	手形種別区分	N(1)	・手形の種別を表わす。 1:L/C 付 2:L/C なし 3:Freight 等(保険料) 9:その他
6	ユーザンス・コード	N(2)	・ユーザンス区分を表わす。 10:At Sight 20:自行ユーザンス 30:外銀ユーザンス 40:シッパーズ・ユーザンス 90:その他
7	相場区分	N(2)	・為替相場の区分を表わす。 00:明細別途(相場区分が複数になる場合は、明細をすべて別途取引情報[輸入手形決済内訳](データ・レコード区分「22」)に記載する。)この場合には、項番 8~11 は使用せず、すべてスペース(SP)とする。 01:SPOT(直物) 02:CONT(予約) 03:NOEX 04:円建 11:クロス取引 SPOT(直物) 12:クロス取引 CONT(予約) 99:その他
8	決済内訳金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・決済内訳金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・決済内訳金額。 右詰め残り前「0」
9	※※予約番号	C(16)	・予約番号を表わす。 左詰め残りスペース 予約のない場合はすべてスペース(SP)とする。
10	※※換算相場 (1)通貨単位 (2)小数点位置 (3)相場	N(1) N(1) N(8)	・換算する通貨の単位を表わす。 1:1 単位 3:100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算相場を表わす。 相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は「1」とする。 右詰め残り前「0」
11	換算額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・決済内訳金額の換算額を表わす。相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は、買取内訳金額と同内容を記録する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算額 右詰め残り前「0」

12	※相場種類	N(2)	・適用相場種類を表わす。 相場の適用がない場合はすべてスペース(SP)とする。 別表(2)相場コード表参照。
13	※手形決済区分	N(1)	・手形の決済区分を表わす。 1:全額決済 2:一部決済 9:その他
14	※引落内訳(1) (1)幣種 (2)小数点位置 (3)引落口座 ①ダミー ②預金種目 ③口座番号 (4)金額	C(3) N(1) N(3) N(1) N(10) N(15)	・引落額の内訳を表わす。複数口座から分割して引落す場合には、引落内訳(2)も使用する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・将来の拡張用の予備エリア。すべて「0」とする。 ・預金種目を表わす。 別表(4)預金種目コード表参照。 ・口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」 ・引落内訳金額 右詰め残り前「0」
15	※引落内訳(2) (1)幣種 (2)小数点位置 (3)引落口座 ①ダミー ②預金種目 ③口座番号 (4)金額	C(3) N(1) N(3) N(1) N(10) N(15)	(前項に同じ。)
16	※利息・手数料合計(1) (1)利息・手数料区分 (2)幣種 (3)小数点位置 (4)金額 (5)徴求区分	N(1) C(3) N(1) N(13) N(1)	・利息・手数料の区分を表わす。 1:利息・手数料合算 2:利息 3:手数料 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・利息・手数料合計金額 右詰め残り前「0」 ・利息・手数料の徴求区分を表わす。 1:即時徴求 2:即時(本体外貨合算)徴求 3:別途徴求(当日) 4:別途徴求(後日) 9:その他
17	※利息・手数料合計(2) (1)利息・手数料区分 (2)幣種 (3)小数点位置 (4)金額 (5)徴求区分	N(1) C(3) N(1) N(13) N(1)	(前項に同じ。)
18	※利息・手数料引落予定日	N(8)	・利息・手数料を後日徴求する場合の引落予定日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
19	※引落請求番号	N(11)	・前項の利息・手数料の引落請求番号を表わす。 右詰め残り前「0」
20	ダミー	C(36)	・ダミー・エリア

(250)

②-2 データ・レコード:取引情報[輸入手形決済内訳]

項番	項目名	桁数	内容	
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード	
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 22:輸入手形決済内訳	
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・1つの本体情報に続く同一種類データ・レコード(輸入手形決済内訳の取引情報)の数を表わす。 右詰め残り前「0」	
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・同一種類データ・レコードのシーケンス番号 右詰め残り前「0」	
5	決 済 内 訳	(1)相場区分	N(2)	・為替相場の区分を表わす。 01:SPOT(直物) 02:CONT(予約) 03:NOEX 04:円建 11:クロス取引 SPOT(直物) 12:クロス取引 CONT(予約) 99:その他
		(2)決済内訳金額 ①幣種	C(3)	・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。
		②小数点位置 ③金額	N(1) N(15)	・小数点以下桁数を表わす。 ・決済内訳金額。 右詰め残り前「0」
		※※(3)予約番号	C(16)	・予約番号を表わす。 左詰め残りスペース 予約のない場合はすべてスペース(SP)とする。
		※※(4)換算相場 ①通貨単位 ②小数点位置 ③相場	N(1) N(1) N(8)	・換算する通貨の単位を表わす。 1:1 単位 3:100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算相場を表わす。 相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は「1」とする。 右詰め残り前「0」
※※(5)換算額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額	C(3) N(1) N(15)	・決済内訳金額の換算額を表わす。相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は、決済内訳金額と同内容を記録する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算額 右詰め残り前「0」		
6	決 済 内 訳	(1)相場区分	N(2)	(前項に同じ。)
(2)決済内訳金額 ①幣種		C(3)		
②小数点位置 ③金額		N(1) N(15)		
※※(3)予約番号		C(16)		
※※(4)換算相場 ①通貨単位 ②小数点位置 ③相場		N(1) N(1) N(8)		
※※(5)換算額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額	C(3) N(1) N(15)			

7	決 済 内 訳	(1)相場区分	N(2)	(前項に同じ。)
		(2)決済内訳金額		
		①幣種	C(3)	
		②小数点位置	N(1)	
		③金額	N(15)	
		※※(3)予約番号	C(16)	
		※※(4)換算相場		
		①通貨単位	N(1)	
		②小数点位置	N(1)	
		③相場	N(8)	
		※※(5)換算額		
		①幣種	C(3)	
		②小数点位置	N(1)	
③金額	N(15)			
8	ダミー	C(45)	・ダミー・エリア	

(250)

②-2 データ・レコード:取引情報[輸出手形取立支払]

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 13:輸出手形取立支払
3	勘定日	N(8)	・勘定日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
4	バリュー(起算)日	N(8)	・勘定のバリュー(起算)日を表わす。通常は勘定日と同一であるが、その場合にも勘定日と同一年月日を記録する。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
5	手形種別区分	N(1)	・手形の種別を表わす。 1:L/C 付 2:L/C なし 3:クリーン 9:その他
6	※手形種別内訳	N(1)	・手形種別の内訳を表わす。 [手形種別区分が「1」(L/C 付)の場合] 1:直送 2:再割 9:その他 [手形種別区分が「2」(L/C なし)の場合] 1:D/P 2:D/A 9:その他 [手形種別区分が「3」(クリーン)の場合] 1:個人小切手 2:銀行小切手 3:旅行小切手 9:その他 [手形種別区分が「9」(その他)の場合] スペース(SP)とする。
7	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
8	相場区分	N(2)	・為替相場の区分を表わす。 00:明細別途(相場区分が複数になる場合は、明細をすべて別途取引情報[輸出手形取立支払内訳](データ・レコード区分「23」)に記載する。)この場合には、項番9~12は使用せず、すべてスペース(SP)とする。 01:SPOT(直物) 02:CONT(予約) 03:NOEX 04:円建 11:クロス取引 SPOT(直物) 12:クロス取引 CONT(予約) 99:その他
9	取立支払内訳金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・取立支払内訳金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・取立支払内訳金額。 右詰め残り前「0」
10	※※予約番号	C(16)	・為替予約番号を表わす。 左詰め残りスペース 予約のない場合はすべてスペース(SP)とする。

11	※※換算相場 (1)通貨単位 (2)小数点位置 (3)相場	N(1) N(1) N(8)	・換算する通貨の単位を表わす。(例:100リラ=14.17 円の場合は 100 単位) 1:1 単位 3:100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算相場を表わす。 相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は「1」とする。 右詰め残り前「0」
12	※※換算額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・取立支払内訳金額の換算額を表わす。相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は、取立支払内訳金額と同内容を記録する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算額 右詰め残り前「0」
13	※相場種類	N(2)	・適用相場種類を表わす。 相場の適用がないときはすべてスペース(SP)とする。 別表(2)相場コード表参照。
14	ダミー	C(2)	・ダミー・エリア
15	ダミー	C(3)	・ダミー・エリア
16	※期日	N(8)	・手形の期日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
17	※支払区分	N(1)	・取立支払の内容を表わす。 1:全額 2:一部 9:その他
18	※入金内訳(1) (1)幣種 (2)小数点位置 (3)入金口座 ①ダミー ②預金種目 ③口座番号 (4)金額	C(3) N(1) N(3) N(1) N(10) N(15)	・入金額の内訳を表わす。複数口座に分割して入金する場合には、入金内訳(2)も使用する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・将来の拡張用の予備エリア。すべて「0」とする。 ・預金種目を表わす。 別表(4)預金種目コード表参照。 ・口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」 ・入金内訳金額 右詰め残り前「0」
19	※入金内訳(2) (1)幣種 (2)小数点位置 (3)入金口座 ①ダミー ②預金種目 ③口座番号 (4)金額	C(3) N(1) N(3) N(1) N(10) N(15)	(前項に同じ。)

20	※利息・手数料合計(1) (1)利息・手数料区分 (2)幣種 (3)小数点位置 (4)金額 (5)徴求区分	N(1) C(3) N(1) N(13) N(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・利息・手数料の区分を表わす。 1:利息・手数料合算 2:利息 3:手数料 <ul style="list-style-type: none"> ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・小数点以下桁数を表わす。 <ul style="list-style-type: none"> ・利息・手数料合計金額 右詰め残り前「0」 <ul style="list-style-type: none"> ・利息・手数料の徴求区分を表わす。 1:即時徴求 2:即時(本体外貨合算)徴求 3:別途徴求(当日) 4:別途徴求(後日) 9:その他
21	※利息・手数料合計(2) (1)利息・手数料区分 (2)幣種 (3)小数点位置 (4)金額 (5)徴求区分	N(1) C(3) N(1) N(13) N(1)	(前項に同じ。)
22	※利息・手数料引落予定日	N(8)	<ul style="list-style-type: none"> ・利息・手数料を後日徴求する場合の引落予定日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
23	※引落請求番号	N(11)	<ul style="list-style-type: none"> ・前項の利息・手数料の引落請求番号を表わす。 右詰め残り前「0」
24	ダミー	C(23)	・ダミー・エリア

(250)

②-2 データ・レコード:取引情報[輸出手形取立支払内訳]

項番	項目名	桁数	内容	
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード	
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 23:輸出手形取立支払内訳	
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・1つの本体情報に続く同一種類データ・レコード(輸出手形買取支払内訳の取引情報)の数を表わす。 右詰め残り前「0」	
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・同一種類データ・レコードのシーケンス番号 右詰め残り前「0」	
5	取 立 支 払 内 訳	(1)相場区分	N(2)	・為替相場の区分を表わす。 01:SPOT(直物) 02:CONT(予約) 03:NOEX 04:円建 11:クロス取引 SPOT(直物) 12:クロス取引 CONT(予約) 99:その他
		(2)取立支払内訳金額 ①幣種	C(3)	・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。
		②小数点位置 ③金額	N(1) N(15)	・小数点以下桁数を表わす。 ・取立支払内訳金額。 右詰め残り前「0」
		※※(3)予約番号	C(16)	・予約番号を表わす。 左詰め残りスペース 予約のない場合はすべてスペース(SP)とする。
		※※(4)換算相場 ①通貨単位 ②小数点位置 ③相場	N(1) N(1) N(8)	・換算する通貨の単位を表わす。 1:1 単位 3:100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算相場を表わす。 相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は「1」とする。 右詰め残り前「0」
※※(5)換算額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額	C(3) N(1) N(15)	・取立支払内訳金額の換算額を表わす。相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は、取立支払内訳金額と同内容を記録する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算額 右詰め残り前「0」		
6	取 立 支 払 内 訳	(1)相場区分 (2)取立支払内訳金額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額 ※※(3)予約番号 ※※(4)換算相場 ①通貨単位 ②小数点位置 ③相場 ※※(5)換算額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額	N(2) C(3) N(1) N(15) C(16) N(1) N(1) N(8) C(3) N(1) N(15)	(前項に同じ。)

7	取	(1)相場区分	N(2)	(前項に同じ。)	
		(2)取立支払内訳金額			
	立	①幣種	C(3)		
		②小数点位置	N(1)		
		③金額	N(15)		
	支	※※(3)予約番号	C(16)		
		※※(4)換算相場			
	払	①通貨単位	N(1)		
		②小数点位置	N(1)		
		③相場	N(8)		
	内	※※(5)換算額			
		①幣種	C(3)		
②小数点位置		N(1)			
③金額		N(15)			
訳					
8	ダミー	C(45)	・ダミー・エリア		
		(250)			

②-2 データ・レコード:取引情報[仕向送金取組]

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 14:仕向送金取組
3	勘定日	N(8)	・勘定日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
4	バリュー(起算)日	N(8)	・勘定のバリュー(起算)日を表わす。通常は勘定日と同一であるが、その場合にも勘定日と同一年月日を記録する。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
5	※送金種類区分	N(1)	・送金の種類を表わす。 1:電信送金 2:郵便送金 3:送金小切手 9:その他
6	※電信種類区分	N(1)	・送金種類区分が「1」(電信送金)の場合の電信の種類を表わす。 1:URGENT 2:ORDINARY 3:LETTERGRAM 9:その他
7	※支払区分	N(1)	・送金受取側での支払方法の種類を表わす。 1:通知払 2:請求払 9:その他
8	相場区分	N(2)	・為替相場の区分を表わす。 00:明細別途(相場区分が複数になる場合は、明細をすべて別途取引情報[仕向送金取組内訳](データ・レコード区分「24」)に記載する。)この場合には、項番9~12は使用せず、すべてスペース(SP)とする。 01:SPOT(直物) 02:CONT(予約) 03:NOEX 04:円建 11:クロス取引 SPOT(直物) 12:クロス取引 CONT(予約) 99:その他
9	取組内訳金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・取組内訳金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・取組内訳金額。 右詰め残り前「0」
10	※※予約番号	C(16)	・為替予約番号を表わす。 左詰め残りスペース 予約のない場合はすべてスペース(SP)とする。
11	※※換算相場 (1)通貨単位 (2)小数点位置 (3)相場	N(1) N(1) N(8)	・換算する通貨の単位を表わす。 1:1 単位 3:100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算相場を表わす。 相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は「1」とする。 右詰め残り前「0」
12	※※換算額		・取組内訳金額の換算額を表わす。相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は、取組内訳金額と同内容を記録する。

	(1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算額 右詰め残り前「0」
13	※相場種類	N(2)	・適用相場種類を表わす。 相場の適用がない場合はすべてスペース(SP)とする。 別表(2)相場コード表参照。
14	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
15	※引落内訳(1) (1)幣種 (2)小数点位置 (3)引落口座 ①ダミー ②預金種目 ③口座番号 (4)金額	C(3) N(1) N(3) N(1) N(10) N(15)	・引落額の内訳を表わす。複数口座から分割して引落す場合には、引落内訳(2)も使用する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・将来の拡張用の予備エリア。すべて「0」とする。 ・預金種目を表わす。 別表(4)預金種目コード表参照。 ・口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」 ・引落内訳金額 右詰め残り前「0」
16	※引落内訳(2) (1)幣種 (2)小数点位置 (3)引落口座 ①ダミー ②預金種目 ③口座番号 (4)金額	C(3) N(1) N(3) N(1) N(10) N(15)	(前項に同じ。)
17	※利息・手数料合計(1) (1)利息・手数料区分 (2)幣種 (3)小数点位置 (4)金額 (5)徴求区分	N(1) C(3) N(1) N(13) N(1)	・利息・手数料の区分を表わす。 1:利息・手数料合算 2:利息 3:手数料 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・利息・手数料合計金額 右詰め残り前「0」 ・利息・手数料の徴求区分を表わす。 1:即時徴求 2:即時(本体外貨合算)徴求 3:別途徴求(当日) 4:別途徴求(後日) 9:その他
18	※利息・手数料合計(2) (1)利息・手数料区分 (2)幣種 (3)小数点位置 (4)金額 (5)徴求区分	N(1) C(3) N(1) N(13) N(1)	(前項に同じ。)
19	※利息・手数料引落予定日	N(8)	・利息・手数料を後日徴求する場合の引落予定日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
20	※引落請求番号	N(11)	・前項の利息・手数料の引落請求番号を表わす。 右詰め残り前「0」
21	ダミー	C(36)	・ダミー・エリア

(250)

②-2 データ・レコード:取引情報〔仕向送金取組内訳〕

項番	項目名	桁数	内容	
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード	
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 24:仕向送金取組内訳	
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・1つの本体情報に続く同一種類データ・レコード(仕向送金取組内訳の取引情報)の数を表わす。 右詰め残り前「0」	
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・同一種類データ・レコードのシーケンス番号 右詰め残り前「0」	
5	取組内訳	(1)相場区分	N(2)	・為替相場の区分を表わす。 01:SPOT(直物) 02:CONT(予約) 03:NOEX 04:円建 11:クロス取引 SPOT(直物) 12:クロス取引 CONT(予約) 99:その他
		(2)取組内訳金額 ①幣種	C(3)	・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。
		②小数点位置 ③金額	N(1) N(15)	・小数点以下桁数を表わす。 ・取組内訳金額。 右詰め残り前「0」
		※※(3)予約番号	C(16)	・予約番号を表わす。 左詰め残りスペース 予約のない場合はすべてスペース(SP)とする。
		※※(4)換算相場 ①通貨単位 ②小数点位置 ③相場	N(1) N(1) N(8)	・換算する通貨の単位を表わす。 1:1 単位 3:100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算相場を表わす。 相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は「1」とする。 右詰め残り前「0」
※※(5)換算額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額	C(3) N(1) N(15)	・取組内訳金額の換算額を表わす。相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は、取組内訳金額と同内容を記録する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算額 右詰め残り前「0」		
6	取組内訳	(1)相場区分 (2)取組内訳金額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額 ※※(3)予約番号 ※※(4)換算相場 ①通貨単位 ②小数点位置 ③相場 ※※(5)換算額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額	N(2) C(3) N(1) N(15) C(16) N(1) N(1) N(8) N(1) N(1) N(8) C(3) N(1) N(15)	(前項に同じ。)

7	取 組 内 訳	(1)相場区分	N(2)	(前項に同じ。)
		(2)取組内訳金額		
		①幣種	C(3)	
		②小数点位置	N(1)	
		③金額	N(15)	
		※※(3)予約番号	C(16)	
		※※(4)換算相場		
		①通貨単位	N(1)	
		②小数点位置	N(1)	
		③相場	N(8)	
		※※(5)換算額		
		①幣種	C(3)	
		②小数点位置	N(1)	
③金額	N(15)			
8	ダミー	C(45)	・ダミー・エリア	

(250)

②-2 データ・レコード:取引情報[被仕向送金支払]

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 15:被仕向送金支払
3	勘定日	N(8)	・勘定日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
4	バリュー(起算)日	N(8)	・勘定のバリュー(起算)日を表わす。通常は勘定日と同一であるが、その場合にも勘定日と同一年月日を記録する。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
5	※送金種類区分	N(1)	・送金の種類を表わす。 1:電信送金 2:郵便送金 3:送金小切手 9:その他
6	ダミー	C(2)	・ダミー・エリア
7	相場区分	N(2)	・為替相場の区分を表わす。 00:明細別途(相場区分が複数になる場合は、明細をすべて別途取引情報[被仕向送金支払内訳](データ・レコード区分「25」)に記載する。)この場合には、項番8~11は使用せず、すべてスペース(SP)とする。 01:SPOT(直物) 02:CONT(予約) 03:NOEX 04:円建 11:クロス取引 SPOT(直物) 12:クロス取引 CONT(予約) 99:その他
8	支払内訳金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・支払内訳金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・支払内訳金額。 右詰め残り前「0」
9	※※予約番号	C(16)	・為替予約番号を表わす。 左詰め残りスペース 予約のない場合はすべてスペース(SP)とする。
10	※※換算相場 (1)通貨単位 (2)小数点位置 (3)相場	N(1) N(1) N(8)	・換算する通貨の単位を表わす。(例:100リラ=14.17 円の場合は100単位) 1:1 単位 3:100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算相場を表わす。 相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は「1」とする。 右詰め残り前「0」
11	※※換算額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・支払内訳金額の換算額を表わす。相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は、支払内訳金額と同内容を記録する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算額 右詰め残り前「0」
12	※相場種類	N(2)	・適用相場種類を表わす。 相場の適用がないときはすべてスペース(SP)とする。 別表(2)相場コード表参照。

13	ダミー	C(14)	・ダミー・エリア
14	※入金内訳(1) (1)幣種 (2)小数点位置 (3)入金口座 ①ダミー ②預金種目 ③口座番号 (4)金額	C(3) N(1) N(3) N(1) N(10) N(15)	・入金額の内訳を表わす。複数口座に分割して入金する場合には、入金内訳(2)も使用する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・将来の拡張用の予備エリア。すべて「0」とする。 ・預金種目を表わす。 別表(4)預金種目コード表参照。 ・口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」 ・入金内訳金額 右詰め残り前「0」
15	※入金内訳(2) (1)幣種 (2)小数点位置 (3)入金口座 ①ダミー ②預金種目 ③口座番号 (4)金額	C(3) N(1) N(3) N(1) N(10) N(15)	(前項に同じ。)
16	※利息・手数料合計(1) (1)利息・手数料区分 (2)幣種 (3)小数点位置 (4)金額 (5)徴求区分	N(1) C(3) N(1) N(13) N(1)	・利息・手数料の区分を表わす。 1:利息・手数料合算 2:利息 3:手数料 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・利息・手数料合計金額 右詰め残り前「0」 ・利息・手数料の徴求区分を表わす。 1:即時徴求 2:即時(本体外貨合算)徴求 3:別途徴求(当日) 4:別途徴求(後日) 9:その他
17	※利息・手数料合計(2) (1)利息・手数料区分 (2)幣種 (3)小数点位置 (4)金額 (5)徴求区分	N(1) C(3) N(1) N(13) N(1)	(前項に同じ。)
18	※利息・手数料引落予定日	N(8)	・利息・手数料を後日徴求する場合の引落予定日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
19	※引落請求番号	N(11)	・前項の利息・手数料の引落請求番号を表わす。 右詰め残り前「0」
20	ダミー	C(23)	・ダミー・エリア

(250)

②-2 データ・レコード:取引情報〔被仕向送金支払内訳〕

項番	項目名	桁数	内容	
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード	
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 25:被仕向送金支払内訳	
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・1つの本体情報に続く同一種類データ・レコード(被仕向送金支払内訳の取引情報)の数を表わす。 右詰め残り前「0」	
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・同一種類データ・レコードのシーケンス番号 右詰め残り前「0」	
5	支 払 内 訳	(1)相場区分	N(2)	・為替相場の区分を表わす。 01:SPOT(直物) 02:CONT(予約) 03:NOEX 04:円建 11:クロス取引 SPOT(直物) 12:クロス取引 CONT(予約) 99:その他
		(2)支払内訳金額 ①幣種	C(3)	・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。
		②小数点位置 ③金額	N(1) N(15)	・小数点以下桁数を表わす。 ・支払内訳金額。 右詰め残り前「0」
		※※(3)予約番号	C(16)	・予約番号を表わす。 左詰め残りスペース 予約のない場合はすべてスペース(SP)とする。
		※※(4)換算相場 ①通貨単位 ②小数点位置 ③相場	N(1) N(1) N(8)	・換算する通貨の単位を表わす。 1:1 単位 3:100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算相場を表わす。 相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は「1」とする。 右詰め残り前「0」
※※(5)換算額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額	C(3) N(1) N(15)	・支払内訳金額の換算額を表わす。相場区分が NOEX「03」、円建「04」の場合は、支払内訳金額と同内容を記録する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算額 右詰め残り前「0」		
6	支 払 内 訳	(1)相場区分 (2)支払内訳金額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額 ※※(3)予約番号 ※※(4)換算相場 ①通貨単位 ②小数点位置 ③相場 ※※(5)換算額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額	N(2) C(3) N(1) N(15) C(16) N(1) N(1) N(8) N(1) N(1) N(8) C(3) N(1) N(15)	(前項に同じ。)

7	支 払 内 訳	(1)相場区分	N(2)	(前項に同じ。)
		(2)支払内訳金額		
		①幣種	C(3)	
		②小数点位置	N(1)	
		③金額	N(15)	
		※※(3)予約番号	C(16)	
		※※(4)換算相場		
		①通貨単位	N(1)	
		②小数点位置	N(1)	
		③相場	N(8)	
		※※(5)換算額		
		①幣種	C(3)	
		②小数点位置	N(1)	
③金額	N(15)			
8	ダミー	C(45)	・ダミー・エリア	

(250)

②-2 データ・レコード：取引情報[利息・手数料情報(都度請求)]

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 91:利息・手数料情報(都度請求)
3	勘定日	N(8)	・勘定日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
4	バリュー(起算)日	N(8)	・勘定のバリュー(起算)日を表わす。通常は勘定日と同一であるが、その場合にも勘定日と同一年月日を記録する。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
5	※利息・手数料合計(1) (1)利息・手数料区分 (2)幣種 (3)小数点位置 (4)金額 (5)徴求区分	N(1) C(3) N(1) N(13) N(1)	・利息・手数料の区分を表わす。 1:利息・手数料合算 2:利息 3:手数料 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・利息・手数料合計金額 右詰め残り前「0」 ・利息・手数料の徴求区分を表わす。 3:当時徴求 4:後日徴求 9:その他
6	※利息・手数料合計(2) (1)利息・手数料区分 (2)幣種 (3)小数点位置 (4)金額 (5)徴求区分	N(1) C(3) N(1) N(13) N(1)	(前項に同じ。)
7	※引落予定日	N(8)	・利息・手数料を後日徴求する場合の引落予定日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
8	※引落請求番号	N(11)	・前項の利息・手数料の引落請求番号を表わす。 右詰め残り前「0」
9	※引落内訳(1) (1)幣種 (2)小数点位置 (3)引落口座 ①ダミー ②預金種目 ③口座番号 (4)金額	C(3) N(1) N(3) N(1) N(10) N(13)	・引落額の内訳を表わす。複数口座から分割して引落す場合には、引落内訳(2)も使用する。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・将来の拡張用の予備エリア。すべて「0」とする。 ・預金種目を表わす。 別表(4)預金種目コード表参照。 ・口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」 ・引落内訳金額 右詰め残り前「0」
10	※入金内訳(2) (1)幣種 (2)小数点位置 (3)引落口座 ①ダミー ②預金種目 ③口座番号 (4)金額	C(3) N(1) N(3) N(1) N(10) N(13)	(前項に同じ。)
11	ダミー	C(112)	・ダミー・エリア

(250)

②-3 データ・レコード: 利息・手数料

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 92: 利息・手数料
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・1つの本体情報に続く同一種類データ・レコード(利息・手数料)の数を表わす。 右詰め残り前「0」
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・同一種類データ・レコードのシーケンス番号 右詰め残り前「0」
5	利息		
	(1)利息区分	N(2)	・利息の種類を表わす。別表(5)利息コード表参照。
	※(2)利率・料率区分	N(1)	・利率・料率の区分を表わす。 0: 定額。この場合、(3)~(8)はスペース(SP)とする。 1: 利率 2: 料率 3: 分数表示
	※(3)利率・料率	N(8)	・利率は年利率を小数点以下5桁でセットする。 <u>XXX XXXXX</u> (例: 099.99999%) ・料率を外貨1に対する円貨で表わす場合は小数点以下5桁でセットする。 <u>XXX XXXXX</u> (例: 999.99999 円) ・利率を分数で表わす場合は、上3桁を分子、下5桁を分母とする。 <u>XXX XXXXX</u> (例: 「00300064」= 3/64) (分子) (分母)
	※(4)年日数区分	N(1)	・年利率算出の場合、分母となる年日数の区分を表わす。 1: 365 日 2: 360 日
	※(5)利息計算区分	N(1)	・利息計算方法の区分を表わす。 1: 両端入れ 2: 片端入れ
	※(6)利息日数	N(4)	・利息の計算日数を表わす。 右詰め残り前「0」
	※(7)利息始期	N(8)	・利息計算の始期を表わす。 YYYYMMDD (年(西暦)-月-日)
	※(8)利息終期	N(8)	・利息計算の終期を表わす。 YYYYMMDD (年(西暦)-月-日)
	※(9)利息外貨額		
	①幣種	C(3)	・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。
②小数点位置	N(1)	・小数点以下桁数を表わす。	
③金額	N(12)	・利息外貨額 右詰め残り前「0」	
※(10)換算相場			
①通貨単位	N(1)	・換算する通貨の単位を表わす。 1: 1 単位 3: 100 単位	
②小数点位置	N(1)	・小数点以下桁数を表わす。	
③相場	N(8)	・換算相場を表わす。 右詰め残り前「0」	
※(11)端数処理	N(1)	・端数処理方法の区分を表わす。 1: 切捨て 2: 切上げ 3: 四捨五入 9: その他	

	※(12)利息円貨額	N(12)	・利息の円貨額を表わす。 右詰め残り前「0」
	※(13)徴求区分	N(1)	・利息の徴求区分を表わす。 1:即時徴求 2:即時(本体外貨合算)徴求 3:別途徴求(当日) 4:別途徴求(後日) 9:その他
6	手数料(1) (1)手数料区分	N(2)	・手数料の種類を表わす。別表(6)手数料コード表参照。
	※(2)利率・料率区分	N(1)	・利率・料率の区分を表わす。 0:定額。この場合、(3)~(5)はスペース(SP)とする。 1:利率 2:料率 3:分数表示
	※(3)利率・料率	N(8)	・利率は年利率を小数点以下5桁でセットする。 XXX XXXXX(例:099.99999%) ・料率を外貨1に対する円貨で表わす場合は小数点以下5桁でセットする。 XXX XXXXX(例:999.99999円) ・利率を分数で表わす場合は、上3桁を分子、下5桁を分母とする。 XXX XXXXX(例:「00300064」=3/64) (分子)(分母)
	※(4)手数料外貨額 ①幣種	C(3)	・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。
	②小数点位置	N(1)	・小数点以下桁数を表わす。
	③金額	N(10)	・手数料外貨額。 右詰め残り前「0」
	※(5)換算相場 ①通貨単位	N(1)	・換算する通貨の単位を表わす。 1:1単位 3:100単位
	②小数点位置 ③相場	N(1) N(8)	・小数点以下桁数を表わす。 ・換算相場を表わす。 右詰め残り前「0」
※(6)手数料円貨額	N(10)	・手数料の円貨額を表わす。 右詰め残り前「0」	
※(7)徴求区分	N(1)	・手数料の徴求区分を表わす。 1:即時徴求 2:即時(本体外貨合算)徴求 3:別途徴求(当日) 4:別途徴求(後日) 9:その他	
7	手数料(2) (1)手数料区分	N(2)	(前項に同じ。)
	※(2)利率・料率区分	N(1)	
	※(3)利率・料率	N(8)	
	※(4)手数料外貨額 ①幣種	C(3)	
	②小数点位置	N(1)	
	③金額	N(10)	
	※(5)換算相場 ①通貨単位	N(1)	
	②小数点位置 ③相場	N(1) N(8)	
※(6)手数料円貨額	N(10)		
※(7)徴求区分	N(1)		

8	手数料(3)		(前項に同じ。)
	(1)手数料区分	N(2)	
	※(2)利率・料率区分	N(1)	
	※(3)利率・料率	N(8)	
	※(4)手数料外貨額		
	①幣種	C(3)	
	②小数点位置	N(1)	
	③金額	N(10)	
※(5)換算相場			
①通貨単位	N(1)		
②小数点位置	N(1)		
③相場	N(8)		
※(6)手数料円貨額	N(10)		
※(7)徴求区分	N(1)		
9	ダミー	C(32)	・ダミー・エリア

(250)

②-4 データ・レコード: 利息・手数料一括請求[合計]

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 93: 利息・手数料一括請求(合計)
3	処理通番	N(4)	・1 連絡単位における本体情報のシーケンス番号を表わす。 右詰め残り前「0」
4	請求・引落区分	N(1)	・当該情報が利息・手数料の請求内容を表わすか、引落結果を表わすかの区分を表わす。 1: 請求 2: 引落
5	※締切日	N(8)	・当該請求・引落の締切日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
6	※引落予定日	N(8)	・請求の場合の引落予定日を表わす。引落の場合はスペース(SP)とする。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
7	※引落勘定日	N(8)	・引落の勘定日を表わす。請求の場合はスペース(SP)とする。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
8	※引落バリュウ(起算)日	N(8)	・勘定のバリュウ(起算)日を表わす。通常は引落勘定日と同一であるが、その場合にも引落勘定日と同一年月日を記録する。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
9	※引落口座 (1)ダミー (2)預金種目 (3)口座番号	N(3) N(1) N(10)	・引落口座を表わす。 ・将来の拡張用の予備エリア。すべて「0」とする。 ・預金種目を表わす。別表(4)預金種目コード表参照。 ・口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」
10	請求・引落合計金額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額 ④差引金額表示	C(3) N(1) N(13) N(1)	・請求または引落合計金額と取消しがあった場合の差額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・差引合計金額。 右詰め残り前「0」 1: 請求・引落金額 \geq 取消金額 2: 請求・引落金額 $<$ 取消金額
11	ダミー	C(178)	・ダミー・エリア

(250)

②-4 データ・レコード: 利息・手数料一括請求 [内訳]

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 94: 利息・手数料一括請求 (内訳)
3	同一種類データ・レコード数	N(4)	・1つの利息・手数料一括請求 (合計) レコードに続く同一種類データ・レコード (利息・手数料一括請求 (内訳)) の数を表わす。 右詰め残り前「0」
4	同一種類データ・レコード番号	N(4)	・同一種類データ・レコードのシーケンス番号 右詰め残り前「0」
5	利息・手数料内訳(1) ※(1)取引日	N(8)	・都度請求日を表わす。 YYYYMMDD (年 (西暦) - 月 - 日)
	※(2)引落請求番号	N(11)	・利息・手数料の引落請求番号を表わす。 右詰め残り前「0」
	(3)取消コード	N(1)	・当該内訳の入力種別を表わす。 0: 正常入力 9: 取消入力
	(4)請求・引落金額 ①幣種	C(3)	・請求または引落金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。
	②小数点位置	N(1)	・小数点以下桁数を表わす。
	③金額	N(13)	・引落内訳金額。 右詰め残り前「0」
	(5)利息・手数料区分	N(1)	・利息・手数料の区分を表わす。 1: 利息・手数料合算 2: 利息 3: 手数料
	(6)利息・手数料コード	N(2)	・利息または手数料の種類を表わす。別表(5)利息コード表および別表(6)手数料コード表参照。
	※(7)銀行照会番号 (銀行レファレンス)	C(16)	・銀行が任意に採番した照会用番号。 左詰め残りスペース (注) SWIFT の基準により 16 桁とした。
※(8)取引先照会番号 (取引先レファレンス)	C(32)	・取引先が任意に採番した照会用番号 (例: 手形番号等) 左詰め残りスペース (注) SWIFT の基準では 16 桁であるが、それ以上の桁数を使用している場合があるので、32 桁とした。	
6	利息・手数料内訳(2) ※(1)取引日 ※(2)引落請求番号 (3)取消コード (4)請求・引落金額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額 (5)利息・手数料区分 (6)利息・手数料コード ※(7)銀行照会番号 (銀行レファレンス) ※(8)取引先照会番号 (取引先レファレンス)	N(8) N(11) N(1) C(3) N(1) N(13) N(1) N(2) C(16) C(32)	(前項に同じ。)
7	ダミー	C(63)	・ダミー・エリア

(250)

②-5 データ・レコード: 為替予約[先物予約締結]

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 51: 為替予約(先物予約締結)
3	取消コード	N(1)	・当該データ・レコードの入力種別を表わす。 0: 正常入力 9: 取消入力
4	処理通番	N(4)	・1 連絡単位における本情報のシーケンス番号を表わす。 右詰め残り前「0」
5	銀行照会番号(銀行レファレンス)	C(16)	・銀行が採番した為替予約番号。 左詰め残りスペース
6	取引先照会番号(取引先レファレンス)	C(32)	・取引先が任意に採番した照会用番号 左詰め残りスペース
7	記帳日	N(8)	・取引の記帳日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
8	起算日	N(8)	・取引の記帳の起算日を表わす。通常は記帳日と同一であるが、その場合にも記帳日と同一年月日を記録する。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
9	取引区分	N(1)	・取引の種類を表わす。 1: 通常 2: 条件変更(注) (注)条件変更が可能な項目は項番 11、14、15、17、18 とする。変更の場合は各項目に変更後の内容を記録する。
10	売買区分	N(1)	・予約の種類を表わす。 1: 売予約 2: 買予約
11	※引渡区分	N(1)	・引渡条件を表わす。 1: 確定日渡し 2: オプション渡し
12	締結日	N(8)	・予約の締結日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
13	ダミー	C(19)	・ダミー・エリア
14	引渡開始日	N(8)	・引渡開始日を表わす。確定日払の場合は開始日と終期日を同一年月日とする。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
15	引渡終期日	N(8)	・引渡終期日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
16	予約締結金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・予約締結金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・予約締結金額。 右詰め残り前「0」
17	予約相場 (1)通貨単位 (2)小数点位置 (3)相場	N(1) N(1) N(8)	・予約する通貨の単位を表わす。 1: 1 単位 3: 100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・予約相場を表わす。 右詰め残り前「0」

18	※対価金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	<ul style="list-style-type: none"> ・予約締結金額の対価金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・対価金額。 右詰め残り前「0」
19	※対価区分	N(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・対価の種類を表わす。 1:対円貨 2:クロス取引
20	※メッセージ	C(50)	・摘要
21	ダミー	C(33)	・ダミー・エリア

(250)

②-5 データ・レコード: 為替予約[先物予約履行]

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 52: 為替予約(先物予約履行)
3	取消コード	N(1)	・当該データ・レコードの入力種別を表わす。 0: 正常入力 9: 取消入力
4	処理通番	N(4)	・1 連絡単位における本情報のシーケンス番号を表わす。 右詰め残り前「0」
5	銀行照会番号(銀行レファレンス)	C(16)	・銀行が採番した為替予約番号。 左詰め残りスペース
6	※取引先照会番号(取引先レファレンス)	C(32)	・取引先が任意に採番した照会用番号。 左詰め残りスペース
7	記帳日	N(8)	・取引の記帳日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
8	起算日	N(8)	・取引の記帳の起算日を表わす。通常は記帳日と同一であるが、その場合にも記帳日と同一年月日を記録する。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
9	取引区分	N(1)	・取引の種類を表わす。 1: 通常 3: 残高取消(注) (注)残高取消の場合、項番 13、14、17、18、19 はすべてスペース(SP)とする。
10	売買区分	N(1)	・予約の種類を表わす。 1: 売予約 2: 買予約
11	※引渡区分	N(1)	・引渡条件を表わす。 1: 確定日渡し 2: オプション渡し
12	履行金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・履行金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・履行金額。 右詰め残り前「0」
13	※適用相場 (1)通貨単位 (2)小数点位置 (3)相場	N(1) N(1) N(8)	・換算する通貨の単位を表わす。 1: 1 単位 3: 100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・適用相場を表わす。 右詰め残り前「0」
14	※対価金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・履行金額の対価金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・対価金額。 右詰め残り前「0」
15	※対価区分	N(1)	・対価の種類を表わす。 1: 対円貨 2: クロス取引

16	予約相場 (1)通貨単位 (2)小数点位置 (3)相場	N(1) N(1) N(8)	<ul style="list-style-type: none"> ・予約した通貨の単位を表わす。 1:1 単位 3:100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・当初締結した予約相場を表わす。ただし、条件変更した場合は変更後の相場とする。 右詰め残り前「0」
17	※関連取引区分	N(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・当該為替予約に関連する取引の種類を表わす。 10:輸出手形買取 20:輸入手形決済 30:輸出手形取立支払 40:仕向送金取組 50:被仕向送金支払 60:外貨預金 70:外貨貸付 99:その他
18	※関連取引銀行照会番号	C(16)	<ul style="list-style-type: none"> ・関連取引の銀行照会用番号。 左詰め残りスペース (注)SWIFT の基準により 16 桁とした。
19	※関連取引取引先照会番号	C(32)	<ul style="list-style-type: none"> ・関連取引の取引先照会用番号 左詰め残りスペース (注)SWIFT の基準では 16 桁であるが、それ以上の桁数を使用している場合があるので、32 桁とした。
20	※メッセージ	C(50)	<ul style="list-style-type: none"> ・摘要
21	ダミー	C(16)	<ul style="list-style-type: none"> ・ダミー・エリア

(250)

②-5 データ・レコード: 為替予約[先物予約残高明細]

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 53: 為替予約(先物予約残高明細)
3	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
4	処理通番	N(4)	・1 連絡単位における本体情報のシーケンス番号を表わす。 右詰め残り前「0」
5	銀行照会番号(銀行レファレンス)	C(16)	・銀行が採番した為替予約番号。 左詰め残りスペース
6	※取引先照会番号(取引先レファレンス)	C(32)	・取引先が任意に採番した照会用番号 左詰め残りスペース
7	基準日	N(8)	・予約残高の基準日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
8	※基準時刻	N(4)	・予約残高の基準時刻を表わす。 HHMM(時-分)
9	ダミー	C(4)	・ダミー・エリア
10	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア
11	売買区分	N(1)	・予約の種類を表わす。 1: 売予約 2: 買予約
12	※引渡区分	N(1)	・引渡条件を表わす。 1: 確定日渡し 2: オプション渡し
13	締結日	N(8)	・予約の締結日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
14	※当初予約締結金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・当初の予約締結金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・当初予約締結金額。 右詰め残り前「0」
15	引渡開始日	N(8)	・引渡開始日を表わす。確定日払の場合は開始日と終期日を同一年月日とする。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
16	引渡終期日	N(8)	・引渡終期日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
17	予約残高 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・予約残高を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・残高。 右詰め残り前「0」
18	予約相場 (1)通貨単位 (2)小数点位置 (3)相場	N(1) N(1) N(8)	・予約した通貨の単位を表わす。 1: 1 単位 3: 100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・当初締結した予約相場を表わす。ただし、条件変更した場合は変更後の相場とする。 右詰め残り前「0」

19	※対価金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・予約残高の対価金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・対価金額。 右詰め残り前「0」
20	※対価区分	N(1)	・対価の種類を表わす。 1:対円貨 2:クロス取引
21	※メッセージ	C(50)	・摘要
22	ダミー	C(33)	・ダミー・エリア

(250)

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	データ・レコード件数	N(6)	・データ・レコードの総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	ダミー	C(243)	・ダミー・エリア

(250)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	レコード総件数	N(6)	・レコードの総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	ダミー	C(243)	・ダミー・エリア

(250)

別表(1)弊種コード表(SWIFTコードによる代表例)

(編注:付録 6.参照)

別表(2) 相場コード表

(編注:付録 7.-1 参照)

別表(3) テナー・コード表

(編注:付録 7.-2 参照)

別表(4) 預金種目コード表

(編注:付録 3.参照)

別表(5) 利息コード表

(編注:付録 7.-3 参照)

別表(6) 手数料コード表

(編注:付録 7.-4 参照)

別添 コード表

(編注:付録 1.参照)

28. 外国為替取引明細(非会計性)レコード・フォーマット

(1) 説明

① 取引先(企業)に対し、外国為替取引のうち、非会計性取引の明細を銀行から通知する場合に使用する。

② 対象取引

- A. 輸出信用状到着案内
- B. 輸入船積書類到着案内
- C. 被仕向送金到着案内
- D. 輸出手形経過情報

③ データ・レコードの構成

A. 各々の取引明細を通知するため、データ・レコードを次のとおり分け、その組合せによって1つの取引に関するフォーマットを構成する。

- (A) 固定レコード: 従来のフォーマットと同様に項目を固定したレコード。
- (B) 可変レコード: 項目の ID とレングスを頭に持ち、必要な場合にのみ記録される可変項目から成るレコード。文字情報が主要な内容となる。
- (C) 利息・手数料: 利息・手数料の明細を持つレコード。各取引に共通。

B. 組合せとしては、a.固定レコードのみ、b.固定レコード+可変レコード、c.固定レコード+利息・手数料、d.固定レコード+可変レコード+利息・手数料の4種類がある。ただし、輸出手形経過情報の場合は、c および d の組合せはない。

④ レコードのシーケンス・フロー

各レコードのシーケンス・フローは下記のとおりとする。

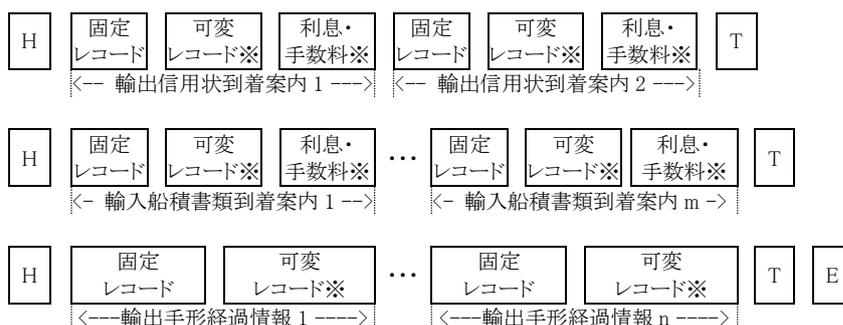
A. 取引が1個の場合(例:輸出信用状到着案内1通の通知)



B. 同一取引が複数の場合(例:複数の輸出信用状到着案内の通知)



C. 複数種類の取引の場合(例:輸出信用状到着案内、輸入船積書類到着案内、輸出手形経過情報)



⑤ 処理通番の付与方法について

固定レコード中の処理通番の付与方法は外国為替取引明細(会計性)レコード・フォーマット(1)説明⑤と同様とする。

⑥ 可変レコードの使用方法

各可変レコードは、項目 6.まで(16桁目まで)を固定項目とし、17桁目以降を可変項目とする。可変レコードは可変項目の数により複数となりうる。可変レコードの使用方法については、別表1の「可変レコードの使用方法(輸入船積書類到着案内の例)」を参考とされたい。可変項目の一覧表は別表2のとおりである。

⑦ 各種コード表は外国為替取引明細(会計性)レコード・フォーマットと共通とする(付録1、3、6、7参照)。

別表 1 可変レコードの使用方法(輸入船積書類到着案内の例)

項番	項目名	桁数
1	データ区分	N(1)
2	データ・レコード区分	N(2)
3	同一種類データ・レコード数	N(4)
4	同一種類データ・レコード番号	N(4)
5	可変項目数	N(2)
6	可変項目有効桁数	N(3)
「DLC021」		6 桁
書類引渡条件		21 桁
「BRW107」		6 桁
銀行名・支店名・住所		107 桁
「MCD028」		6 桁
商品名		28 桁
「ORG016」		6 桁
原産地		16 桁
「DFT001」		6 桁
DRAFT 通数		1 桁
「INV001」		6 桁
INVOICE 通数		1 桁
「BLD005」		6 桁
B/L 通数		5 桁
「IPC001」		6 桁
INSURANCE POLICY 通数		1 桁
ダミー		6 桁

↓ 17 桁目以降は可変項目

(250)

- ・項番 3「同一種類データ・レコード数」は1つの固定レコードに続く可変レコードを表わす。
- ・項番 4「同一種類データ・レコード番号」は当該レコードのシーケンス番号。
- ・項番 5「可変項目数」は当該レコード中の可変項目数を表わす。上記の例では「8」。
- ・項番 6「可変項目有効桁数」は当該レコード中の可変項目の有効桁数の合計。上記の例では「228」。
- ・17 桁目以降は可変項目とする。可変項目は頭に ID(英字 3 桁)およびレンジ(数字 3 桁)(合計 6 桁)を持ち、その後に内容を記録する。
- ・可変項目の記録順序は項番および項番内の記載順序にかかわらず、任意とする。
- ・各レコードの最後の余白はダミー(スペース)とする。

別表 2 可変項目一覧表

(編注:付録 5.参照)

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 26:外国為替取引明細(非会計性)
3	コード区分	N(1)	・使用コード区分を表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	取引情報区分	N(3)	・取引情報の区分を表わす。 620:輸出信用状到着案内 630:輸入船積書類到着案内 660:被仕向送金到着案内 670:輸出手形経過情報
5	作成日	N(8)	・データの作成日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
6	※連絡日	N(8)	・連絡日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
7	※連絡回数	N(2)	・連絡日における連絡回数を表わす。 右詰め残り前「0」
8	ダミー	C(8)	・ダミー・エリア
9	ダミー	C(8)	・ダミー・エリア
10	銀行コード	N(4)	・取引銀行コードを表わす。 統一金融機関番号
11	銀行名	C(15)	・取引銀行名 左詰め残りスペース
12	※支店(取次店)コード	N(3)	・取次支店コードを表わす。 統一店番号
13	※支店(取次店)名	C(15)	・取次支店名 左詰め残りスペース
14	※支店(取扱店)コード	N(3)	・取扱支店コードを表わす。 統一店番号
15	※支店(取扱店)名	C(15)	・取扱支店名 左詰め残りスペース
16	会社コード	N(10)	・銀行が採番した取引先の会社コードを表わす。 右詰め残り前「0」
17	会社名	C(70)	・会社名 左詰め残りスペース カナ、数字、英字を使用する。事業所名、出張所名等を含めてもよい。
18	ダミー	C(74)	・ダミー・エリア

(250)

②-1 データ・レコード 輸出信用状到着案内(固定レコード)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 02:輸出信用状到着案内(固定レコード)
3	データ構成区分	N(2)	・後続データ・レコードの構成を表わす。 01:固定レコードのみ 02:固定レコード+可変レコード 03:固定レコード+利息・手数料 04:固定レコード+可変レコード+利息・手数料
4	取消コード	N(1)	・当該データ・レコードに係る後続データ・レコードの入力種別を表わす。 0:正常入力 9:取消入力
5	処理通番	N(4)	・1連絡単位における本情報のシーケンス番号を表わす。 右詰め残り前「0」
6	※銀行照会番号(銀行レファレンス)	C(16)	・銀行が任意に採番した照会用番号。 左詰め残りスペース (注)SWIFTの基準により16桁とした。
7	接受日	N(8)	・信用状の接受日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
8	※発行日	N(8)	・信用状の発行日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
9	種別	N(1)	・信用状の種別を表わす。 1:ORIGINAL 2:AMENDMENT 3:PRELIMINARY ADVICE 9:OTHERS
10	※AMENDMENT 区分	N(1)	・AMENDMENT の場合、その区分を表わす。 1:金額変更 2:有効期限変更 3:金額・有効期限変更 4:受益者変更 5:取消依頼 9:その他
11	※AMENDMENT 回数	N(3)	・AMENDMENT の回数を表わす。 右詰め残り前「0」
12	※金額変更内容区分	N(1)	・金額変更の場合、その区分を表わす。 1:増額 2:減額
13	※有効期限内容区分	N(1)	・有効期限変更の場合、その区分を表わす。 1:延長 2:短縮
14	信用状番号	C(32)	・信用状に記載された番号 左詰め残りスペース
15	信用状金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・信用状金額を表わす。金額変更の場合は、変更後の金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・信用状金額。 右詰め残り前「0」

16	※信用状増減金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	<ul style="list-style-type: none"> ・金額変更の場合、信用状の増減金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・信用状増減金額。 右詰め残り前「0」
17	有効期限	N(8)	<ul style="list-style-type: none"> ・信用状の有効期限を表わす。有効期限変更の場合は、変更後の期限を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
18	※リストリクト有無	N(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・手形買取銀行のリストリクトの有無を表わす。 0:なし 1:あり
19	※確認有無	N(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・信用状の確認の有無を表わす。 0:UNCONFIRMED 1:CONFIRMED BY THE THIRD BANK 2:CONFIRMED BY US
20	※通知手数料負担者	N(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・通知手数料の負担者を表わす。 1:貴社 2:発行銀行 9:その他
21	※確認手数料負担者	N(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・確認手数料の負担者を表わす。 1:貴社 2:発行銀行 9:その他
22	※接受方法	N(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・信用状の接受方法を表わす。 1:CABLE 2:MAIL(銀行宛) 3:MAIL(貴社宛)
23	ダミー	C(118)	<ul style="list-style-type: none"> ・ダミー・エリア

(250)

②-2 データ・レコード 輸出信用状到着案内(可変レコード)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 62:輸出信用状到着案内(可変レコード)
3	同一種類データ・レコード数	N(4)	・1つの輸出信用状到着案内(固定レコード)に続く同一種類データ・レコード(輸出信用状到着案内の可変レコード)の数を表わす。 右詰め残り前「0」
4	同一種類データ・レコード番号	N(4)	・同一種類のデータ・レコードのシーケンス番号 右詰め残り前「0」
5	可変項目数	N(2)	・当該レコード中の項番7～17の可変項目数。 右詰め残り前「0」
6	可変項目有効桁数	N(3)	・当該レコード中の項番7～17の可変項目の有効桁数合計。 右詰め残り前「0」
7	可 変 項 目	※APPLICANT	・APT999(140)
8		※商品名	・MCD999(80)
9		※商品名カット/修正有無情報	・MCT001 0:なし 1:あり
10		※仕向地	・PTO999(70)
11		※船積情報(期限)(注1)	・SHP999(195)
12		※発行銀行情報	・BIW999(177) 銀行名・支店名・住所 ・BIN999(72) 銀行名 ・BIB999(35) 支店名 ・BIA999(70) 住所
13		※確認銀行情報	・BFW999(177) 銀行名・支店名・住所 ・BFN999(72) 銀行名 ・BFB999(35) 支店名 ・BFA999(70) 住所
14		※テナー/手形支払人(注1)	・TDE999(140)
15		※AMOUNT SPECIFICATIONS	・ASP999(140)
16		※AMENDMENT 内容	・nAD999(65) (n=1,2,3)
17	※チャージ情報(注1)	・CHG999(210)	
18	ダミー	残り 桁数	・ダミー・エリア

(250)

(注1) SWIFT 経由で受信された信用状に記載されていた場合にセットすることができる。

(注2) 可変項目の各項目の記録順序は任意とする。

999 には当該項目の有効文字桁数を記録する。

()の数字は当該項目の最大桁数。

他の可変レコードの可変項目についても同じ。

②-3 データ・レコード 輸入船積書類到着案内(固定レコード)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 03:輸入船積書類到着案内(固定レコード)
3	データ構成区分	N(2)	・後続データ・レコードの構成を表わす。 01:固定レコードのみ 02:固定レコード+可変レコード 03:固定レコード+利息・手数料 04:固定レコード+可変レコード+利息・手数料
4	取消コード	N(1)	・当該データ・レコードに係る後続データ・レコードの入力種別を表わす。 0:正常入力 9:取消入力
5	処理通番	N(4)	・1連絡単位における本情報のシーケンス番号を表わす。 右詰め残り前「0」
6	※銀行照会番号(銀行レファレンス)	C(16)	・銀行が任意に採番した照会用番号。 左詰め残りスペース (注)SWIFTの基準により16桁とした。
7	接受日	N(8)	・書類の接受日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
8	※接受区分	N(1)	・書類の接受区分を表わす。 1:ORIGINAL 2:T. T. REIMBURSEMENT 3:REVISED
9	※書類引渡条件	N(1)	・書類の引渡条件を表わす。 1:D/P 2:D/A 3:T/R 4:FREE OF PAYMENT 5:UNDERTAKING 6:PROMISSORY NOTE 9:OTHERS(注)
10	※手形振出日	N(8)	・手形の振出日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
11	※手形振出人名・住所(1)	C(90)	・手形振出人名・住所を表わす。本欄で不足する場合は、可変レコードの項番7「固定部補足情報の手形振出人名・住所(2)[DWR999(70)]」を使用する。振出人名・住所を(1)、(2)に分けて使用することもできる。
12	※手形種別区分	N(1)	・手形の種別を表わす。 1:L/C付 2:L/Cなし 9:その他(注)
13	※ユーザンス・コード	N(2)	・ユーザンス区分を表わす。 10:AT SIGHT 20:自行ユーザンス 30:外銀ユーザンス 40:シッパーズ・ユーザンス 90:その他(注)
14	※対外決済日	N(8)	・対外決済日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
15	取引金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・手形の決済金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・取引金額。 右詰め残り前「0」

16	※手形金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	<ul style="list-style-type: none"> ・決済金額が手形金額の一部の場合に、手形金額全額を記録する。全額支払の場合はスペース(SP)とする。 ・幣種を表わす。別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・手形金額。右詰め残り前「0」
17	※手形テナー (1)表示区分 (2)日数または月数 (3)テナー	C(1) N(3) C(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・手形テナーを表わす。 ・期間の表示方法を表わす。 D:DAY M:MONTH X:OTHERS ・日数または月数を表わす。右詰め残り前「0」。OTHERS の場合は「XXX」とする。 ・テナーを表わす。 BL:AFTER B/L BF:FROM B/L BE:AFTER DATE OF BILL OF EXCHANGE CC:AFTER CUSTOMS CLEARANCE OF GOODS FD:AFTER GOODS PASS FOOD AND DRUG ADMINISTRATION FP:FIRST PRESENTATION GA:AFTER GOODS' ARRIVAL ID:AFTER INVOICE DATE ST:AFTER SIGHT XX:OTHERS(注)
18	※期日	N(8)	<ul style="list-style-type: none"> ・手形の期日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
19	※買取日	N(8)	<ul style="list-style-type: none"> ・買取日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
20	※船積日	N(8)	<ul style="list-style-type: none"> ・船積日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
21	※建値	N(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・建値を表わす。 1:CIF 2:C&I 3:C&F 4:FOB 9:OTHERS
22	ダミー	C(36) (250)	<ul style="list-style-type: none"> ・ダミー・エリア

(注) 「OTHERS」「その他」の場合には、その内容を可変レコードの項番 7「固定部補足情報」に記録することができる。

②-4 データ・レコード 輸入船積書類到着案内(可変レコード)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 63: 輸入船積書類到着案内(可変レコード)
3	同一種類データ・レコード数	N(4)	・1つの輸入船積書類到着案内(固定レコード)に続く同一種類データ・レコード(輸入船積書類到着案内の可変レコード)の数を表わす。 右詰め残り前「0」
4	同一種類データ・レコード番号	N(4)	・同一種類のデータ・レコードのシーケンス番号 右詰め残り前「0」
5	可変項目数	N(2)	・当該レコード中の項番7～11の可変項目数。 右詰め残り前「0」
6	可変項目有効桁数	N(3)	・当該レコード中の項番7～11の可変項目の有効桁数合計。 右詰め残り前「0」
7	可 変 項 目	※固定部補足情報	・DLC999(40) 書類引渡条件 (OTHERS) ・DWR999(70) 手形振出人名・住所 (2) ・TNR999(35) 手形種別区分 (その他) ・USC999(35) ユーザンス・コード (その他) ・DTN999(35) 手形テナー (OTHERS) ・INT999(70) THEIR INTEREST 計算情報 ・nLC999(16) 信用状番号(n=1,2,3,4) ・nUA999(19) 信用状使用金額(幣種、小数点位置、金額)(n=1,2,3,4)
8		※送付銀行情報	・BRW999(177) 銀行名・支店名・住所 ・BRN999(72) 銀行名 ・BRB999(35) 支店名 ・BRA999(70) 住所 ・BRF999(35) 銀行 REFERENCE
9		※書類内容	・MCD999(80) 商品名 ・ORG999(35) 原産地 ・PFR999(70) 積出港 ・PTO999(70) 荷揚港 ・VSL999(35) 船名 ・BLN999(70) B/L No.
10		※書類通数	・DFT999(10) DRAFT ・INV999(10) INVOICE ・BLD999(10) B/L ・AWB999(10) AIR WAYBILL ・IPC999(10) INSURANCE POLICY ・INS999(10) CERTIFICATE OF INSPECTION ・WMC999(10) WEIGHT AND MEASUREMENT LIST ・PKG999(10) PACKING LIST ・ORC999(10) CERTIFICATE OF ORIGIN ・CER999(10) CERTIFICATE ・STA999(10) STATEMENT ・OTH999(10) OTHERS
11		※その他情報	・ACT999(70) FOR ACCOUNT OF ・ILN999(70) IMPORT LICENCE No. ・nDS999(70) DISCREPANCIES (n=1,2,3,4,5,6,7,8,9) ・nSP999(70) SPECIAL INSTRUCTIONS (n=1,2,3,4,5,6,7,8,9) ・BAW999(177) REIMBURSEMENT BANK 銀行名・支店名・住所 ・BAN999(72) REIMBURSEMENT BANK 銀行名 ・BAB999(35) REIMBURSEMENT BANK 支店名 ・BAA999(70) REIMBURSEMENT BANK 住所
12	ダミー	残り桁数	・ダミー・エリア

(250)

②-5 データ・レコード 被仕向送金到着案内(固定レコード)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 06:被仕向送金到着案内(固定レコード)
3	データ構成区分	N(2)	・後続データ・レコードの構成を表わす。 01:固定レコードのみ 02:固定レコード+可変レコード 03:固定レコード+利息・手数料 04:固定レコード+可変レコード+利息・手数料
4	取消コード	N(1)	・当該データ・レコードに係る後続データ・レコードの入力種別を表わす。 0:正常入力 9:取消入力
5	処理通番	N(4)	・1連絡単位における本情報のシーケンス番号を表わす。 右詰め残り前「0」
6	※銀行照会番号(銀行レファレンス)	C(16)	・銀行が任意に採番した照会用番号。 左詰め残りスペース (注)SWIFTの基準により16桁とした。
7	※仕向日	N(8)	・送金の仕向日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
8	※接受日	N(8)	・非仕向送金の接受日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
9	※送金種類区分	N(1)	・送金の種類を表わす。 1:電信送金 2:郵便送金 9:その他
10	※バリュー日	N(8)	・バリュー日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
11	金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・被仕向送金金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・被仕向送金金額。 右詰め残り前「0」
12	依頼人名	C(140)	・送金依頼人名を表わす。 左詰め残りスペース
22	ダミー	C(40)	・ダミー・エリア

(250)

②-6 データ・レコード 被仕向送金到着案内(可変レコード)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 66: 被仕向送金到着案内(可変レコード)
3	同一種類データ・レコード数	N(4)	・1つの被仕向送金到着案内(固定レコード)に続く同一種類データ・レコード(被仕向送金到着案内の可変レコード)の数を表わす。 右詰め残り前「0」
4	同一種類データ・レコード番号	N(4)	・同一種類のデータ・レコードのシーケンス番号。 右詰め残り前「0」
5	可変項目数	N(2)	・当該レコード中の項番 7～16 の可変項目数。 右詰め残り前「0」
6	可変項目有効桁数	N(3)	・当該レコード中の項番 7～16 の可変項目の有効桁数合計。 右詰め残り前「0」
7	可 変 項 目	※送金銀行情報	・BSW999(177) 銀行名・支店名・住所 ・BSN999(72) 銀行名 ・BSB999(35) 支店名 ・BSA999(70) 住所
8		※送金銀行照会番号	・BSF999(32)
9		※送金受取人	・RBN999(40)
10		※送金受取人口座番号	・ACN999(34)
11		※メッセージ	・MSG999(140)
12		※原取引金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)
13	※換算相場 (1)通貨単位 (2)小数点位置 (3)相場	N(1) N(1) N(8)	・EXR999(10) ・換算する通貨の単位を表わす。 1:1 単位 3:100 単位 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算相場を表わす。 右詰め残り前「0」
14	※手数料負担区分	C(3)	・DEC999(3) ・「OUR」「BEN」「SHA」のいずれかをセット。 OUR: 全て ordering customer より徴収 BEN: 全て beneficiary customer より徴収 SHA: sender 側、receiver 側それぞれ徴収
15	※送金銀行手数料 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・nSC999(19) (n=1,2,3,4,5,6,7,8,9) ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・送金銀行手数料 右詰め残り前「0」
16	※受信銀行手数料 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・REC999(19) ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・受信銀行手数料 右詰め残り前「0」
17	ダミー	残り 桁数	・ダミー・エリア

(250)

②-7 データ・レコード 輸出手形経過情報(固定レコード)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 07: 輸出手形経過情報(固定レコード)
3	データ構成区分	N(2)	・後続データ・レコードの構成を表わす。 01: 固定レコードのみ 02: 固定レコード+可変レコード
4	取消コード	N(1)	・当該データ・レコードに係る後続データ・レコードの入力種別を表わす。 0: 正常入力 9: 取消入力
5	処理通番	N(4)	・1連絡単位における本情報のシーケンス番号を表わす。 右詰め残り前「0」
6	※銀行照会番号(銀行レファレンス)	C(16)	・銀行が任意に採番した照会用番号。 左詰め残りスペース (注)SWIFTの基準により16桁とした。
7	※取引先照会番号(取引先レファレンス)	C(32)	・原手形について取引先が既に付番した照会用番号。 左詰め残りスペース
8	※原手形金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・原手形金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・原手形金額。 右詰め残り前「0」
9	※原手形買取日	N(8)	・原手形の買取日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
10	※手形テナー (1)表示区分 (2)日数または月数 (3)テナー	C(1) N(3) C(2)	・原手形テナーを表わす。 ・期間の表示方法を表わす。 D: DAY M: MONTH X: OTHERS ・日数または月数を表わす。 右詰め残り前「0」。OTHERSの場合は「XXX」とする。 ・テナーを表わす。 BL: AFTER B/L BF: FROM B/L BE: AFTER DATE OF BILL OF EXCHANGE CC: AFTER CUSTOMS CLEARANCE OF GOODS FD: AFTER GOODS PASS FOOD AND DRUG ADMINISTRATION FP: FIRST PRESENTATION GA: AFTER GOODS' ARRIVAL ID: AFTER INVOICE DATE ST: AFTER SIGHT XX: OTHERS(注)
11	※推定期日	N(8)	・原手形テナーに基づく推定期日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
12	ダミー	C(9)	・ダミー・エリア
13	※信用状番号	C(32)	・信用状に記載された番号。 左詰め残りスペース
14	※発信日	N(8)	・先方の発信日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
15	入力日	N(8)	・入力日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)

②-8 データ・レコード 輸出手形経過情報(可変レコード)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 67: 輸出手形経過情報(可変レコード)
3	同一種類データ・レコード数	N(4)	・1つの輸出手形経過情報(固定レコード)に続く同一種類データ・レコード(輸出手形経過情報の可変レコード)の数を表わす。 右詰め残り前「0」
4	同一種類データ・レコード番号	N(4)	・同一種類のデータ・レコードのシーケンス番号 右詰め残り前「0」
5	可変項目数	N(2)	・当該レコード中の項番7～9の可変項目数。 右詰め残り前「0」
6	可変項目有効桁数	N(3)	・当該レコード中の項番7～9の可変項目の有効桁数合計。 右詰め残り前「0」
7	可変項目 ※支払/引受拒絶銀行		・BIW999(177) 銀行名・支店名・住所 ・BIN999(72) 銀行名 ・BIB999(35) 支店名 ・BIA999(70) 住所 ・BIF999(35) 銀行 REFERENCE No.
8	※バイヤー(手形支払人)名・住所		・PCN999(160)
9	※その他情報		・OTH999(100)
10	ダミー	残り桁数	・ダミー・エリア

(250)

②-9 データ・レコード 利息・手数料

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 92:利息・手数料
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・1つの固定レコードに続く同一種類データ・レコード(利息・手数料)の数を表わす。 右詰め残り前「0」
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・同一種類データ・レコードのシーケンス番号 右詰め残り前「0」
5	利息		
	(1)取引区分	N(2)	・利息の種類を表わす。別表(5)利息コード表参照。
	※(2)利率・料率区分	N(1)	・利率・料率の区分を表わす。 0:定額。この場合、(3)~(8)はスペース(SP)とする。 1:利率 2:料率 3:分数表示
	※(3)利率・料率	N(8)	・利率は年利率を小数点以下5桁でセットする。 <u>XXX XXXXX</u> (例:099.99999%) ・料率を外貨1に対する円貨で表わす場合は小数点以下5桁でセットする。 <u>XXX XXXXX</u> (例:999.99999円) ・利率を分数で表わす場合は、上3桁を分子、下5桁を分母とする。 <u>XXX XXXXX</u> (例:「00300064」=3/64) (分子)(分母)
	※(4)年日数区分	N(1)	・年利率算出の場合、分母となる年日数の区分を表わす。 1:365日 2:360日
	※(5)利息計算区分	N(1)	・利息計算方法の区分を表わす。 1:両端入れ 2:端入れ
	※(6)利息日数	N(4)	・利息の計算日数を表わす。 右詰め残り前「0」
	※(7)利息始期	N(8)	・利息計算の始期を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
	※(8)利息終期	N(8)	・利息計算の終期を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
	※(9)利息外貨額		
	①幣種	C(3)	・支払内訳金額を表わす。 ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。
②小数点位置	N(1)	・小数点以下桁数を表わす。	
③金額	N(12)	・利息外貨額。 右詰め残り前「0」	
※(10)換算相場			
①通貨単位	N(1)	・換算する通貨の単位を表わす。 1:1単位 3:100単位	
②小数点位置	N(1)	・小数点以下桁数を表わす。	
③相場	N(8)	・換算相場を表わす。 右詰め残り前「0」	
※(11)端数処理	N(1)	・端数処理方法の区分を表わす。 1:切捨て 2:切上げ 3:四捨五入 9:その他	

	※(12)利息円貨額	N(12)	・利息の円貨額を表わす。 右詰め残り前「0」
	※(13)徴求区分	N(1)	・利息の徴求区分を表わす。 1:即時徴求 2:即時(本体外貨合算)徴求 3:別途徴求(当日) 4:別途徴求(後日) 9:その他
6	手数料(1) (1)手数料区分	N(2)	・手数料の種類を表わす。別表(6)手数料コード表参照。
	※(2)利率・料率区分	N(1)	・利率・料率の区分を表わす。 0:定額。この場合、(3)~(5)はスペース(SP)とする。 1:利率 2:料率 3:分数表示
	※(3)利率・料率	N(8)	・利率は年利率を小数点以下 5 桁でセットする。 XXX XXXXX (例:099.99999%) ・料率を外貨 1 に対する円貨で表わす場合は小数点以下 5 桁でセットする。 XXX XXXXX (例:999.99999 円) ・料率を分数で表わす場合は、上 3 桁を分子、下 5 桁を分母とする。 XXX XXXXX (例:「00300064」=3/64) (分子) (分母)
	※(4)手数料外貨額 ①幣種	C(3)	・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。
	②小数点位置	N(1)	・小数点以下桁数を表わす。
	③金額	N(10)	・手数料外貨額。 右詰め残り前「0」
	※(5)換算相場 ①通貨単位	N(1)	・換算する通貨の単位を表わす。 1:1 単位 3:100 単位
②小数点位置	N(1)	・小数点以下桁数を表わす。	
③相場	N(8)	・換算相場を表わす。 右詰め残り前「0」	
※(6)手数料円貨額	N(10)	・手数料の円貨額を表わす。 右詰め残り前「0」	
※(7)徴求区分	N(1)	・手数料の徴求区分を表わす。 1:即時徴求 2:即時(本体外貨合算)徴求 3:別途徴求(当日) 4:別途徴求(後日) 9:その他	
7	手数料(2) (1)手数料区分	N(2)	(前項に同じ。)
	※(2)利率・料率区分	N(1)	
	※(3)利率・料率	N(8)	
	※(4)手数料外貨額 ①幣種	C(3)	
	②小数点位置	N(1)	
	③金額	N(10)	
	※(5)換算相場 ①通貨単位	N(1)	
②小数点位置	N(1)		
③相場	N(8)		
※(6)手数料円貨額	N(10)		
※(7)徴求区分	N(1)		

8	手数料(3) (1)手数料区分 ※(2)利率・料率区分 ※(3)利率・料率 ※(4)手数料外貨額 ①幣種 ②小数点位置 ③金額 ※(5)換算相場 ①通貨単位 ②小数点位置 ③相場 ※(6)手数料円貨額 ※(7)徴収区分	N(2) N(1) N(8) C(3) N(1) N(10) N(1) N(1) N(8) N(10) N(1)	(前項に同じ。)
9	ダミー	C(32)	・ダミー・エリア

(250)

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	データ・レコード件数	N(6)	・データ・レコードの総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	ダミー	C(243)	・ダミー・エリア

(250)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	レコード総件数	N(6)	・レコードの総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	ダミー	C(243)	・ダミー・エリア

(250)

29. 外国為替関連情報レコード・フォーマット

(1) 説明

- ① 取引先(企業)に対し、外国為替関連情報を銀行から通知する場合に使用する。
- ② 対象情報
 - A. 外国為替公示相場
- ③ データ・レコードの種類: 外国為替公示相場
- ④ レコードのシーケンス・フロー



- ⑤ 各種コード表は外国為替取引明細(会計性)レコード・フォーマットと共通とする(付録 1.、3.、6.、7.参照)。

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 27:外国為替関連情報
3	コード区分	N(1)	・使用コード区分を表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	取引情報区分	N(3)	・取引情報の区分を表わす。 010:外国為替公示相場
5	作成日	N(8)	・データ作成日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
6	※連絡日	N(8)	連絡日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
7	※連絡回数	N(2)	・連絡日における連絡回数を表わす。 右詰め残り前「0」
8	基準日	N(8)	・連絡する情報の基準日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
9	ダミー	C(8)	・ダミー・エリア
10	銀行コード	N(4)	・取引銀行コードを表わす。 統一金融機関番号
11	銀行名	C(15)	・取引銀行名 左詰め残りスペース
12	※支店(取次店)コード	N(3)	・取次支店コードを表わす。 統一店番号
13	※支店(取次店)名	C(15)	・取次支店名 左詰め残りスペース
14	※支店(取扱店)コード	N(3)	・取扱支店コードを表わす。 統一店番号
15	※支店(取扱店)名	C(15)	・取扱支店名 左詰め残りスペース
16	会社コード	N(10)	・銀行が採番した取引先の会社コードを表わす。 右詰め残り前「0」
17	会社名	C(70)	・会社名 左詰め残りスペース カナ、数字、英字を使用する。事業所名、出張所名等を含めてもよい。
18	ダミー	C(74)	・ダミー・エリア

(250)

②-1 データ・レコード 外国為替公示相場

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 01: 外国為替公示相場
3	処理通番	N(4)	・1 連絡単位における本情報のシーケンス番号を表わす。 右詰め残り前「0」
4	※公示回数	N(1)	・公示の回数を表わす。
5	※公示時刻	N(6)	・公示時刻を表わす。 HHMMSS(時-分-秒)
6	相場	(1)幣種	C(3) ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。
		(2)通貨単位	N(1) ・換算する通貨の単位を表わす。 1:1 単位 3:100 単位
		(3)小数点位置	N(1) ・小数点以下桁数を表わす。
		(4)電信売相場	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(5)アクセプタンス相場	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(6)現金売相場	N(8) 右詰め残り前「0」
		(7)電信買相場	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(8)L/C 付一覽払輸出形買相場	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(9)現金買相場	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(10)L/C なし輸出手形買相場	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(11)L/C 付ユーザンス相場(30日)	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(12)L/C 付ユーザンス相場(60日)	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(13)L/C 付ユーザンス相場(90日)	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(14)L/C 付ユーザンス相場(120日)	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(15)L/C 付ユーザンス相場(150日)	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(16)L/C 付ユーザンス相場(180日)	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(17)L/C 付ユーザンス相場(180日超)	N(8) 右詰め残り前「0」
7	相場	(1)幣種	C(3) ・幣種を表わす。 別表(1)幣種コード表参照。
		(2)通貨単位	N(1) ・換算する通貨の単位を表わす。 1:1 単位 3:100 単位
		(3)小数点位置	N(1) ・小数点以下桁数を表わす。
		(4)電信売相場	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(5)アクセプタンス相場	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(6)現金売相場	N(8) 右詰め残り前「0」
		(7)電信買相場	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(8)L/C 付一覽払輸出形買相場	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(9)現金買相場	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(10)L/C なし輸出手形買相場	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(11)L/C 付ユーザンス相場(30日)	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(12)L/C 付ユーザンス相場(60日)	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(13)L/C 付ユーザンス相場(90日)	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(14)L/C 付ユーザンス相場(120日)	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(15)L/C 付ユーザンス相場(150日)	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(16)L/C 付ユーザンス相場(180日)	N(8) 右詰め残り前「0」
		※(17)L/C 付ユーザンス相場(180日超)	N(8) 右詰め残り前「0」
8	ダミー	C(2)	・ダミー・エリア

(250)

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	データ・レコード件数	N(6)	・データ・レコードの総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	ダミー	C(243)	・ダミー・エリア

(250)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	レコード総件数	N(6)	・レコードの総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	ダミー	C(243)	・ダミー・エリア

(250)

30. 外国送金依頼レコード・フォーマット

(1) 説明

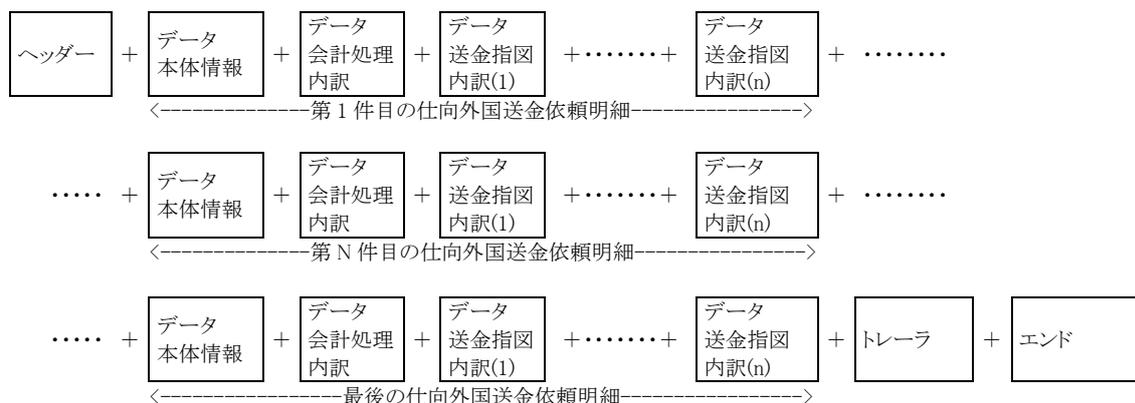
① 取引先(企業)から仕向外国送金依頼を銀行へ依頼する場合に使用する。

② ファイル構成およびシーケンス・フロー

A. 本ファイルは、ヘッダー・レコード/データ・レコード/トレーラ・レコード/エンド・レコードで構成され、1つのヘッダー・レコードの後には、同一依頼人、同一送金指定日、同一仕向銀行・支店のデータ・レコードが複数個続く。

データ・レコードは、本体情報、会計処理内訳、送金指図内訳が連続し、これら3つのデータ・レコードで一件の仕向外国送金依頼明細を構成する。

本体情報および会計処理内訳は、一件の仕向外国送金依頼明細にそれぞれ1つセットされる。送金指図内訳は、依頼内容に応じて複数個となる場合がある。その場合の項目数・データ長桁数および各々のデータシーケンスは、当該レコードの最初の部分に表される。



B. コード表

データ・レコードのうち、送金指図内訳に記載する文字は、A～Zの英大文字26種類、0～9の数字10種類、SP(スペース)、記号10種類(/-?: () . , '+)のみを許容する(別表1参照)。

また、幣種コードは別表2の「幣種コード表」、国際収支項目の使用コードは別表3の「国際収支項目番号コード表」に従う。

C. 可変レコードの使用法

可変レコードの使用法は以下のとおりとする。

- a. データ・レコード「送金指図内訳」は可変レコードであり、項番1から項番6(16桁)までは固定項目、項番7(17桁)以降は可変項目となっている。
- b. 各可変項目の構成は次の通り。
 - (イ) ID(英字3桁)
 - (ロ) レングス(数字3桁)
 - (ハ) データ内容(max XXX)

(例)銀行名

BAN 012 ZENKOKU-BANK
ID LENGTH データ内容(12桁)

- c. 最大桁数は、データ内容の最大長を表わし、ID・レングスは含まない。
- b. 可変項目の記録順序は、17桁目以降であれば、項番および項番内の記載順序にかかわらず、任意とする。
- e. 記録が任意である可変項目を省略する場合には、ID、レングスともに省略する。

(2) レコードの内容

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 35:外国送金依頼
3	コード区分	N(1)	・使用コード区分を表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	送金依頼人コード	N(10)	・銀行の採番した送金依頼人のコードを表わす。 右詰め残り前「0」
5	※送金依頼人名	C(40)	・送金依頼人名を表わす。 左詰め残りスペース(付録2.参照)
6	送金指定日	N(4)	・送金の実行日を表わす。 MMDD(月-日)
7	仕向銀行コード	N(4)	・取引銀行コードを表わす。 統一金融機関番号
8	※仕向銀行名	C(15)	・取引銀行名 左詰め残りスペース
9	仕向支店(取扱店)コード	N(3)	・仕向取扱店コードを表わす。 統一店番号
10	※仕向支店(取扱店)名	C(15)	・仕向取扱支店名 左詰め残りスペース
11	ダミー	C(155)	・ダミー・エリア

(250)

②-1 データ・レコード 本体情報

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:ヘッダー・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 01:本体情報
3	処理通番	N(4)	・1 連絡単位における本情報のシーケンス番号を表わす。 右詰め残り前「0」
4	※取引先照会番号	C(16)	・任意に採番した照会番号を表わす。 左詰め残りスペース
5	# 送金金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・送金の実行金額を表わす。 ・幣種を表わす。別表 2 幣種コード表参照。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・送金金額。 右詰め残り前「0」
6	# 円貨対価金額 (1)換算幣種 (2)金額	C(3) N(15)	・円貨額相当の外貨建送金を実行する場合に、換算幣種および円貨対価金額を表わす。 ・実際に送金を行う幣種を表わす。別表 2 幣種コード表参照。 ・円貨対価額。 右詰め残り前「0」
7	送金種類区分	N(1)	・送金の種類を表わす。 1:電信送金
8	電信種類区分	C(1)	・スペースとする。
9	支払区分	N(1)	・支払方法を表わす。 1:通知払(A/P)
10	支払手数料支払区分	N(1)	・支払手数料の負担区分を表わす。 1:送金受取人 2:送金支払人
11	送金目的	※N(4) C(22)	・送金目的の国際収支項目を表わす。 貿易外支払報告書のコードを入力。 別表 3 参照。 ・送金の目的を表わす。
12	※送金許可 (1)ライセンス No. (2)ライセンス日付	C(20) N(8)	・送金許可を受けている場合、番号と日付を表わす。 ・許可を受けたライセンス番号を表わす。 ・ライセンス日付を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
13	ダミー	C(132)	・ダミー・エリア

(250)

②-2 データ・レコード 会計処理内訳

項番	項目名	桁数	内容		
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード		
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 02:会計処理内訳		
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・1つの本体情報に続く同一種類データ・レコードの数を表わす。 01:本欄は常時「01」		
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・同一種類データ・レコードのシーケンス番号 01:本欄は常時「01」		
5	分割会計内訳数	N(2)	・会計処理を分割して行う場合の「会計内訳」の件数を表わす(最大3件まで)。 「01」「02」「03」のみ		
6	# 会 計 内 訳 (1)	#(1)相場区分	N(2)	・為替相場の区分を表わす。 01:SPOT 02:CONT 03:NOEX 04:円建	
		#(2)処理内訳金額 ①幣種	C(3)	・幣種コード(SWIFTコード)を表わす。別表2 幣種コード表参照。本体情報の項番5 送金金額(1)幣種と同一のものもしくはスペースとする。 ・小数点以下桁数を表わす。幣種欄をスペースとした場合はスペースとする。	
		②小数点位置	N(1)		
		③金額	N(15)		・処理内訳金額。 右詰め残り前「0」
		#(3)円貨対価額 ①ダミー	C(3)	・円貨対価額を表わす。 ・ダミー・エリア	
		②ダミー	C(1)		・ダミー・エリア
		③金額	N(15)		・円貨対価額。 右詰め残り前「0」
#(4)予約番号	C(16)	・予約番号を表わす。 左詰め残りスペース 予約のない場合はすべてスペースとする。			
#(5)引落口座 ①幣種	C(3)	・当該内訳についての引落口座を表わす。 ・幣種を表わす。別表2 幣種コード表参照。 NOEXの場合のみ本体情報の送金幣種と同一のものとする。その他の場合には、「JPY」とする。 ・預金種目を表わす。 1:普通預金 2:当座預金			
②預金種類	N(1)				
③口座番号	N(10)		・引落口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」		
	(6)ダミー	C(10)	・ダミー・エリア		
7	# 会計内訳(2)	-(80)	・会計内訳(1)に同じ。項番5「分割会計内訳数」が「01」の場合は、すべてスペースとする。		
8	# 会計内訳(3)	-(80)	・会計内訳(1)に同じ。項番5「分割会計内訳数」が「01」または「02」の場合は、すべてスペースとする。		
9	ダミー	C(1)	・ダミー・エリア		

(250)

②-3 データ・レコード 送金指図内訳(可変レコード)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 03:送金指図内訳(可変レコード)
3	同一種類データ・レコード数	N(4)	・1つの本体情報に続く同一種類データ・レコード(送金指図内訳の取引情報レコード)の数を表わす。 000X(右詰め残り前「0」、ただし最大6(0001~0006))
4	同一種類データ・レコード番号	N(4)	・同一種類データ・レコードのシーケンス番号を表わす。 右詰め残り前「0」
5	可変項目数	N(2)	・当該レコード中の可変項目数を表わす。 右詰め残り前「0」
6	可変項目有効桁数	N(3)	・当該レコード中の可変項目の有効桁数の合計を表わす。
7	受取人 受取人名 住所		・BNN999(max70) ・BNA999(max70)
8	※口座番号		・ACT999(max34)
9	被仕向 銀行 銀行名 (※)支店名 (※)住所		・BAN999(max35) ・BAB999(max35) ・BAA999(max70) } 少なくともいずれか一方を必ず記載する。
10	※依頼人名		・APN999(max140) 仕向銀行に登録された依頼人名で送金する場合には省略できる。
11	※メッセージ		・MSG999(max140)

(250)

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	データ・レコード総件数	N(10)	・データ・レコードの総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	本体情報総件数	N(10)	・本体情報の総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
4	ダミー	C(229)	・ダミー・エリア

(250)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(249)	・ダミー・エリア

(250)

(レコード・フォーマット使用上の注意事項)

- (1) 送金指図内訳の可変項目については、受取人(受取人名・住所)および被仕向銀行名等が必須項目となる。
支払銀行、経由銀行が必要な場合は、以下の可変項目を送金指図内訳のレコード・フォーマットに追加記載する(支払銀行は仕向銀行のコレス先、経由銀行は非コレス先)。

支払銀行		経由銀行	
銀行名	BPN999(max35)	銀行名	BTN999(max35)
支店名	BPB999(max35)	支店名	BTB999(max35)
住所	BPA999(max70)	住所	BTA999(max70)

- (2) 本体情報および会計処理内訳の#印の項目は、別表4のとおり整合性をもたせる必要がある。
(3) 預金口座番号の桁数は円貨の当座預金、普通預金では7桁以下であるが、外貨預金では7桁を超える場合があるので、本フォーマットでは10桁とした。

(別表 1)

送金指図内訳使用文字一覧(EBCDIC の場合)

(編注:付録 1.および同注 5 参照)

(別表 2)

幣種コード表

(編注:付録 6.参照)

(別表 3)

国際収支項目番号は、日本銀行のホームページを参照。

(<http://www.boj.or.jp/>)

(別表 4)

会計処理明細における論理整合性項目の説明表

本 体 情 報	項番 5.送金金額						
	幣種	「JPY」以外の幣種			「JPY」	「SP」	
	小数点位置	◎*			「0」		
	金額	◎			◎		
項番 6.円貨対価金額							
	換算幣種	「SP」			「SP」	「JPY」以外の送金幣種	
	金額					◎	
会 計 処 理 内 訳	項番 6.会計内訳(1)						
	相場区分	01 or 02 or 03			04のみ	01のみ	
	処理内訳金額	幣種	「JPY」以外の幣種 本体情報の幣種と同一			「JPY」	「SP」
		小数点位置	◎*	◎*	◎*	「0」	
		金額	◎	◎	◎	◎	
	円貨対価額	ダミー	「SP」			「SP」	「SP」
		ダミー 金額					◎
	予約番号	「SP」	◎	「SP」	「SP」	「SP」	
	引落口座	幣種	「JPY」		「JPY」以外の 本体情報の 幣種と同 一	「JPY」	「JPY」
		預金種類	◎	◎	◎	◎	◎
口座番号		◎	◎	◎	◎	◎	
項番 7.会計内訳(2)							
相場区分	01 or 02 or 03			04のみ	「SP」		
それ以降の項目	会計内訳(1)と同様			会計内訳(1) と同様			
項番 8.会計内訳(3)							
相場区分	01 or 02 or 03			04のみ	「SP」		
それ以降の項目	会計内訳(1)と同様			会計内訳(1) と同様			

◎ 記入する。

* 幣種に応じて記入する。

31. 荷為替輸入信用状発行依頼レコード・フォーマット

(1) 説明

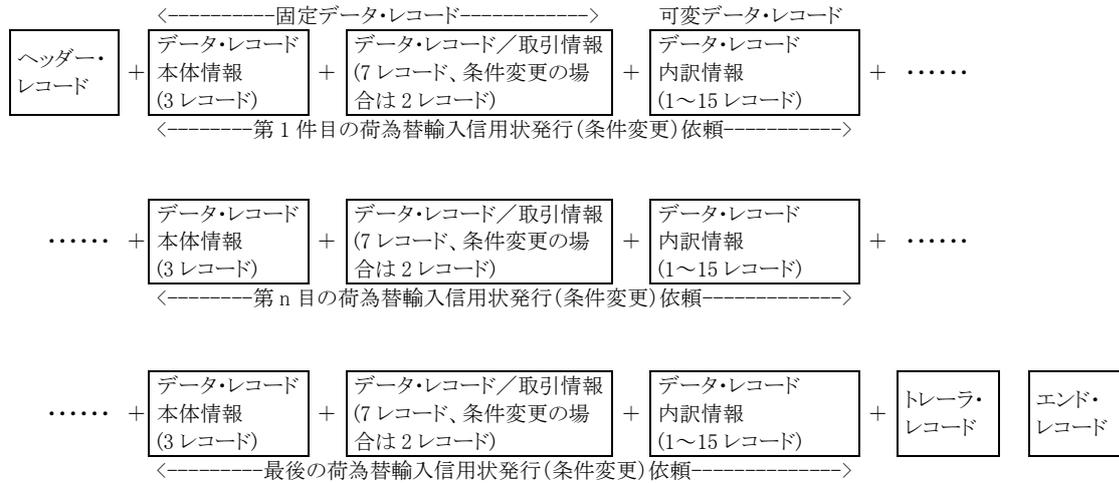
① 取引先(企業等)から荷為替輸入信用状発行依頼を銀行へ依頼する場合に使用する。

② ファイル構成およびシーケンス・フロー

ファイル構成および各レコードのシーケンス・フローは、次のとおりとする。

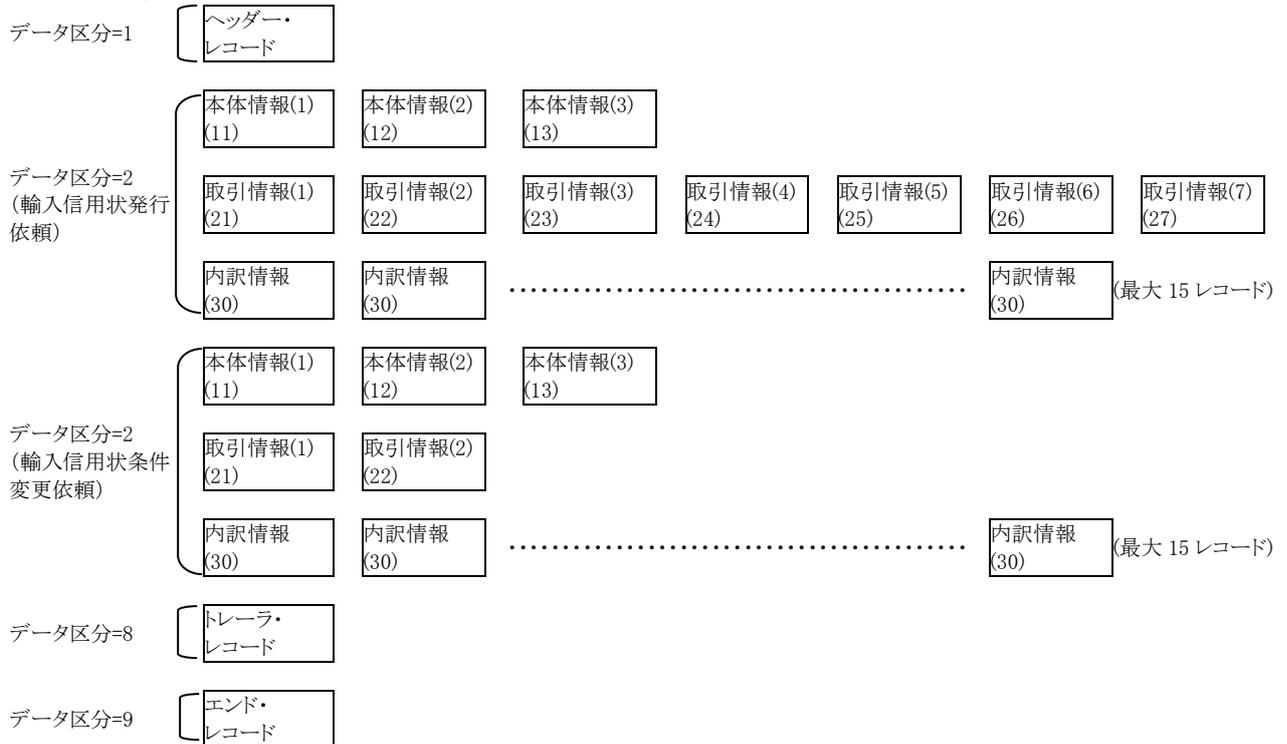
本ファイルは、ヘッダー・レコード/データ・レコード/トレーラ・レコード/エンド・レコードで構成され、1つのヘッダー・レコードの後には、複数のデータ・レコードが続く。

データ・レコードは、本体情報(3レコード)、取引情報(信用状発行依頼の場合7レコード、同条件変更依頼の場合2レコード)、内訳情報(必要に応じ1~15レコード)が連続し、これら3種類のデータ・レコードで1件の荷為替輸入信用状発行依頼(または同条件変更依頼)を構成する。



③ レコード構成

レコード構成は、荷為替輸入信用状発行依頼と同条件変更依頼では異なり、以下のとおりとなる。(囲み中数字は、データ・レコード区分)



④ コード表

荷為替輸入信用状発行(同条件変更)依頼磁気テープのデータ・レコードに記載する文字は、A～Zの英大文字26種類、SP(スペース)、記号10種類(/-?:() . , '+)のみを許容する。

但し、「発行銀行への依頼事項」(取引情報(7)項番5)においてのみこれに加えて、カタカナ(ア～ン、濁点、半濁点)を使用することができる(別表1参照)。

また、幣種コードは別表2によることとする。

⑤ 可変レコードの使用法

可変レコードの使用法は以下のとおりとする。

A. データ・レコード「内訳情報」は可変レコードであり、項番1から項番6(1～12桁目)までは固定項目、項番7以降(13～250桁目)は可変項目となっている。

可変項目は、ID・レングス情報(1行あたりの文字数、行単位に設定)に続くデータ内容の繰り返しにより構成される。

B. 各可変項目の構成は次の通り。

(A) ID(英字3桁): CVN=商品情報、ADC=追加条件情報であることを表わす。

(B) レングス(数字3桁): IDに続く文字数を表わす(001～064)。値には、ID・レングス自体の文字数は含まない。

(C) データ内容: 商品情報、追加条件情報の内容を記述する。

(例) 商品情報の記述(10桁)

<u>CVN</u>	<u>010</u>	<u>ABCD</u>	<u>EFGHI</u>
ID	レングス	データ内容(10桁)	

C. 可変項目は最初に商品情報をセットし次に追加情報をセットする。即ち、「商品情報」(ID=CVN)の記述を全てセットした後、「追加条件情報」(ID=ADC)をセットする。

D. レコード内にデータ内容が記録されていない可変項目については、ID、レングスともに省略する。

データ・セット例

入力データ

- 1) NET ABOUT 4,400 KGS OF HL 53/3 SPUN POLYESTER SEWING THREAD
AT US 4.10/KG CIF NAGOYA/JAPAN
- 2) NET ABOUT 1,400 KGS OF HL 34/3 SPUN POLYESTER SEWING THREAD
AT US 3.35/KG CIF NAGOYA/JAPAN
- 3) NET ABOUT 1,400 KGS OF HL 20/3 SPUN POLYESTER SEWING THREAD
AT US 2.95/KG CIF NAGOYA/JAPAN

レコード・フォーマットにセット

1	10	20	30	40	50	60	70	80		
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----		
<u>CVN0621</u>)	NET ABOUT 4,400 KGS OF HL 53/3 SPUN POLYESTER SEWING THREAD	<u>CVN038</u>	AT							
US 4.10/KG CIF NAGOYA/JAPAN	<u>CVN0622</u>)	NET ABOUT 1,400 KGS OF HL 34/3 SPUN POLYESTER SEWING THREAD	<u>CVN038</u>	AT	US3.35/KG CIF NAGOYA/JAPAN	<u>CVN0623</u>)	NET ABOUT 1,400 KGS OF HL 20/3 SPUN POLYESTER SEWING THREAD	<u>CVN038</u>	AT	US 2.95/KG CIF NAGOYA/JAPAN

(2) レコードの内容

ヘッダー・レコード、データ・レコード、トレーラ・レコード、エンド・レコードのそれぞれのフォーマットは以下のとおりとする。

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 28:輸入信用状発行依頼
3	コード区分	N(1)	・使用コード区分を表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	作成日	N(8)	・データ作成日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
5	※連絡日	N(8)	・連絡日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
6	連絡回数	N(2)	・連絡日における連絡回数を表わす。 右詰め残り前「0」
7	銀行コード	N(4)	・取扱銀行コードを表わす。 統一金融機関番号
8	銀行名	C(15)	・取扱銀行名を表わす。 左詰め残りスペース
9	支店コード	N(3)	・取扱支店コードを表わす。 統一店番号
10	支店名	C(15)	・取引支店名を表わす。 左詰め残りスペース
11	会社コード	N(10)	・銀行が採番した取引先の会社コードを表わす。 右詰め残り前「0」
12	会社名	C(40)	・会社名。 左詰め残りスペース(付録2.参照)
13	ダミー	C(141)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

② データ・レコード

②-1 本体情報(信用状発行依頼・信用状条件変更依頼)

②-1-(1) 本体情報(1)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 11:本体情報(1)
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・本体情報データ・レコードの数を表わす。 03:(本体情報のデータ・レコード数)
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・本体情報データ・レコード中のシーケンス番号。 01:本体情報中(1)
5	データ構成区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 01:輸入信用状発行依頼 02:輸入信用状条件変更依頼
6	信用状番号 (条件変更依頼のみ使用)	C(16)	・銀行が採番した信用状番号を表わす。 左詰め残りスペース (発行依頼の場合はスペースをセット)
7	信用状発行日 (条件変更依頼のみ使用)	N(8)	・変更前の信用状発行依頼の「発行日」を表わす。 YYYYMMDD (年(西暦)-月-日) (発行依頼の場合はスペースをセット)
8	発行日	N(8)	・信用状の発行日として希望する日付を表わす。 YYYYMMDD (年(西暦)-月-日)
9	※取引先照会番号 (取引先レファレンス)	C(25)	・発行依頼人の取扱番号を表わす。 左詰め残りスペース
10	信用状の通知方法	N(1)	・信用状の通知方法を表わす。 1:FULL CABLE WITHOUT MAIL CONFIRMATION 2:AIRMAIL WITH BRIEF PRELIMINARY CABLE ADVICE 3:AIRMAIL 4:OTHER(OTHERの具体的な内容は、取引情報(7)項番5.「発行銀行への依頼事項」に記載(条件変更の場合は不要)する。)
11	電信の種類	N(1)	・電信で通知する場合の緩急区分を表わす。 1:ORDINARY 2:URGENT
12	通知銀行指定の有無	N(1)	・通知銀行指定の有無を表わす。 1:指定しない 2:指定する
13	通知銀行 (1) 銀行名 (2) 支店名 (3) 住所	C(35) C(35) C(70)	・通知銀行を表わす(項番 12 で「1」をセットした場合には、スペースをセットする)。 ・銀行名 左詰め残りスペース ・支店名 左詰め残りスペース ・住所 左詰め残りスペース
14	ダミー	C(41)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

②-1-(2) 本体情報(2)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 12:本体情報(2)
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・本体情報データ・レコードの数を表わす。 03:本体情報のデータ・レコード数
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・本体情報データ・レコード中のシーケンス番号。 02:本体情報中(2)
5	受益者 (1) 受益者名 (2) 受益者住所	C(70) C(70)	・信用状の受益者を表わす。 ・受益者名を表わす。 ・受益者の住所を表わす。 左詰め残りスペース
6	※BENEFICIARY CONSENT (条件変更依頼 のみ使用)	N(1)	・BENEFICIARY CONSENT の要否を表わす。 1:不要 2:必要 (発行依頼の場合はスペースをセット)
7	ダミー	C(102)	・ダミー・エリア

※は任意項目 (250)

②-1-(3) 本体情報(3)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 13:本体情報(3)
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・本体情報データ・レコードの数を表わす。 03:本体情報のデータ・レコード数
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・本体情報データ・レコード中のシーケンス番号 03:本体情報中(3)
5	信用状発行依頼人 (1) 依頼人名 (2) 依頼人住所	C(70) C(70)	・信用状の発行依頼人を表わす。 ・発行依頼人名を表わす。 ・依頼人の住所を表わす。 左詰め残りスペース
6	ダミー	C(103)	・ダミー・エリア

※は任意項目 (250)

②-2 取引情報データ・レコード(信用状発行依頼)

②-2-(1) 取引情報(1) (信用状発行依頼)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 21:取引情報(1)
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・取引情報データ・レコードの数を表わす。 07:取引情報のデータ・レコード数
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・取引情報データ・レコード中のシーケンス番号。 01:取引情報中(1)
5	信用状金額 (1) 幣種 (2) 小数点位置 (3) 金額 ※(4) MAX OR ABOUT	C(3) N(1) N(15) N(1) N(2)	・信用状の金額を表わす。 ・幣種を表わす。別表(2)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下の桁数を表わす。 ・信用状の金額を表わす。 右詰め残り前「0」 ・MAX OR ABOUT の指示を表わす。 1:MAX 2:ABOUT 3:APPRX 4:() % MORE OR LESS 5:() % MORE 6:() % LESS ・上記 4,5,6 の場合に()内の値をセットする。 右詰め残り前「0」
6	修正金額 (条件変更依頼のみ使用)	N(1) C(3) N(1) N(15) N(1) N(2)	・オール・スペースをセットする。
7	修正後金額 (条件変更依頼のみ使用)	C(3) N(1) N(15) N(1) N(2)	・オール・スペースをセットする。
8	TENOR (1) 資金化の条件 (2) 手形の条件 (3) 手形 TENOR の種類	 N(1) N(1) C(25) N(1)	・TENOR について表わす。下記文言の()部分をそれぞれの項目から選択する。 「CREDIT AVAILABLE (①) (②) (③) FOR (④) % OF THE INVOICE VALUE (⑤) VALUE DRAWN ON (⑥)」 ・①の条件を表わす。 1:BY PAYMENT 2:BY ACCEPTANCE 3:BY NEGOTIATION 4:BY DEFERRED PAYMENT 5:BY MIXED PAYMENT ・②の条件を表わす。 1:OF BENEFICIARY'S DRAFTS 2:AGAINST DOCUMENT'S 3:AGAINST BENEFICIARY'S RECEIPT 4:OTHER ・②の OTHER を選択した場合の詳細を表わす。 (それ以外の場合はスペースをセット) ・③の手形 TENOR の種類を表わす。 1:AT SIGHT 2:OTHER

	(4) 掛率 ※(5) 記載文言 ※(6) 決済方法	C(35) N(3) C(70) N(1)	<ul style="list-style-type: none"> •③の OTHER を選択した場合の詳細を表わす。 (それ以外の場合はスペースをセット) •④の数字(無指定は 100%に置換える) •⑤の文言 左詰め残りスペース •⑥の決済方法を表わす。 1: YOU OR YOUR CORRESPONDENTS 2: OTHER (具体的な内容は、内訳情報項番 8.「追加条件情報」に記載する)
9	確認の要否	N(1)	<ul style="list-style-type: none"> •通知銀行に対する確認依頼を表わす。 1: 確認を依頼しない 2: 確認を依頼する
10	譲渡可能文言 (1) 譲渡可否 (2) 譲渡可能の条件	N(1) C(35)	<ul style="list-style-type: none"> •譲渡の可否を表わす。 1: 譲渡不可能 2: 譲渡可能 •譲渡可能の条件を表わす。左詰め残りスペース
11	ダミー	C(2)	<ul style="list-style-type: none"> •ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

②-2-(2) 取引情報(2) (信用状発行依頼)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 22: 取引情報(2)
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・取引情報データ・レコードの数を表わす。 07: 取引情報のデータ・レコード数
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・取引情報データ・レコード中のシーケンス番号。 02: 取引情報中(2)
5	※買取銀行指定	N(1)	・買取銀行を通知銀行に指定することを表わす。 1: 指定しない 2: 指定する
6	有効期限 (1) 有効期限 (2) 場所	N(8) C(29)	・有効期限の日付と場所を表わす。揚地払条件信用状の場合には、有効期限の始期を表わす。 ・有効期限を表わす。 YYYYMMDD (年(西暦)-月-日) ・場所(「PLACE OF EXPIRY」、「PLACE FOR PRESENTATION OF DOCUMENTS」)を表わす。
7	有効期限(条件変更依頼のみ使用)	N(8)	・オール・スペースをセットする。
8	揚地払条件	N(1)	・揚地払条件の有無を表わす。 1: 揚地払条件信用状でない 2: 揚地払条件信用状である(有効期限以外の具体的な条件は内訳情報項番 8.「追加条件情報」に記載する)
9	※最終有効期限	N(8)	・揚地払条件信用状の最終有効期限を表わす。 YYYYMMDD (年(西暦)-月-日)
10	船積(積出)期限	N(8)	・最終船積(積出)日を表わす。 YYYYMMDD (年(西暦)-月-日)
11	船積(積出)期限(条件変更依頼のみ使用)	N(8)	・オール・スペースをセットする。
12	呈示期間 (PRESENT DAY'S)	N(2)	・書類(運送書類、保険、送り状等)の呈示期間を表わす。 右詰め残り前「0」。無指定の場合は「21」に置き換える。
13	分割積出文言 (PARTIALSHIP 区分)	N(1)	・許容・禁止を表わす。 1: ALLOWED 2: PROHIBITED
14	積換文言 (TRANSHIP 区分)	N(1)	・許容・禁止を表わす。 1: ALLOWED 2: PROHIBITED
15	発送場所	C(65)	・荷物の発送または委託する場所を表わす。複数記載可。 左詰め残りスペース
16	到着場所	C(65)	・荷物の到着場所を表わす。複数記載可。 左詰め残りスペース
17	ダミー	C(38)	・ダミー・エリア

※は任意項目 (250)

②-2-(3) 取引情報(3) (信用状発行依頼)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 23:取引情報(3)
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・取引情報データ・レコードの数を表わす。 07:取引情報のデータ・レコード数
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・取引情報データ・レコード中のシーケンス番号。 03:取引情報中(3)
5	商業送り状 (1) INVOICE の通数 ※(2) 送り状の名称等	N(2) C(71)	・商業送り状の通数、名称等を表わす。 「SIGNED COMMERCIAL INVOICE IN (①) INDICATING (②)」 ・①の通数を表わす(以下より選択する) 01:ONE COPY 02:DUPLICATE 03:TRIPLICATE 04:QUADRUPPLICATE 05:QUINTUPPLICATE 06:SEXTUPPLICATE 07:SEPTUPPLICATE 08:OCTUPPLICATE 09:NINE COPIES 10:TEN COPIES 11:ELEVEN COPIES 12:TWELVE COPIES ・INVOICE 上に No.を付す必要がある場合②の内容を入力する。 左詰め残りスペース
6	※保険証券	N(2) N(3) C(15)	・保険証券の内容を表わす。(保険証券は白地裏書きであることおよび支払地が日本であることを前提としている。それ以外の場合には項番 9.にその内容を記載する。) 「INSURANCE POLICY OR CERTIFICATE IN (①) ENDORSED IN BLANK FOR (②)% OF(③)」 ・①の通数を表わす(以下より選択する) 01:ONE COPY 02:DUPLICATE 03:TRIPLICATE 04:QUADRUPPLICATE 05:QUINTUPPLICATE 06:SEXTUPPLICATE 07:SEPTUPPLICATE 08:OCTUPPLICATE 09:NINE COPIES 10:TEN COPIES 11:ELEVEN COPIES 12:TWELVE COPIES ・②の保険料率を表わす。 右詰め残り前「0」。無指定の場合は 110%に置き換える。 ・③保険金額を INVOICE VALUE 以外に指定する場合の算出基準を表わす。 左詰め残りスペース
7	ダミー	C(10)	・ダミー・エリア

8	※保険の区分	N(1) N(1)	CARGO CLAUSE 区分を表わす。 「INSTITUTE CARGO CLAUSES (①).」 ・①の CARGO CLAUSE 区分を選択する。 1:ALL RISKS 2:W.A 3:F.P.A ・「INSTITUTE WAR SRCC (CLAUSES, INSTITUTE STRIKES AND CIVIL COMMOTIONS) CLAUSES (②).」 ・②WAR および SRCC のセットを指示する。 1:セットする 2:セットしない
9	※その他保険の形態	C(120)	・CARGO CLAUSE 以外の他の CLAUSE,FRANCHISE,保険の始期、終期等を付す必要がある場合を表わす。また、その他保険に関する特記事項を記入する。 左詰め残りスペース
10	ダミー	C(18)	・ダミー・エリア

※は任意項目 (250)

②-2-(4) 取引情報(4) (信用状発行依頼)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 24: 取引情報(4)
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・取引情報データ・レコードの数を表わす。 07: 取引情報のデータ・レコード数
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・取引情報データ・レコード中のシーケンス番号。 04: 取引情報中(4)
5	運送書類	N(1) C(35)	・B/L 通数を表わす。 1: FULL SET 2: FULL SET LESS ONE ORIGINAL 3: OTHER ・OTHER を選択した場合、内容を記載する。 (それ以外の場合はスペースをセット)
6	運送手段	N(1) C(35)	・荷物の運送手段を表わす。 1: OCEAN 2: AIR WAYBILL 3: CONTAINER B/L 4: CHARTER PARTY B/L 5: THROUGH B/L 6: SEA WAYBILL 7: FORWARDERS CERTIFICATE OF RECEIPT 8: COMBINED TRANSPORT DOCUMENT 9: HOUSE AIR WAYBILL 0: OTHER ・OTHER を選択した場合、内容を記載する。 (それ以外の場合はスペースをセットする)
7	船荷証券等荷受人	N(1) C(105)	・船荷証券または AIRWAYBILL 等の名宛を表わす。 1: MADE OUT TO ORDER OF SHIPPED AND ENDORSED IN BLANK 2: MADE OUT TO ORDER OF () 3: CONSIGNED TO () 4: OTHER ・上記 2,3,4 を選択した場合に、() または OTHER の内容を記載する。 (1.の場合はスペースをセット)
8	運賃支払	N(1) C(35)	・FREIGHT の支払区分を表わす。 1: PREPAID 2: COLLECT 3: OTHER ・OTHER を選択した場合の詳細を表わす。 (それ以外の場合はスペースをセット)
9	ダミー	C(29)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

②-2-(5) 取引情報(5) (信用状発行依頼)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 25: 取引情報(5)
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・取引情報データ・レコードの数を表わす。 07: 取引情報のデータ・レコード数
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・取引情報データ・レコード中のシーケンス番号。 05: 取引情報中(5)
5	船荷証券等通知先	N(1) C(75)	・船荷証券又は AIR WAYBILL 等の NOTIFY PARTY を表わす。 1: APPLICANT 2: OTHER ・OTHER を選択した場合の詳細を表わす。 (それ以外の場合はスペースをセット)
6	※包装明細書	 N(2)	・要求書類を表わす。 (要求書類文言「PACKING LIST IN ()」) ・通数を入力する。
7	※原産地証明書(1) (1) 原紙の通数 (2) 写しの通数	 N(2) N(2)	・要求書類を表わす。 (要求書類文言「CERTIFICATE OF ORIGIN IN (①) ORIGINAL, AND (②) COPY」) ・①の通数 ・②の通数
8	※原産地証明書(2) (1) 原紙の通数 (2) 写しの通数	 N(2) N(2)	・要求書類を表わす。 (要求書類文言「G.S.P CERTIFICATE OF ORIGIN FORM A IN (①) ORIGINAL AND (②) COPY」) ・①の通数 ・②の通数
9	※OTHER DOCUMENTS (1)	 C(155)	・要求書類を表わす。(要求書類文言「BENEFICIARY'S CERTIFICATE STATING THAT ()」) ・()の内容を表わす。 左詰め残りスペース
10	ダミー	C(2)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

②-2-(6) 取引情報(6) (信用状発行依頼)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 26: 取引情報(6)
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・取引情報データ・レコードの数を表わす。 07: 取引情報のデータ・レコード数
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・取引情報データ・レコード中のシーケンス番号。 06: 取引情報中(6)
5	※OTHER DOCUMENTS (2)	C(120)	・要求書類を表わす。 左詰め残りスペース
6	建値 (1) 条件 (2) 取引場所	N(1) C(10) C(30)	・建値を表わす。 1: FOB 2: C&F(CFR) 3: CIF 4: OTHER ・OTHER を選択した場合の内容。左詰め残りスペース(選択しない場合はスペース) ・PLACE を表わす。 左詰め残りスペース
7	保険会社について (1) 輸入業者による付保 ※(2) 保険会社名	N(1) C(50)	「INSURANCE IS TO BE EFFECTED BY APPLICANT (WITH(保険会社名))」 ・輸入業者による保険付保の有無を表示する 1: 輸入業者で付保する 2: 輸入業者で付保しない ・輸入業者で付保する場合の保険会社名。 左詰め残りスペース
8	T. T REIMBURSEMENT	N(1)	・許容・禁止を表わす。 1: ACCEPTABLE 2: PROHIBITED
9	ALL BANKING CHARGE'S OUTSIDE JAPAN	N(1)	・CHARGE 負担区分を表わす。 1: BENEFICIARY 2: APPLICANT 3: OTHER(具体的な内容は、内訳情報項番8.「追加情報」に記載する)
10	※DISCOUNT CHARGE (USANCE INT)	N(1)	・負担区分を表わす(アクセプタンスユーザンスの場合) 1: BENEFICIARY 2: APPLICANT
11	※ACCEPTANCE COMM	N(1)	・負担区分を表わす(アクセプタンスユーザンスの場合) 1: BENEFICIARY 2: APPLICANT
12	※書類送付方法等 (1) 通数 (2) 送付方法	N(1) N(1)	「ALL DOCUMENTS MUST BE SENT TO US IN (①) BY (②)」 ・①の通数を表わす 1: ONE LOT 2: TWO SEPARATE SETS ・②の送付方法等を表わす。 1: COURIER SERVICE 2: REGISTERED AIR MAIL
13	ダミー	C(25)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

②-2-(7) 取引情報(7) (信用状発行依頼)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 27: 取引情報(7)
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・取引情報データ・レコードの数を表わす。 07: 取引情報のデータ・レコード数
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・取引情報データ・レコード中のシーケンス番号 07: 取引情報中(7)
5	※発行銀行への依頼事項	C(150)	・発行銀行に対する依頼事項を表わす。 左詰め残りスペース
6	ダミー	C(93)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

②-3 取引情報データ・レコード(信用状条件変更依頼)

②-3-(1) 取引情報(1) (信用状条件変更依頼)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 21:取引情報(1)
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・同一種類データ・レコードの数を表わす。 02:取引情報のデータレコード数
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・同一種類データ・レコードのシーケンス番号を表わす。 01:取引情報中(1)
5	※信用状金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額 (4)MAX OR ABOUT	C(3) N(1) N(15) N(1) N(2)	・変更前の信用状の金額を表わす。 ・幣種を表わす。別表(2)幣種コード表参照。表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下の桁数を表わす。 ・信用状の金額を表わす。 右詰め残り前「0」 ・MAX OR ABOUT の指示を表わす。 1:MAX 2:ABOUT 3:APPRX 4:() % MORE OR LESS 5:() % MORE 6:() % LESS ・上記 4,5,6 の場合に()内の値をセットする。 右詰め残り前「0」
6	※修正金額 (1)変更内容 (2)幣種 (3)小数点位置 (4)金額 (5)MAX OR ABOUT	N(1) C(3) N(1) N(15) N(1) N(2)	・金額変更内容を表わす。 ・金額変更の内容を表わす。 1:増額 2:減額 ・幣種を表わす。別表(2)幣種コード表参照 表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下の桁数を表わす。 ・信用状の変更金額を表わす。 右詰め残り前「0」 ・MAX OR ABOUT の指示を表わす。 1:MAX 2:ABOUT 3:APPRX 4:() % MORE OR LESS 5:() % MORE 6:() % LESS ・上記 4,5,6 の場合に()内の値をセットする。 右詰め残り前「0」
7	※修正後金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額 (4)MAX OR ABOUT	C(3) N(1) N(15) N(1)	・条件変更時の変更後の金額を表わす。 ・幣種を表わす。別表(2)幣種コード表参照。 表示できない場合は「999」とする。 ・小数点以下の桁数を表わす。 ・信用状の金額を表わす。 右詰め残り前「0」 ・MAX OR ABOUT の指示を表わす。 1:MAX 2:ABOUT 3:APPRX 4:() % MORE OR LESS 5:() % MORE 6:() % LESS

		N(2)	・上記 4,5,6 の場合に()内の値をセットする。 右詰め残り前「0」
8	TENOR について (1)資金化の条件 (2)手形の条件 (3)手形 TENOR の種類 (4)掛率 (5)記載文言 ※(6)決済方法	N(1) N(1) C(25) N(1) C(35) N(3) N(70) N(1)	・オール・スペースをセットする。
9	確認の要否	N(1)	・オール・スペースをセットする。
10	譲渡可能文言	N(1) C(35)	・オール・スペースをセットする。 ・オール・スペースをセットする。
11	ダミー	C(2)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

②-3-(2) 取引情報(2) (信用状条件変更依頼)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2: データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 22: 取引情報(2)
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・同一種類データ・レコードの数を表わす。 02: 取引情報のデータ・レコード数
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・同一種類データ・レコードのシーケンス番号を表わす。 02: 取引情報中(2)
5	※買取銀行指定	N(1)	・オール・スペースをセットする。
6	※有効期限		・変更前の有効期限と表示される場所を表わす。
	(1)有効期限	N(8)	・有効期限を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
	(2)場所	C(29)	・場所を表わす。
7	※有効期限(条件変更時の変更後の期限)	N(8)	・変更後の有効期限を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
8	※揚地払条件	N(1)	・オール・スペースをセットする。
9	※最終有効期限	N(8)	・オール・スペースをセットする。 但し揚地払条件信用状の場合は、変更後の最終有効期限を表わす。
10	※船積(積出)期限	N(8)	・最終船積(積出)日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
11	※船積(積出)期限 (条件変更時の変更後の期限)	N(8)	・変更後の最終積出日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
12	呈示期間 (PRESENT DAY'S)	N(2)	・変更後の書類(運送書類、保険、送り状等)の呈示期間を表わす。 右詰め残り前「0」 無指定の場合は「21」に置き換える。
13	※分割積出文言	N(1)	・オール・スペースをセットする。
14	※積換文言	N(1)	・オール・スペースをセットする。
15	※発送場所	C(65)	・オール・スペースをセットする。
16	※到着場所	C(65)	・オール・スペースをセットする。
17	ダミー	C(38)	・ダミー・エリア

※は任意項目

(250)

②-4 内訳情報データ・レコード(信用状発行依頼・信用状条件変更依頼)

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 30:内訳情報
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・内訳情報データ・レコードの数を表わす。 右詰め残り前「0」。但し最大 15(01~15)
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・内訳情報データ・レコードのシーケンス番号を表わす。 右詰め残り前「0」。但し最大 15(01~15)
5	可変項目行数	N(2)	・本レコードにおける可変項目データの行数を表わす。 右詰め残り前「0」
6	レングス合計	N(3)	・本レコードにおける可変項目データ内容の文字数合計を表わす。 右詰め残り前「0」
7	可変項目	可変長	・CVN999(最大 064) 当該データの行単位に文字数をセットする。
8	※商品情報 ※追加条件情報		・ADC999(最大 064) 当該データの行単位に文字数をセットする。
9	ダミー	残り桁数	・ダミー・エリア

※は任意項目 (250)

内訳情報データ・レコードの使用方法は、前記(1)⑤「可変レコードの使用方法」を参照。

③ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	データ・レコード総件数	N(10)	・データ・レコードの総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	本体情報総件数	N(10)	・本体情報の総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
		N(10)	・本体情報の内発行依頼分の総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
		N(10)	・本体情報のうち条件変更依頼分の総件数を表わす。 右詰め残り前「0」 (本項目においては、本体情報は常に 3 レコードで 1 件とカウントする)
4	ダミー	C(209)	・ダミー・エリア

※は任意項目 (250)

④ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	ダミー	C(249)	・ダミー・エリア

※は任意項目 (250)

(別表 1) 輸入信用状発行依頼(同条件変更依頼)使用文字一覧

(編注:付録 1.および同注 6 参照)

(別表 2) 幣種コード一覧

(編注:付録 6.参照)

32. 外貨預金入出金取引明細レコード・フォーマット

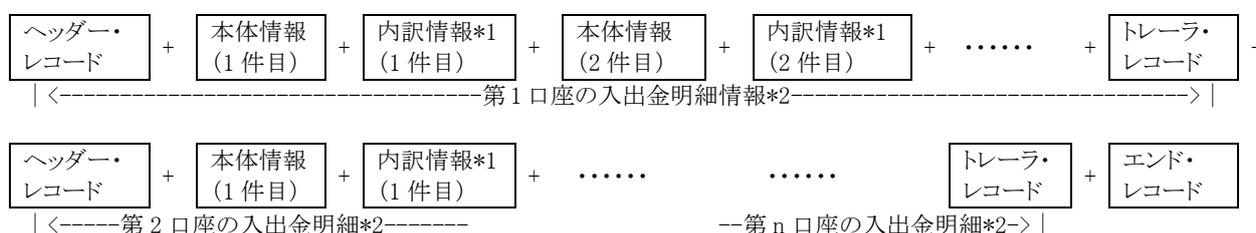
(1) 説明

① 取引先(企業)の外貨建口座の入金および出金取引の明細を銀行から通知する場合に使用する。対象預金は、普通預金、当座預金、貯蓄預金のほか通知預金、定期預金、積立定期預金があり、前3者と後3者ではデータ・レコードのフォーマットが異なる。

②ファイル構成およびシーケンス・フロー

本ファイルは、ヘッダー・レコード、データ・レコード、トレーラ・レコード、エンド・レコードで構成され、1つのヘッダー・レコードの後には、複数個のデータ・レコードが続く。

データ・レコードは、本体情報(①普通預金・当座預金・貯蓄預金、または②通知預金、定期預金、積立定期預金)、内訳情報(必要に応じて複数レコード)が連続し、これら2種類のデータ・レコードで1件の入出金取引明細を構成する。



*1 内訳レコードは換算相場がある場合に作成する。換算相場が4つ以上ある場合には複数となる。

*2 複数通貨建口座の場合は、口座毎でなく、口座中の各通貨毎に本ヘッダー～トレーラの単位が構成されることを原則とする。

③コード表

データ・レコードに記載する文字は、数字(0～9)、カナ、A～Zの英大文字26種類、SP(スペース)、記号10種類(/-?:()., '+)のみを許容する(別表1参照)。また、幣種コードはISO 4217(いわゆるSWIFT 幣種コード)によることとする(別表2参照)。

(2) レコードの内容

ヘッダー・レコード、データ・レコード、トレーラ・レコード、エンド・レコードのそれぞれのフォーマットは以下のとおりとする。

① ヘッダー・レコード

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 1:ヘッダー・レコード
2	種別コード	N(2)	・業務種別を表わす。 09:外貨預金入出金取引明細
3	コード区分	N(1)	・使用コード区分を表わす。 0:JIS 1:EBCDIC
4	作成日	N(8)	・データ作成日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
5	※連絡日	N(8)	・連絡日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
6	※連絡回数	N(2)	・連絡日における連絡回数を表わす。 右詰め残り前「0」
7	勘定日(自)	N(8)	・勘定日の期間を表わす。 (自至ともに) YYYYMMDD(年(西暦)-月-日) (注)営業日単位で通知する場合は(自)(至)を同一年月日とする。
8	勘定日(至)	N(8)	
9	銀行コード	N(4)	・取引銀行コードを表わす。 統一金融機関番号
10	銀行名	C(15)	・取引銀行名を表わす。 左詰め残りスペース
11	※支店(取次店)コード	N(3)	・取次支店コードを表わす。 統一店番号
12	※支店(取次店)名	C(15)	・取次支店名を表わす。 左詰め残りスペース
13	支店(口座店)コード	N(3)	・口座支店コードを表わす。 統一店番号
14	支店(口座店)名	C(15)	・口座支店名を表わす。 左詰め残りスペース
15	預金種目	N(1)	・預金種目を表わす。 別表 3 預金種目コード表を参照
16	口座番号	N(10)	・取引口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」
17	口座名	C(40)	・口座名を表わす。 左詰め残りスペース
18	※幣 種	C(3)	・幣種を表わす。 別表 2 幣種コード表を参照
19	取引前残高 (1)※小数点位置 (2)※金 額	N(1) N(15)	・取引前の残高を表わす。 ・小数点以下桁数を表わす。 ・取引前残高を表わす。 右詰め残り前「0」
20	※貸越区分	N(1)	・取引前残高の状態を表わす。 1:プラス 2:マイナス
21	ダミー	C(86)	

※は任意項目

(250)

②-1 データ・レコード(本体情報(1):普通預金・当座預金・貯蓄預金の場合)

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 01:本体情報
3	データ・レコード構成区分	N(2)	・後続データ・レコードの構成を表わす 01:本体情報のみ(内訳情報なし) 02:本体情報+内訳情報
4	処理通番	N(8)	・1 連絡単位における本体情報のシーケンス番号。または、銀行が任意に採番した番号を記載する。 ・本体情報毎に異なる番号をセットする。
5	勘定日	N(8)	・勘定日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
6	起算日	N(8)	・入金、出金の起算日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日) (通常は勘定日と同じ日付がセットされる。起算扱いの取引の場合のみ勘定日と異なる日付がセットされる。)
7	入払区分(注)	N(1)	・入出金の状態を表わす。 1:入金 2:出金
8	取引区分	N(2)	・取引形態を表わす。 10:現金 14:振替 18:その他 19:訂正 (11:振込、12:他店券入金、13:交換、15:継続は当面使用しない。)
9	取引金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・幣種を表わす。別表2 幣種コード表を参照 ・小数点以下桁数を表わす。 ・入出金額を表わす。 右詰め残り前「0」
10	※銀行照会番号	C(16)	・銀行が任意に採番した外為取引の照会用整理番号を表わす。 左詰め残りスペース
11	※取引先照会番号	C(32)	・口座名義人が任意に採番した外為取引の照会用整理番号を表わす。 左詰め残りスペース
12	※摘要	C(48)	・摘要内容を記載する。
13	ダミー	C(103)	

※は任意項目 (250)

(注)取消取引は以下のように表わす。

[入金の取消]… 入払区分「2(出金)」+取引区分「19(訂正)」

[出金の取消]… 入払区分「1(入金)」+取引区分「19(訂正)」

②-2 データ・レコード(本体情報(2):通知預金・定期預金・積立定期預金の場合)

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす。 01:本体情報
3	データ・レコード構成区分	N(2)	・後続データ・レコードの構成を表わす 01:本体情報のみ(内訳情報レコードなし) 02:本体情報+内訳情報レコード
4	処理通番	N(8)	・1 連絡単位における本体情報のシーケンス番号を表わす。
5	勘定日	N(8)	・勘定日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
6	起算日	N(8)	・入金、出金の起算日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日) (通常は勘定日と同じ日付がセットされる。起算扱いの取引の場合のみ勘定日と異なる日付がセットされる。)
7	入払区分(注)	N(1)	・入出金の状態を表わす。 1:入金 2:出金
8	取引区分	N(2)	・取引形態を表わす。 10:現金 14:振替 15:継続 18:その他 19:訂正 (11:振込、12:他店券入金、13:交換は当面使用しない)
9	取引金額 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・幣種を表わす。別表 2 幣種コード表を参照 ・小数点以下桁数を表わす。 ・入出金額を表わす。 右詰め残り前「0」
10	※預入番号	N(6)	・預入番号を表わす。
11	※銀行照会番号	C(16)	・銀行が任意に採番した外為取引の照会用整理番号を表わす。 左詰め残りスペース
12	※取引先照会番号	C(32)	・口座名義人が任意に採番した外為取引の照会用整理番号を表わす。 左詰め残りスペース
13	※当初預入日	N(8)	・継続された定期預金・積立定期預金の当初預入日は預入の場合は継続前の最初の預入日、支払の場合は最後の継続日を表す。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
14	利 率	N(9)	・預入時の利率を表わす(年利)。 利率変更時はスペース、期限前解約の場合は期限前解約利率をセットする。 XX XXXXXXX(小数第 7 位まで)
15	※満 期 日	N(8)	・定期預金・積立定期預金の満期日を表わす。 YYYYMMDD(年(西暦)-月-日)
16	※期 間	N(8)	・預入日から満期日(通知預金は勘定日)までの期間を年・月・日のいずれかで表わす。使用しないものはすべて「0」とする。 XX XX XXXX (年)(月)(日数) - いずれも右詰め残り前「0」
17	※期間利息	N(15)	・期間中に発生した外貨利息額を表わす。ただし中間払利息分を控除した額とする。 右詰め残り前「0」 (幣種、小数点位置は項番 9 に表示した内容によることとする)
18	※期後期間	N(4)	・定期預金・積立定期預金の満期日から解約日までの期間を表す。 日数表示、右詰め残り前「0」

19	※期後利率	N(9)	・期後期間に摘要される利率を表わす。(年利) XX XXXXXXXX(小数第7位まで)
20	※期後利息	N(15)	・期後期間に発生した外貨利息額を表わす。 右詰め残り前「0」 (幣種、小数点位置は項番9に表示した内容によることとする)
21	※合計利息	N(15)	・外貨利息の合計額を表わす。 右詰め残り前「0」 (幣種、小数点位置は項番9に表示した内容によることとする)
22	※税区分	N(1)	・利息に対する課税区分を表わす。 1:総合課税 2:分離課税 3:マル優 5:非居住者 9:その他
23	※税率	N(4)	・利息に適用される税率を表わす。 税率が0の場合は、全て0とする。 XX XX(小数第2位)
24	※税額	N(10)	・(期間利息×税率(国税+地方税)) +(期後利息×税率(国税+地方税)) 右詰め残り前「0」 (幣種、小数点位置は項番9に表示した内容によることとする)
25	※税引後利息	N(15)	・合計額－税額 右詰め残り前「0」 (幣種、小数点位置は項番9に表示した内容によることとする)
26	※摘要	C(20)	・摘要内容を記載する。
27	ダミー	C(4)	

※は任意項目 (250)

(注) 取消取引は以下のように表わす。

[入金 of 取消]… 入払区分「2(出金)」+取引区分「19(訂正)」

[出金の取消]… 入払区分「1(入金)」+取引区分「19(訂正)」

③ データ・レコード(内訳情報)

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 2:データ・レコード
2	データ・レコード区分	N(2)	・データ・レコードの種類を表わす 20:内訳情報
3	同一種類データ・レコード数	N(2)	・1つの本体情報に続く内訳レコードの数を表わす。
4	同一種類データ・レコード番号	N(2)	・内訳レコードのシーケンス番号を表わす。
5 取 引 金 額 内 訳 (1)	相場区分	N(2)	・為替相場区分を表わす。 01:SPOT 02:CONT 03:NOEX 04:円建 11:クロス SPOT 12:クロス CONT 99:その他
	取引内訳金額		・適用する為替相場区分ごとの外貨取引金額を表わす(先物予約使用の場合、予約番号単位)
	(1)幣種	C(3)	・幣種を表わす。別表 2 幣種コード表を参照
	(2)小数点位置	N(1)	・小数点以下桁数を表わす。
	(3)金額	N(15)	・取引内訳金額を表わす。 右詰め残り前「0」
	※予約番号	C(16)	・先物予約番号を表わす。
	換算相場 (1)※通貨単位	N(1)	・換算相場を表わす。 ・通貨単位を表わす 1:1 単位、 3:100 単位
	(2)※小数点位置 (3)※相場	N(1) N(8)	・小数点以下桁数を表わす。 ・換算相場を表わす。 右詰め残り前「0」
換算額 (1)※幣種 (2)※小数点位置 (3)※金額	C(3) N(1) N(15)	・取引内訳金額の換算額を表わす。 ・幣種を表わす。別表 2 幣種コード表を参照 ・小数点以下桁数を表わす。 ・換算額を表わす。 右詰め残り前「0」	
※相手科目(預金種目)	N(1)	・振替先(元)口座の預金種目を表わす。 別表 3 預金種目コード表を参照	
※相手口座番号	N(10)	・振替先(元)口座番号を表わす。 右詰め残り前「0」	
6	取引金額内訳(2)		・項番 5「取引金額内訳(1)」に同じ。
7	取引金額内訳(3)		・項番 5「取引金額内訳(1)」に同じ。
8	ダミー	C(12)	

※は任意項目

(250)

④ トレーラ・レコード

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 8:トレーラ・レコード
2	入金件数	N(6)	・入金件数を表わす。 右詰め残り前「0」
3	入金額合計 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・入金額の合計を表わす。(外貨) ・幣種を表わす。別表 2 幣種コード表を参照 ・小数点以下桁数を表わす。 ・入金額合計を表わす。 右詰め残り前「0」
4	出金件数	N(6)	・出金件数を表わす。 右詰め残り前「0」
5	出金額合計 (1)幣種 (2)小数点位置 (3)金額	C(3) N(1) N(15)	・出金額の合計を表わす。(外貨) ・幣種を表わす。別表 2 幣種コード表を参照 ・小数点以下桁数を表わす。 ・出金額合計を表わす。 右詰め残り前「0」
6	※幣種	C(3)	・幣種を表わす。別表 2 幣種コード表を参照
7	取引後残高 (1)※小数点位置 (2)※金額	N(1) N(15)	・取引後の残高を表わす。(外貨) ・小数点以下桁数を表わす。 ・残高を表わす。 右詰め残り前「0」
8	※貸越区分	N(1)	・取引後残高の状態を表わす。 1:プラス 2:マイナス
9	データ・レコード件数	N(7)	・内訳情報を含むデータ・レコードの総件数を表わす。 右詰め残り前「0」
10	ダミー	C(172)	

※は任意項目

(250)

⑤ エンド・レコード

項番	項目名	桁数	内 容
1	データ区分	N(1)	・レコードの種類を表わす。 9:エンド・レコード
2	レコード総件数	N(7)	・レコード総件数を表わす。 右詰め前前「0」
3	口座数または通貨別口座数	N(5)	・口座数または通貨別の口座数を表わす(注)。 右詰め前前「0」
4	ダミー	C(237)	

※は任意項目

(250)

(注) 複数通貨建口座の場合は、原則として、口座毎でなく、口座中の各通貨毎にヘッダー～トレーラの単位が構成される。

別表 1 使用文字コード表

(編注:付録 1.および同注 7 参照)

別表 2 幣種コード表

(編注:付録 6.参照)

別表 3 預金種目コード表

(編注:付録 3.参照)

付録

付録 1. 使用文字一覧

各レコード・フォーマットにおける使用文字は、原則として JIS コードまたは EBCDIC コードであり、以下にそのコード表を示す。なお、一部の適用業務においては、注書きのとおり、使用文字に関する具体的な条件が規定されている。

(EBCDIC の場合)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0					SP	-			ソ							0
1						/			ア	タ		A	J			1
2					「				イ	チ	へ	B	K	S		2
3					」				ウ	ツ	ホ	C	L	T		3
4									エ	テ	マ	D	M	U		4
5									オ	ト	ミ	E	N	V		5
6					ヲ				カ	ナ	ム	F	O	W		6
7									キ	ニ	メ	G	P	X		7
8									ク	ヌ	モ	H	Q	Y		8
9									ケ	ネ	ヤ	I	R	Z		9
A								:	コ	ノ	ユ	レ				
B					.	¥	,					ロ				
C									サ		ヨ	ワ				
D					()		'	シ	ハ	ラ	ン				
E					+				ス	ヒ	リ	°				
F						?			セ	フ	ル	°				

(JIS の場合)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0					SP	0		P						タ	ミ	
1						1	A	Q						ア	チ	ム
2						2	B	R				「		イ	ツ	メ
3						3	C	S				」		ウ	テ	モ
4						4	D	T						エ	ト	ヤ
5						5	E	U						オ	ナ	ユ
6						6	F	V				ヲ		カ	ニ	ヨ
7						7	G	W						キ	ヌ	ラ
8						(8	H	X					ク	ネ	リ
9)	9	I	Y					ケ	ノ	ル
A						:	J	Z						コ	ハ	レ
B						+	K							サ	ヒ	ロ
C						,	L	¥						シ	フ	ワ
D						-	M							ス	ヘ	ン
E						.	N							セ	ホ	°
F						/	?	O						ソ	マ	°

(注) 一部の適用業務については、以下の条件が明記されている。

	適用業務(フィールド)等	条件
注 1	<p>・全ての業務(店舗名)</p> <p>・全ての業務(口座名、振込依頼人名、会社名、預金者名、受取人名、銘柄名、依頼人名、口座照会依頼人名、委託者名、借入者氏名、保証会社名、委託先名、加入者氏名、支払人名、送金依頼人名)</p>	<p>・店舗名で使用できる文字は、カナ(ヲと小文字を除く)。ただし、振込入金通知、入出金取引明細、総合振込、振込口座照会(依頼明細)および振込口座照会(処理結果明細)の各業務における支店名、仕向店名、仕向支店名および被仕向支店名については、小文字を除く)、濁点、半濁点、英大文字(A~Z)、数字(0~9)、記号1種類(-[ハイフン])のみである。</p> <p>・口座名等で使用できる文字は、カナ(ヲと小文字を除く)。ただし、振込入金通知、入出金取引明細、総合振込、振込口座照会(依頼明細)および振込口座照会(処理結果明細)の各業務における口座名、振込依頼人名、受取人名および口座照会依頼人名については、小文字を除く)、濁点、半濁点、英大文字(A~Z)、数字(0~9)、SP[スペース]、記号4種類(() -[ハイフン] . [ピリオド])のみである。</p>
注 2	給与振込・賞与振込(民間・地方公務員)(上記注 1.のフィールドを除く)	使用できる文字は、カナ(ヲと小文字を除く)、濁点、半濁点、数字(0~9)、SP[スペース]のみである。
注 3	振込入金通知・入出金取引明細・総合振込・振込口座照会(EDI 情報)	<p>EDI 情報欄で使用できる文字は、カナ(ヲを含む。小文字を除く)、濁点、半濁点、英大文字(A~Z)、数字(0~9)、SP[スペース]、記号 8 種類(¥ 「 」 () -[ハイフン] / . [ピリオド])のみである。</p> <p>(注 1) 記号 8 種類については、一部の銀行で使用していない記号もある。</p> <p>(注 2) カンマ(,)については、一部の銀行システムで EDI 情報の区切り文字として使用されているため、EDI 情報では使用しない。</p>
注 4	外国為替取引明細(会計性・非会計性)、外国為替関連情報	使用できる文字は、カナ(ヲと小文字を除く)、濁点、半濁点、英大文字(A~Z)、数字(0~9)、SP[スペース]、記号4種類(() -[ハイフン] . [ピリオド])のみである。
注 5	外国送金依頼	データ・レコードのうち、送金指図内訳に記載する文字は、英大文字(A~Z)、数字(0~9)、SP[スペース]、記号 10 種類(/ -[ハイフン] ? : () . [ピリオド] , ' +)のみを許容する。
注 6	荷為替輸入信用状発行依頼(同条件変更依頼)	データ・レコードに記載する文字は、英大文字(A~Z)、SP[スペース]、記号 10 種類(/ -[ハイフン] ? : () . [ピリオド] , ' +)のみを許容する。 但し、「発行銀行への依頼事項」(取引情報(7)項番 5)においてのみこれに加えて、カナ(ヲと小文字を除く)、濁点、半濁点を使用することができる。
注 7	外貨預金入出金取引明細	データ・レコードに記載する文字は、カナ(ヲと小文字を除く)、濁点、半濁点、英大文字(A~Z)、数字(0~9)、SP[スペース]、記号 10 種類(/ -[ハイフン] ? : () . [ピリオド] , ' +)のみを許容する。

付録 2. 振込依頼人名・受取人名などの記入

(編注)使用文字については、付録 1 および同注 1 を併せて参照のこと。

A. 個人の姓および名、法人または営業所の種類名および名称は、それぞれ分ち書きせず、個人の姓と名、法人の種類名と名称、法人名と営業所名とは、それぞれの間にスペース(SP)を入れて分ち書きする。

ただし、後記 B により略語を使用する場合には、SP に代えてカッコを使用する。

- (例) ① 個人の場合
「山本一郎」→ヤマモト SP イチロウ
- ② 法人の場合
「株式会社山本商店東京支店」
→カブシキガイシヤ SP ヤマモトシヨウテン SP トウキョウシテン

B. 略語の使用方法

法人、営業所および事業所の種類名は、次の用法に基づき略語を使用することができる。

(A) 法人略語および営業所略語は、略語判別表示としてカッコを付して使用する。

なお、事業略語には、略語判別表示を付さず、冠頭語と事業略語とは続けて記入し、分ち書きしない。

- (例) 「株式会社山本商事」→カ)ヤマモトシヨウシ[°]
「山本商事株式会社東京営業所」→ ヤマモトシヨウシ[°](カ)トウキョウ(エイ)
「山本商事株式会社」→ ヤマモトシヨウシ[°](カ)

(B) 略語の使用は、1 法人名につき 1 個とする。ただし、法人略語、事業略語および営業所略語のそれぞれを組合せて併用してもよい。

- (例) 「昭和火災海上保険 株式会社 名古屋営業所」の場合 → ショウワカサイ(カ)ナゴヤ(エイ)
(事業略語) (法人略語) (営業所略語)

(C) 略語を使用することができる用語および略語

用語	カナ文字による略語	用語	カナ文字による略語
1.法人略語		2.営業所略語	
株式会社	カ	営業所	エイ
有限会社	ユ	出張所	シュツ
合名会社	メ	3.事業略語	
合資会社	シ	連合会	レン
合同会社	ド	共済組合	キョウサイ
医療法人	}イ	協同組合	キョウクミ
医療法人社団		生命保険	セイメイ
医療法人財団		海上火災保険	カイシ [°] ヨウ
社会医療法人		火災海上保険	カサイ
一般財団法人	}ザイ	健康保険組合	ケンポ [°]
公益財団法人		国民健康保険組合	コクホ
一般社団法人	}シヤ	国民健康保険団体連合会	コクホレン
公益社団法人		社会保険診療報酬支払基金	シヤホ
宗教法人	シュウ	厚生年金基金	コウネン
学校法人	カク	従業員組合	ジ [°] ユウクミ
社会福祉法人	フク	労働組合	ロウクミ
更生保護法人	ホゴ [°]	生活協同組合	セイキョウ
相互会社	ソ	食糧販売協同組合	シヨクハンキョウ
特定非営利活動法人	トクヒ	国家公務員共済組合連合会	コクキョウレン
独立行政法人	トク	農業協同組合連合会	ノウキョウレン
地方独立行政法人	チトク	経済農業協同組合連合会	ケイサ [°] イレン
中期目標管理法	モク	共済農業協同組合連合会	キョウサイレン
国立研究開発法人	ケン	漁業協同組合	キ [°] ヨキョウ
行政執行法人	シツ	漁業協同組合連合会	キ [°] ヨレン
弁護士法人	ベン	公共職業安定所	シヨクアン
有限責任中間法人	}チユウ	社会福祉協議会	シヤキョウ
無限責任中間法人		行政書士法人	特別養護老人ホーム
行政書士法人	キョ	有限責任事業組合	ユウクミ
司法書士法人	シホウ		
税理士法人	ゼイ		
国立大学法人	}ダイ		
公立大学法人		ノウ	
農事組合法人	カンリ		
管理組合法人	ロウム		
社会保険労務士法人			

付録 3. 預金種目コード

(注)全ての業務について表中1～9の全てのコードが使えるわけではない。具体的な条件については、表中の備考欄を参照するほか、各業務のデータ・フォーマット表の「内容」欄において、使用するコード区分が限定列挙されている場合には、当該定めに従うこととする。

預金種目	預金種目コード	備考
普通預金	1	
当座預金	2	
納税準備預金	3	「外貨預金入出金取引明細」にはない。
貯蓄預金	4	「外国為替取引明細(会計性・非会計性)」「外国為替関連情報」にはない。
通知預金	5	
定期預金	6	
積立定期預金	7	
定期積金	8	「外貨預金入出金取引明細」にはない。
その他	9	

付録 4. 税区分コード

税区分	税区分コード
総合課税	1
源泉分離課税	2
マル優	3
マル財	4
非居住者	5
特別マル財	6
その他	9

付録 5. 可変項目一覧表

項目名	ID	最大桁数
APPLICANT	APT999	(140)
商品名	MCD999	(80)
商品名カット／修正有無情報	MCT001	
仕向地	PTO999	(70)
船積情報(期限)	SHP999	(195)
発行銀行情報	BIW999	(177) 銀行名・支店名・住所
	BIN999	(72) 銀行名
	BIB999	(35) 支店名
	BIA999	(70) 住所
確認銀行情報	BFW999	(177) 銀行名・支店名・住所
	BFN999	(72) 銀行名
	BFB999	(35) 支店名
	BFA999	(70) 住所
テナー／手形支払人	TDE999	(140)
AMOUNT SPECIFICATIONS	ASP999	(140)
AMENDMENT 内容	nAD999(n=1,2,3)	(65)
チャージ情報	CHG999	(210)
固定部補足情報	DLC999	(40) 書類引渡条件 (OTHERS)
	DWR999	(70) 手形振出人名・住所(2)
	TNR999	(35) 手形種別区分(その他)
	USC999	(35) ユーザンス・コード(その他)
	DTN999	(35) 手形テナー(OTHERS)
	INT999	(70) THEIR INTEREST 計算情報
	nLC999(n=1,2,3,4)	(16) 信用状番号
	nUA999(n=1,2,3,4)	(19) 信用状使用金額(幣種、小数点位置、金額)
送付銀行情報	BRW999	(177) 銀行名・支店名・住所
	BRN999	(72) 銀行名
	BRB999	(35) 支店名
	BRA999	(70) 住所
	BRF999	(35) 銀行 REFERENCE
書類内容	MCD999	(80) 商品名
	ORG999	(35) 原産地
	PFR999	(70) 積出港
	PTO999	(70) 荷揚港
	VSL999	(35) 船名
書類通数	BLN999	(70) B/L No.
	DFT999	(70) DRAFT
	INV999	(70) INVOICE
	BLD999	(10) B/L
	AWB999	(10) AIR WAYBILL
	IPC999	(10) INSURANCE POLICY
	INS999	(10) CERTIFICATE OF INSPECTION
	WMC999	(10) WEIGHT AND MEASUREMENT LIST
	PKG999	(10) PACKING LIST
	ORC999	(10) CERTIFICATE OF ORIGIN
	CER999	(10) CERTIFICATE
	STA999	(10) STATEMENT
	OTH999	(10) OTHERS
その他情報	ACT999	(70) FOR ACCOUNT OF
	ILN999	(70) IMPORT LICENCE No.
	nDS999(n=1,2,3,4,5,6,7,8,9)	(70) DISCREPANCIES
	nSP999(n=1,2,3,4,5,6,7,8,9)	(70) SPECIAL INSTRUCTIONS
	BAW999	(177) REIMBURSEMENT BANK 銀行名・支店名・住所
	BAN999	(72) REIMBURSEMENT BANK 銀行名
	BAB999	(35) REIMBURSEMENT BANK 支店名
	BAA999	(70) REIMBURSEMENT BANK 住所
送金銀行情報	BSW999	(177) 銀行名・支店名・住所
	BSN999	(72) 銀行名
	BSB999	(35) 支店名
	BSA999	(70) 住所
送金銀行照会番号	BSF999	(32)
送金受取人	RBN999	(40)
送金受取人口座番号	ACN999	(34)

メッセージ	MSG999	(140)
原取引金額	ORA999	(19) 幣種(3)・小数点位置(1)・金額(15)
換算相場	EXR999	(10) 通貨単位(1)・小数点位置(1)・相場(8)
手数料負担区分	DEC999	(3)
送金銀行手数料	nSC999	(19) 幣種(3)・小数点位置(1)・金額(15)
受信銀行手数料	REC999	(19) 幣種(3)・小数点位置(1)・金額(15)
支払／引受拒絶銀行	BIW999	(177) 銀行名・支店名・住所
	BIN999	(72) 銀行名
	BIB999	(35) 支店名
	BIA999	(70) 住所
	BIF999	(35) 銀行 REFERENCE No.
バイヤー(手形支払人)名・住所	PCN999	(160)
その他情報	OTH999	(100)
外国送金依頼受取人	BNN999	(70) 受取人名
	BNA999	(70) 住所
外国送金依頼口座番号	ACT999	(34)
外国送金依頼被仕向銀行	BAN999	(35) 銀行名
	BAB999	(35) 支店名
	BAA999	(70) 住所
外国送金依頼依頼人名	APN999	(140)
メッセージ	MSG999	(140)
L/C 発行依頼商品情報	CVN999	(64)
L/C 発行依頼追加条件情報	ADC999	(64)

付録 6. 幣種コード表

(注) 幣種コードは、ISO (International Organization for Standardization) のホームページを参照。
(http://www.iso.org/iso/support/faqs/faqs_widely_used_standards.htm)

付録 7. 外国為替取引明細(会計性・非会計性)、外国為替関連情報レコード・フォーマット
に使用する各種コード表

付録 7-1 相場コード表

コード	相場種類
01	電信買相場
02	L/C 付一覧払輸出形買相場
03	ユーザンス相場
04	L/C なし一覧払輸出形買相場
05	電信売相場
06	アクセプタンス・レート
07	現金買相場
08	現金売相場
99	その他

付録 7-2 テナー・コード表

コード	テナー
01	一覧払
02	一覧後定期払
03	日付後定期払
04	確定日払
05	日付後定期払 (After)
06	日付後定期払 (From)
99	その他

(注)「03」は After、From の区分がない場合に使用する。

付録 7-3 利息コード表

コード	利息種類
00	セットなし
01	ユーザンス利息(円為替利息を含む)
02	メール期間利息
03	期日後利息
04	Their Interest (先方利息)
30	保証料
99	その他利息

付録 7-4 手数料コード表

コード	手数料種類
00	セットなし
01	郵便料
02	電信料
03	郵便・電信料
04	最低手数料
05	外貨受払手数料
06	円為替取扱手数料
07	外国通貨取扱手数料
08	旅行小切手売却手数料
09	印紙税
10	税金
20	輸出信用状通知手数料
21	輸出信用状確認手数料
22	輸出信用状条件変更手数料
23	輸出信用状譲渡手数料
30	輸出手形再割手数料
31	輸出手形取立取扱手数料
32	引受手数料
33	支払手数料
34	輸出手形保険手数料(経済産業省)
35	輸出手形保険手数料(地方公共団体)
36	輸出手形保険手数料(合算)
37	輸出手形保険関係手数料
38	クリーン手形買取手数料
39	クリーン手形取立取扱手数料
40	リインバースメント・コミッション
41	信用状なし輸出手形買取手数料
42	トレーサー手数料
50	輸入手形取立取扱手数料
51	THEIR CHARGE
52	THEIR POSTAGE
53	輸入取立手形転送手数料
54	THEIR CABLE CHARGE
55	THEIR POSTAGE & CABLE CHARGE
56	THEIR ACCEPTANCE COMMISSION
57	THEIR DISCOUNT CHARGE
58	輸入ユーザンス期限延長手数料
59	輸入手形取立取消手数料
60	通知銀行関係手数料
61	輸入信用状開設手数料
62	輸入信用状条件変更手数料
65	保証状発行手数料
66	保証状条件変更手数料
67	保証状発行関係手数料(その他銀行)
70	送金手数料
71	支払銀行手数料
72	組戻手数料
73	外貨預金付替手数料
80	為替予約変更取扱手数料
81	為替予約変更・取消手数料
82	オプション料
90	輸出取引関係手数料
91	輸入取引関係手数料
92	保証関係手数料
93	外国送金取引関係手数料
94	為替予約関係手数料
99	その他手数料

付録 8. AP-I-12(12 版—令和元年 12 月)における改訂内容

参照箇所	内 容	趣 旨
付録1. 使用文字一覧 (175 頁)	[注 1] ・「全ての適用業務における店舗名」および「全ての提供業務における口座名、振込依頼人名、(中略)、送金依頼人名」における使用文字の制限内容の変更。 ・具体的な改訂内容については、下掲の新旧対照表を参照。	使用文字制限の一部解除
付録 2. 振込依頼人名・ 受取人名などの記入 (176 頁)	[B.(C)略語を使用することができる用語および略語] ・法人の種類名の追加に伴う略の追加。 ・具体的な改訂内容については、下掲の新旧対照表を参照。	法人略語の追加

【新旧対照表】

新			旧		
付録1. 使用文字一覧 (注)一部の適用業務については、以下の条件が明記されている。			付録1. 使用文字一覧 (注)一部の適用業務については、以下の条件が明記されている。		
	適用業務(フィールド)等	条件		適用業務(フィールド)等	条件
注 1	<ul style="list-style-type: none"> 全ての業務(店舗名) 全ての業務(口座名、振込依頼人名、(中略)、送金依頼人名) 	<ul style="list-style-type: none"> 店舗名で使用できる文字は、カナ(ヲと小文字を除く。ただし、振込入金通知、入出金取引明細、総合振込、振込口座照会(依頼明細)および振込口座照会(処理結果明細)の各業務における支店名、仕向店名、仕向支店名および被仕向支店名については、小文字を除く)、濁点、(中略)、記号 1 種類(-[ハイフン])のみである。 口座名等で使用できる文字は、カナ(ヲと小文字を除く。ただし、振込入金通知、入出金取引明細、総合振込、振込口座照会(依頼明細)および振込口座照会(処理結果明細)の各業務における口座名、振込依頼人名、受取人名および口座照会依頼人名については、小文字を除く)、濁点、(中略)、記号 4 種類()-[ハイフン].[ピリオド])のみである。 	注 1	<ul style="list-style-type: none"> 全ての業務(店舗名) 全ての業務(口座名、振込依頼人名、(中略)、送金依頼人名) 	<ul style="list-style-type: none"> 店舗名で使用できる文字は、カナ(ヲと小文字を除く)、濁点、(中略)、記号 1 種類(-[ハイフン])のみである。 口座名等で使用できる文字は、カナ(ヲと小文字を除く)、濁点、(中略)、記号 4 種類()-[ハイフン].[ピリオド])のみである。
(以下略)			(以下略)		
付録2 A. (略)			付録2 A. (略)		
B. 略語の使用方法 法人、営業所および事業所の種類名は、次の用法にもとづき略語を使用することができる。 (A)~(B) (略)			B. 略語の使用方法 法人、営業所および事業所の種類名は、次の用法にもとづき略語を使用することができる。 (A)~(B) (略)		
(C) 略語を使用することができる用語および略語			(C) 略語を使用することができる用語および略語		
	用 語	カナ文字による略語		用 語	カナ文字による略語
	1.法人略語 (前略)			1.法人略語 (前略)	
	医療法人 医療法人社団 医療法人財団 社会医療法人	} イ		医療法人 (新設) (新設) (新設)	イ

<p>(削除) <u>一般財団法人</u> <u>公益財団法人</u> (削除) <u>一般社団法人</u> <u>公益社団法人</u></p> <p>(中略)</p> <p><u>独立行政法人</u> <u>地方独立行政法人</u> <u>中期目標管理法</u> <u>国立研究開発法人</u> <u>行政執行法人</u></p> <p>(中略)</p> <p><u>国立大学法人</u> } <u>公立大学法人</u> } <u>農事組合法人</u> <u>管理組合法人</u> <u>社会保険労務士法人</u></p> <p>(後略)</p>	<p>} サ^イ</p> <p>} シヤ</p> <p>ト^ク チト^ク モ^ク ケン シツ</p> <p>ダ^イ ノウ カンリ ロウム</p>	<p><u>財団法人</u> <u>一般財団法人</u> <u>公益財団法人</u> <u>社団法人</u> <u>一般社団法人</u> <u>公益社団法人</u></p> <p>(中略)</p> <p><u>独立行政法人</u> (新設) (新設) (新設) (新設)</p> <p>(中略)</p> <p><u>国立大学法人</u> (新設) (新設) (新設) (新設)</p> <p>(後略)</p>	<p>} サ^イ</p> <p>} シヤ</p> <p>ト^ク</p> <p>ダ^イ</p>
---	---	---	--

〔別冊〕

全銀協パーソナル・コンピュータ用標準通信プロトコル(ベーシック手順)

適用業務およびレコード・フォーマット

昭和 59 年 1 月 24 日	初版発行
平成 2 年 6 月 25 日	2 版発行
平成 5 年 7 月 1 日	3 版発行
平成 7 年 8 月 1 日	4 版発行
平成 8 年 8 月 31 日	5 版発行
平成 9 年 10 月 31 日	6 版発行
平成 11 年 4 月 1 日	7 版発行
平成 13 年 8 月 31 日	8 版発行
平成 16 年 1 月 30 日	9 版発行
平成 18 年 4 月 3 日	10 版発行
平成 21 年 2 月 1 日	11 版発行
令和元年 12 月 2 日	12 版公表

© 一般社団法人全国銀行協会 事務・決済システム部